

平成 22 年度
裾野市市民意識調査
報告書



平成 23 年 1 月
裾 野 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果のまとめ	2
1	現在の住居について	2
2	現在の裾野市の取り組みについて	2
3	市の政策全体に対する満足度	4
4	今後さらに充実すべき市の取り組み	4
5	市の行政サービスや業務の満足度（第4次総合計画策定に向けて）	4
III	調査結果	5
1	回答者の属性	5
2	現在の住まいについて	8
3	現在の、裾野の取り組みについて	12
4	新しい総合計画の策定について	40
5	住宅用火災警報器の設置について	44
6	スポーツ活動について	54
IV	参考資料	68
1	裾野市の取り組みに対する評価と重要度の経年変化	68
2	調査票	87

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 22 年度の裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、諸施策推進のための基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象

本調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 1,000 人を対象に実施しました。

3 調査期間

平成 22 年 9 月 10 日に発送し、平成 22 年 9 月 21 日を投函締め切りとしました。

4 調査方法

郵送配布、郵送回収

5 回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
1,000 票	384 票	38.4%

6 調査結果の表示方法

- ・集計結果の％表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計がちょうど 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果のまとめ

1 現在の住居について

今の住まいに居住し始めた時期は、「平成 17 年（2005 年）以降」が約 3 割を占めています。

今後の居住意向は、「現在の場所に住み続けたい」が約 5 割となっていますが、平成 20 年度の調査から徐々にその割合が低くなっています。また、35～44 歳、50 歳以上で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高く、居住年数が長いほど「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。

2 現在の裾野市の取り組みについて

①現状の評価と今後の重要度

満足度・重要度得点による、順位付けの結果、『2 必要な時に適切な医療が受けられる』『25 消防・救急体制』は、満足度・重要度ともに上位 3 位以内に順位付けられています。

また、満足度の最下位は『23 鉄道・バスの便利さ』、重要度の最下位は『32 新たな観光地づくり』となっています。

②ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価

健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野は重要度が高く、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡ、地域産業分野は、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。

ア みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、11 項目中 5 項目が今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

満足度と重要度の経年変化をみると、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』『5 障害のある人の社会参加と自立』『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』『9 生涯学習や文化活動の機会や場所』『10 次世代を担う健全な青少年を育てる』『11 地域コミュニティ活動の活発化』については満足度、『7 安心して子育てと就労が両立できる』については重要度が高くなっている傾向がみられます。

現状の満足度と重要度では、『1 心身ともに健康で充実した生活を送る』『2 必要な時に適切な医療が受けられる』の満足度が高く、『2 必要な時に適切な医療が受けられる』の重要度が高くなっています。

また、現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『7 安心して子育てと就労が両立できる』で満足度が低く、重要度が高くなっています。

イ 人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、17 項目中 5 項目が事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡ、同様に 5 項目がこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないか、検討が必要なタイプⅣにそれぞれ分布しています。

満足度と重要度の経年変化をみると、『12 恵まれた自然景観の活用』『14 リサイクル活動』『15 身近な緑の環境』『16 きれいな川を守り、水に親しむ』『17 山や川の災害を防ぐ』『18 上・下水道事業』『24 地震災害対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』『27 交通安全対策』『28 安全で豊かな消費生活』については、満足度が高くなっている傾向がみられます。

現状の満足度と重要度では、『15 身近な緑の環境』の満足度が高く、『24 地震対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』の重要度が高くなっています。

また、現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』『23 鉄道・バスの便利さ』で満足度が低く、重要度が高くなっています。

ウ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価は、6 項目中 3 項目が満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

満足度と重要度の経年変化をみると、『29 農林業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』『33 裾野市の全国に向けたアピール』については、満足度が 1 点未満ですが、状況が改善されつつあることがうかがえます。

現状の満足度と重要度では、『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』の満足度が高く、『29 農林業の活性化』『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』『34 時代に対応した情報の発信』の重要度が高くなっています。

また、現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『31 にぎわいのある商業地づくり』で満足度が低く、重要度が高くなっています。

エ 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、4 項目中、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢ、施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないか、検討が必要なタイプⅣにそれぞれ 1 項目が分布しています。

満足度と重要度の経年変化をみると、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』『36 男女共同参画社会』『37 市民のための行政サービス』については、満足度が高くなっています。

また、『38 健全な財政運営』については、平成 20 年度以降、満足度が低くなっている傾向がみられますが、他の項目に比べ重要度が高いため、現状の満足度と今後の重要度の差が大きくなっています。

3 市の政策全体に対する満足度

市の政策全体に対し、満足している人は約3割となっており、平成19年度から平成21年度まで満足度が高くなってきていましたが、その後、4.2ポイント減少しています。

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で満足している人の割合が高い一方、45～49歳で満足していない人の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘、企業団地で満足している人の割合が低くなっています。

4 今後さらに充実すべき市の取り組み

今後、充実すべき取り組みは、「必要な時に適切な医療が受けられる」「安心して子育てと就労が両立できる」とする人が6割以上となっています。

性別でみると、「必要な時に適切な医療が受けられる」の他に、男性で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」「鉄道・バスの便利さ」が、女性で「安心して子育てと就労が両立できる」「人間性豊かな子どもを育てる教育」が上位に入っています。

年代別でみると、「必要な時に適切な医療が受けられる」の他に、30～34歳で「安心して子育てと就労が両立できる」が、40～44歳で「鉄道・バスの便利さ」が、60～64歳、70歳以上で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」が1位となっています。

5 市の行政サービスや業務の満足度（第4次総合計画策定に向けて）

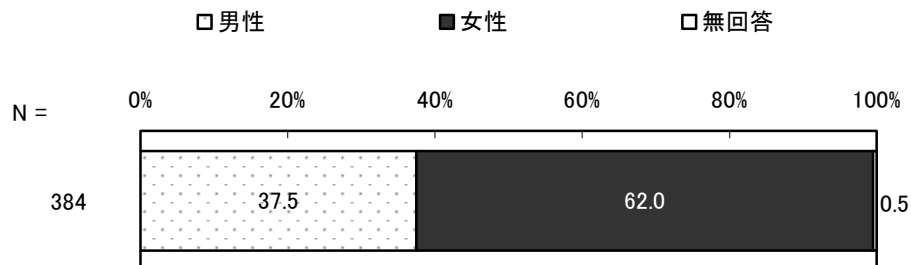
分野別の満足度では、他の分野に比べ、「（3）市民生活分野」で満足度が高い一方、「（1）健康・福祉分野」「（2）教育分野」で満足度が低い傾向がみられます。

また、各分野の多くの項目で満足度が不満とする割合を上回っていましたが、（1）健康・福祉分野の『音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの、文化に触れる機会の多さ』、（4）基盤整備分野の『公園や広場などの整備状況』『道路や歩道の整備状況』、（5）行政運営分野の『市の「予算の使い方」や「対応の速さ」など、行政運営の効率性』については、不満とする割合が満足度を上回っています。

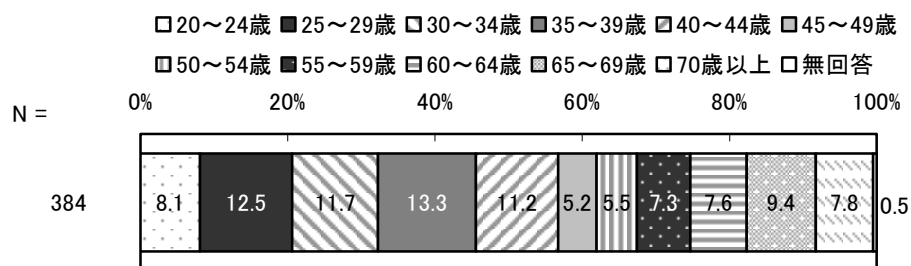
Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

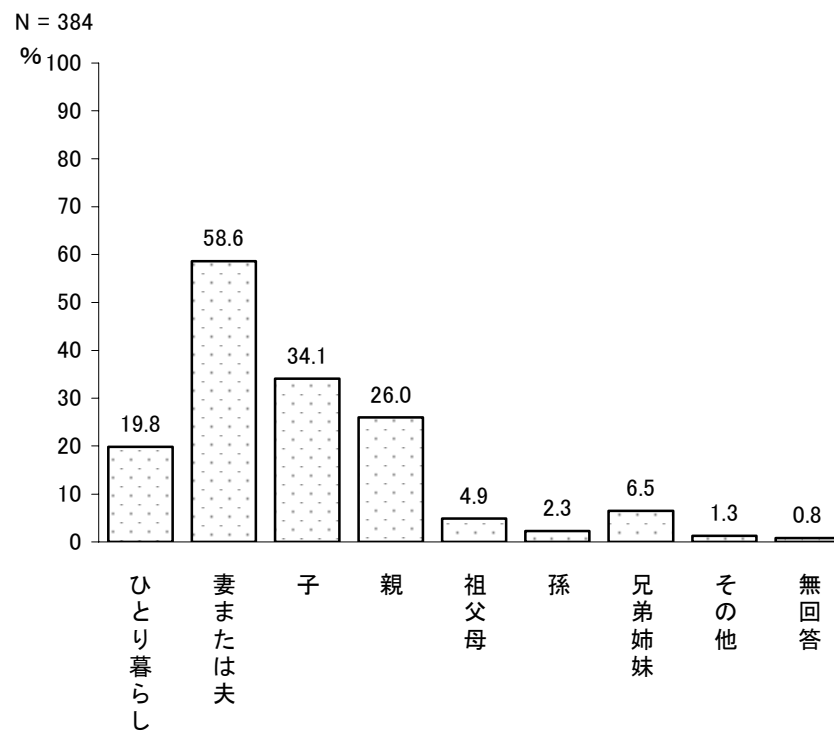
(1) 性別



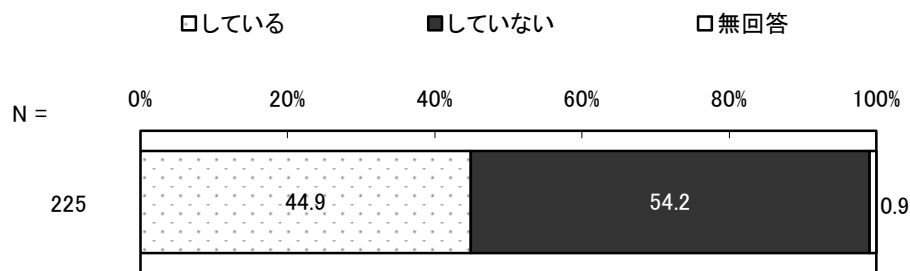
(2) 年齢



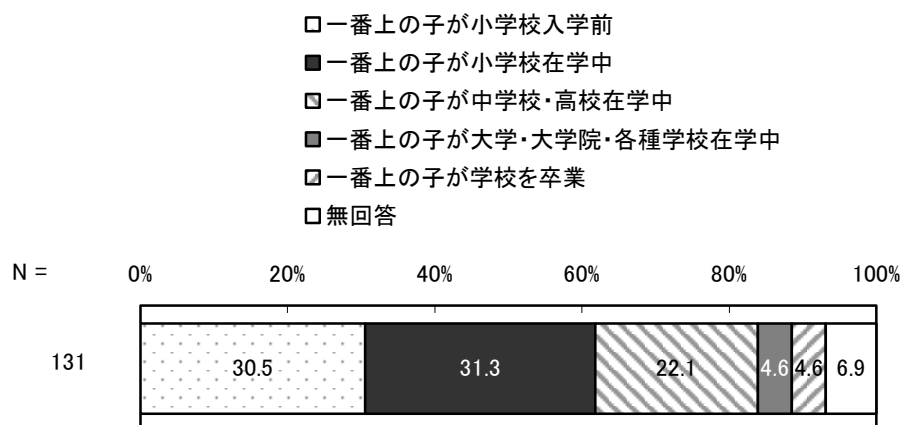
(3) 同居の状況



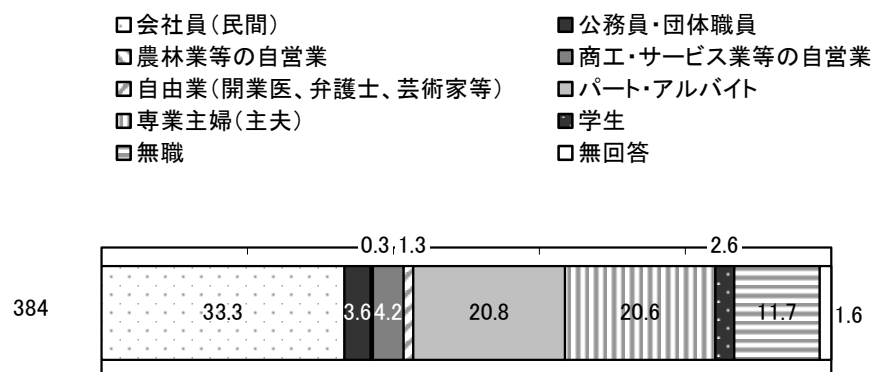
(4) 共働きの状況



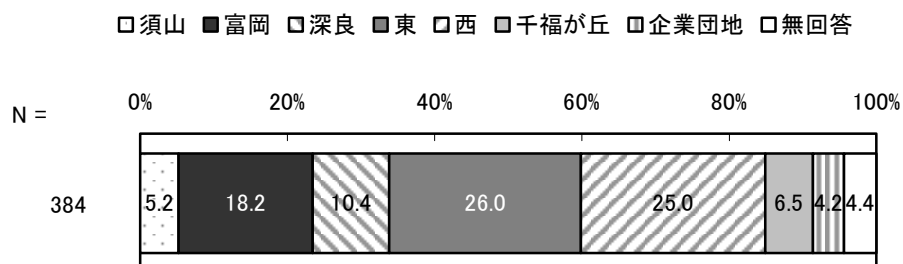
(5) 子どもの状況



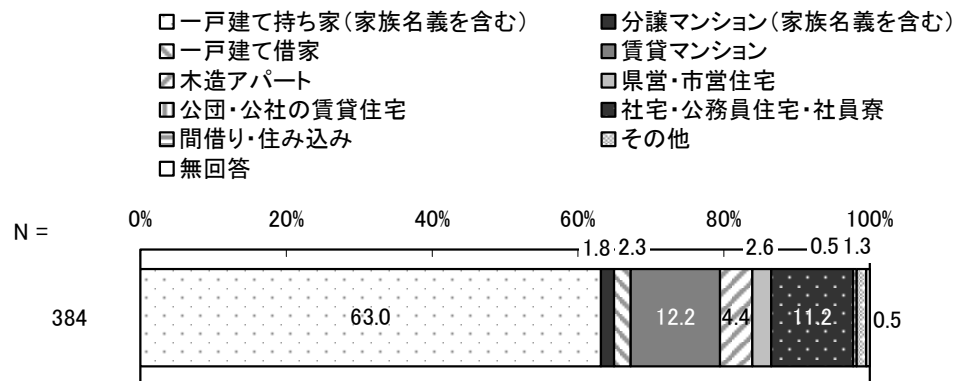
(6) 就労の状況



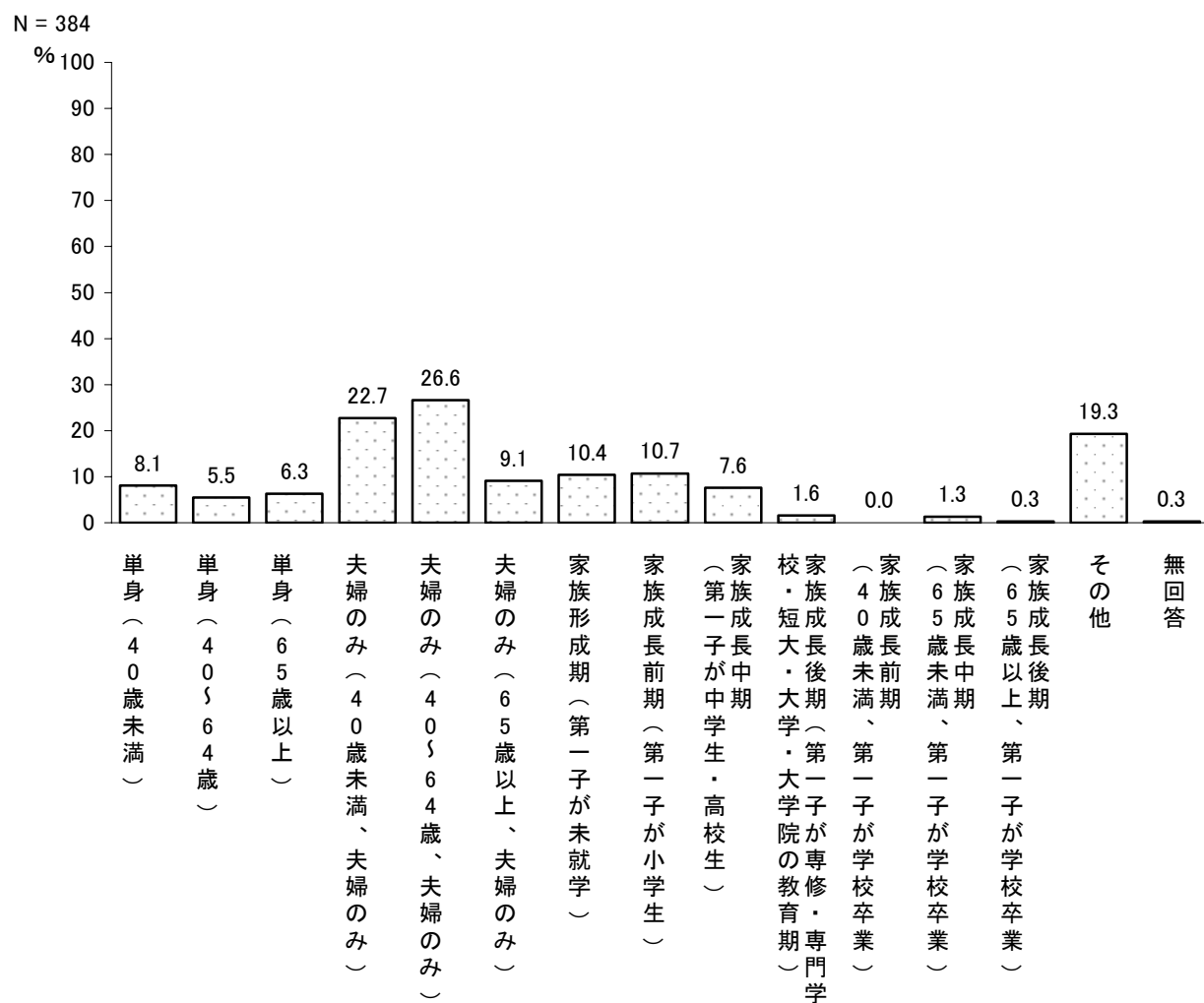
(7) 居住地区



(8) 住宅の状況



(9) ライフステージ別の状況

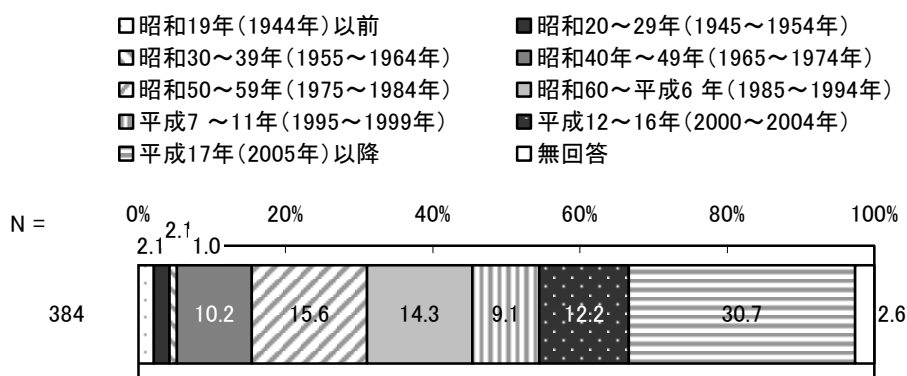


2 現在の住まいについて

問1 あなたは今のお住まいにいつ頃から住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

◆「平成17年(2005年)以降」が約3割

「平成17年(2005年)以降」の割合が30.7%と最も高く、次いで「昭和50～59年(1975～1984年)」の割合が15.6%、「昭和60～平成6年(1985～1994年)」の割合が14.3%となっています。



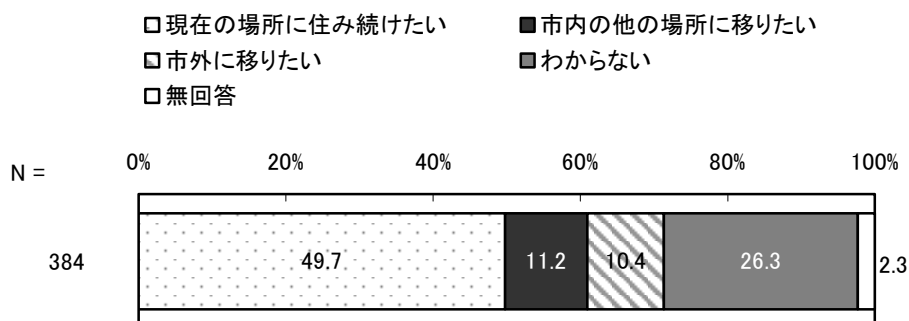
問2 これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

◆「現在の場所に住み続けたい」が約5割

◆35～44歳、50歳以上で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高い

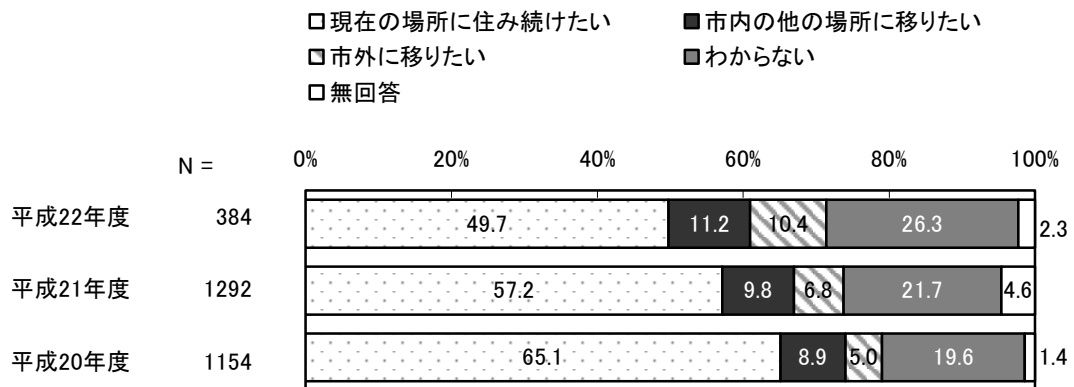
◆居住年数が長いほど「現在の場所に住み続けたい」の割合が高い

「現在の場所に住み続けたい」の割合が49.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.3%、「市内の他の場所に移りたい」の割合が11.2%となっています。



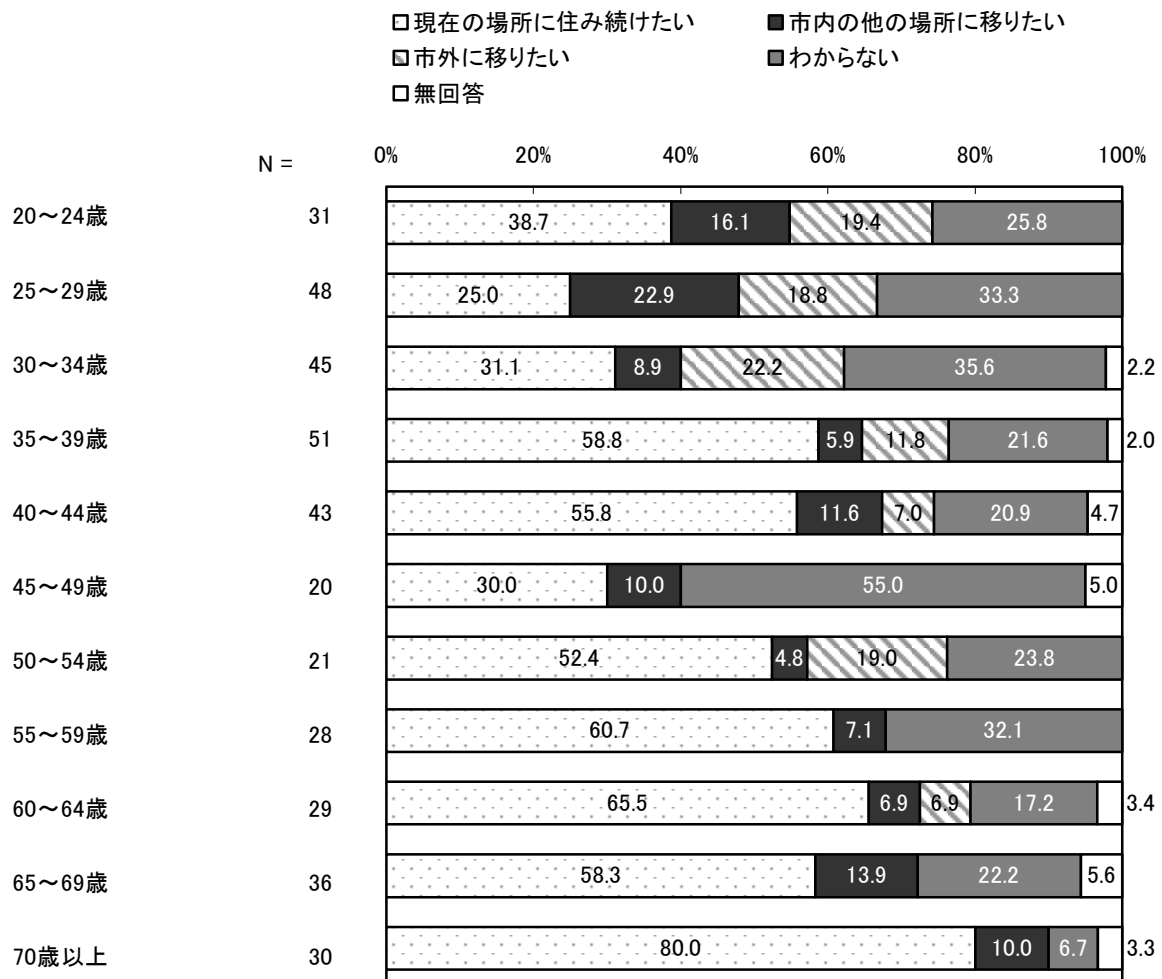
【経年比較】

平成 20 年度の調査から、「現在の場所に住み続けたい」の割合が徐々に低くなっています。



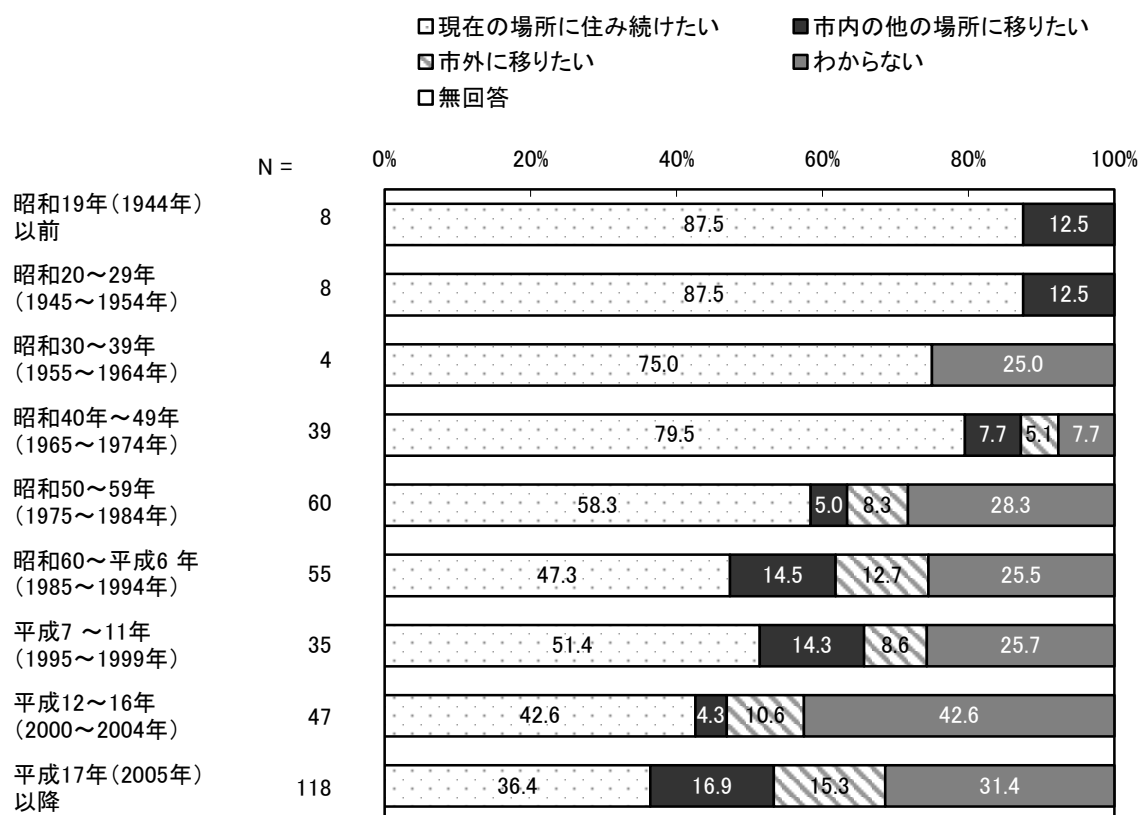
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、35～44 歳、50 歳以上で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高く、特に 70 歳以上で 8 割となっています。一方、25～29 歳で「市内の他の場所に移りたい」の割合が高くなっています。



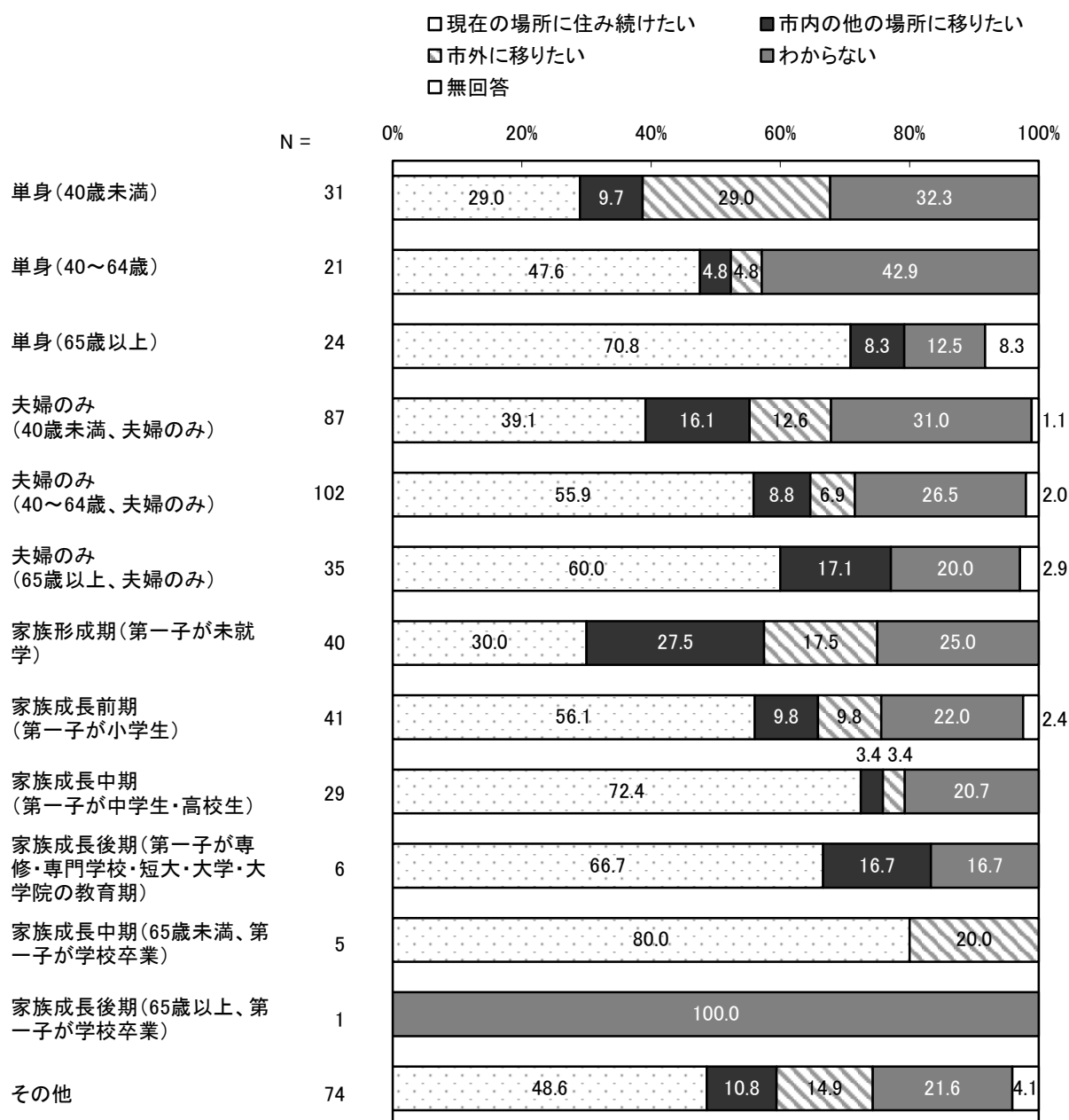
【今の住まいに居住し始めた時期別】

今の住まいに居住し始めた時期別でみると、居住年数が高いほど「現在の場所に住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、単身（65歳以上）、家族成長中期（第一子が中学生・高校生）、家族成長中期（65歳未満、第一子が学校卒業）で「現在の場所に住み続けたい」の割合が高く、7割を超えています。一方、夫婦のみ（40歳未満、夫婦のみ）、夫婦のみ（65歳以上、夫婦のみ）、家族形成期（第一子が未就学）、家族成長後期（第一子が専修・専門学校・短大・大学・大学院の教育期）で「市内の他の場所に移りたい」の割合が高くなっています。



3 現在の、裾野の取り組みについて

問3 市では次のような取り組みを行っています。それぞれの項目について、あなたはどの程度満足していますか。また、その取り組みは重要であると思いますか。（満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ○は1つつ）

ここで挙げる項目は、第3次裾野市総合計画後期計画（期間：平成17年度から平成22年度）に定められた施策と対応します。

（下表参照）

①みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）

施 策		設 問 項 目	
1-1-1	健康づくりの推進	1	心身ともに健康で充実した生活を送る
1-1-2	保健・医療・福祉の連携	2	必要な時に適切な医療が受けられる
1-1-3	市民スポーツ・レクリエーションの推進	3	スポーツを習慣にした生活を送る
1-2-1	高齢者が生き生きできる福祉の推進	4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
1-2-2	ハンディキャップを克服できる福祉の推進	5	障害のある人の社会参加と自立
1-2-3 1-2-4	自立できる生活の充実 ボランティアで支える地域福祉の推進	6	地域住民が共に支えあって暮らす
1-2-5	子育て環境の充実	7	安心して子育てと就労が両立できる
1-3-1	人間性豊かな子どもを育てる教育の充実	8	人間性豊かな子どもを育てる教育
1-4-1 1-5-1	自ら学ぶ環境の充実 富士山を象徴とする文化の育成	9	生涯学習や文化活動の機会や場所
1-4-2	次世代を担う青少年の育成	10	次世代を担う健全な青少年を育てる
1-6-1	コミュニティ活動の充実	11	地域コミュニティ活動の活発化

②人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

施 策		設 問 項 目	
2-1-1	美しいまち景観の創出	12	恵まれた自然景観の活用
2-1-2	きれいな環境の維持・創出	13	ごみ不法投棄や公害への対策
2-1-3	リサイクルの推進	14	リサイクル活動
2-2-1 2-2-2	緑豊かな環境の充実 公園・広場の充実	15	身近な緑の環境
2-3-1	水に親しむ空間の充実	16	きれいな川を守り、水に親しむ
2-3-2	山や川の災害を防ぐ	17	山や川の災害を防ぐ
2-4-1 2-4-2	安全な水の確保と水資源の有効活用 きれいな水の流れる環境の創出	18	上・下水道事業

施 策		設 問 項 目	
2-5-1 2-5-2	裾野駅周辺の市街地整備の推進 周辺部の拠点整備の推進	19	裾野の顔となる拠点市街地の整備
2-6-1	住みよい住環境の充実	20	誰もが住みやすい住環境の整備
2-6-2	バランスのとれた土地利用配置	21	適切な土地利用がされている
2-7-1	便利で快適な道路網の充実	22	道路網の便利さ、快適さ
2-7-2	生活に便利な交通機関の充実	23	鉄道・バスの便利さ
2-8-1	地震災害対策の充実	24	地震災害対策
2-8-2	消防・救急体制の強化	25	消防・救急体制
2-8-3	犯罪からまちを守る対策の充実	26	犯罪からまちを守る
2-8-4	安全な交通環境の充実	27	交通安全対策
2-8-5	安全で豊かな消費生活の確保	28	安全で豊かな消費生活

③新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

施 策		設 問 項 目	
3-1-1 3-1-2	農業維持の体制づくり 林業の振興の充実	29	農林業の活性化
3-2-1 3-2-2	緑豊かな工業地の確保 先進企業の誘致と地場産業の育成	30	先進企業を核とした地場産業の活性化
3-3-1 3-3-2	にぎわいのある商業地の整備 創意と工夫による商業の振興	31	にぎわいのある商業地づくり
3-4-1 3-4-2	新たな観光の創出 観光による地域の活性化	32	新たな観光地づくり
3-5-1	裾野の魅力のPR	33	裾野市の全国に向けたアピール
3-5-2	時代に対応した情報の発信	34	時代に対応した情報の発信

④頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

施 策		設 問 項 目	
4-1-1	市民の協働を目指した市民参加の推進	35	市民と行政の協働によるまちづくり
4-1-2	男女共同参画社会の推進	36	男女共同参画社会
4-1-3 4-1-4 4-2-1 4-2-3 4-2-4	透明性の高い行政運営の実現 開かれた議会活動の支援 有効で効率的な行政運営確立 活力ある組織人事の推進 広域行政における連携の強化	37	市民のための行政サービス
4-2-2	健全な財政運営の確保	38	健全な財政運営

(1) 現状の評価と今後の重要度

現状の評価と今後の重要度を下表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

現状の評価基準

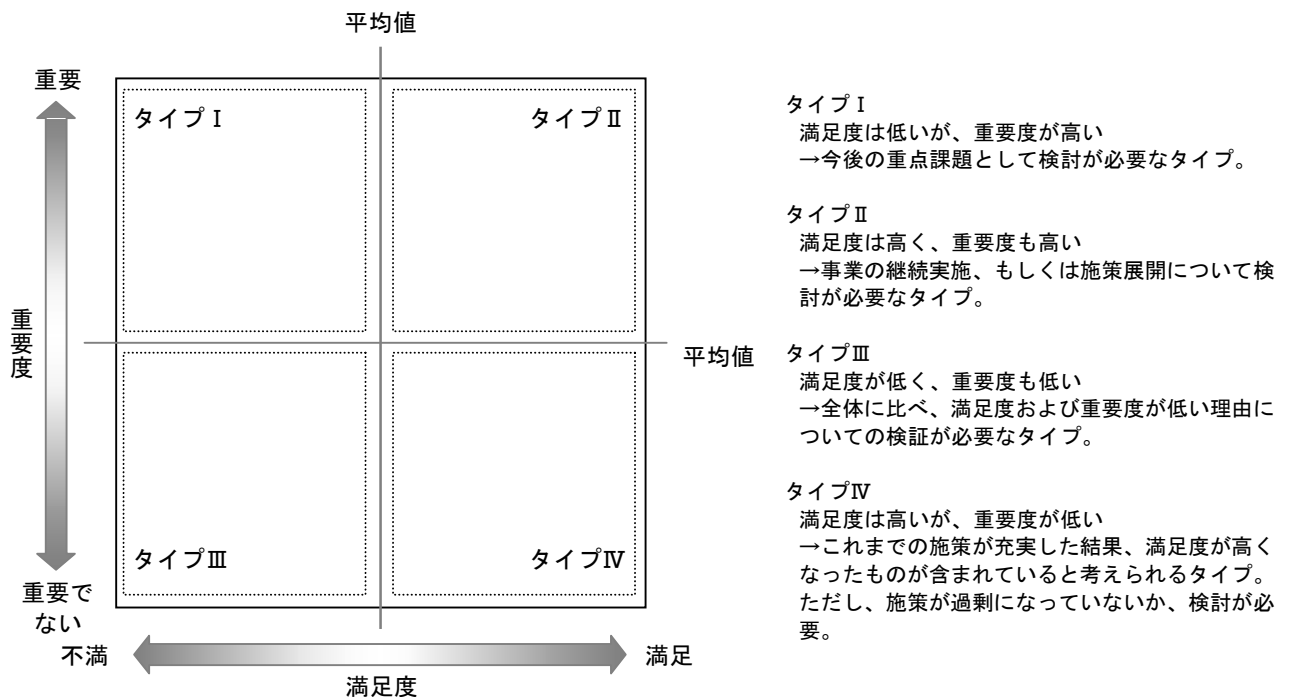
項 目	点数
満足	2 点
まあ満足	1 点
どちらともいえない	0 点
やや不満	-1 点
不満	-2 点

重要度の評価基準

項 目	点数
とても重要	2 点
重要	1 点
それほどでもない	0 点

【ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価】

各項目の満足度と重要度のポイントの関係について、下図のとおり分布図を作成し、今後の施策の方向性を分析しました。



※ポートフォリオとは、各属性について、Y軸に満足度、X軸に重要度として、その相関関係を表しています。なお、図は4象限に分けられ、象限をわける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

算出された満足度・重要度得点をもとに、各事業の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

その結果、『2 必要な時に適切な医療が受けられる』『25 消防・救急体制』については、満足度・重要度ともに上位3位以内に順位付けられています。

また、満足度の最下位は『23 鉄道・バスの便利さ』、重要度の最下位は『32 新たな観光地づくり』となっています。

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいのは、『25 鉄道・バスの便利さ』『31 にぎわいのある商業地づくり』『22 道路網の便利さ、快適さ』となっています。

■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満 足 度		順位	重 要 度	
事業名	得点		得点	事業名
2 必要な時に適切な医療が受けられる	0.56	第1位	1.70	2 必要な時に適切な医療が受けられる
1 心身ともに健康で充実した生活を送る	0.56			
15 身近な緑の環境	0.56			
25 消防・救急体制	0.44	第2位	1.55	25 消防・救急体制
14 リサイクル活動	0.43	第3位	1.51	26 犯罪からまちを守る
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備	-0.53	第36位	0.81	3 スポーツを習慣にした生活を送る
31 にぎわいのある商業地づくり	-0.62	第37位	0.77	33 裾野市の全国に向けたアピール
23 鉄道・バスの便利さ	-0.80	最下位	0.76	32 新たな観光地づくり

■満足度と重要度の差■

順位	事業名	満足度	重要度	点数差 (満足度－重要度)
第1位	23 鉄道・バスの便利さ	-0.80	1.21	-2.01
第2位	31 にぎわいのある商業地づくり	-0.62	1.07	-1.69
第3位	22 道路網の便利さ、快適さ	-0.37	1.24	-1.61

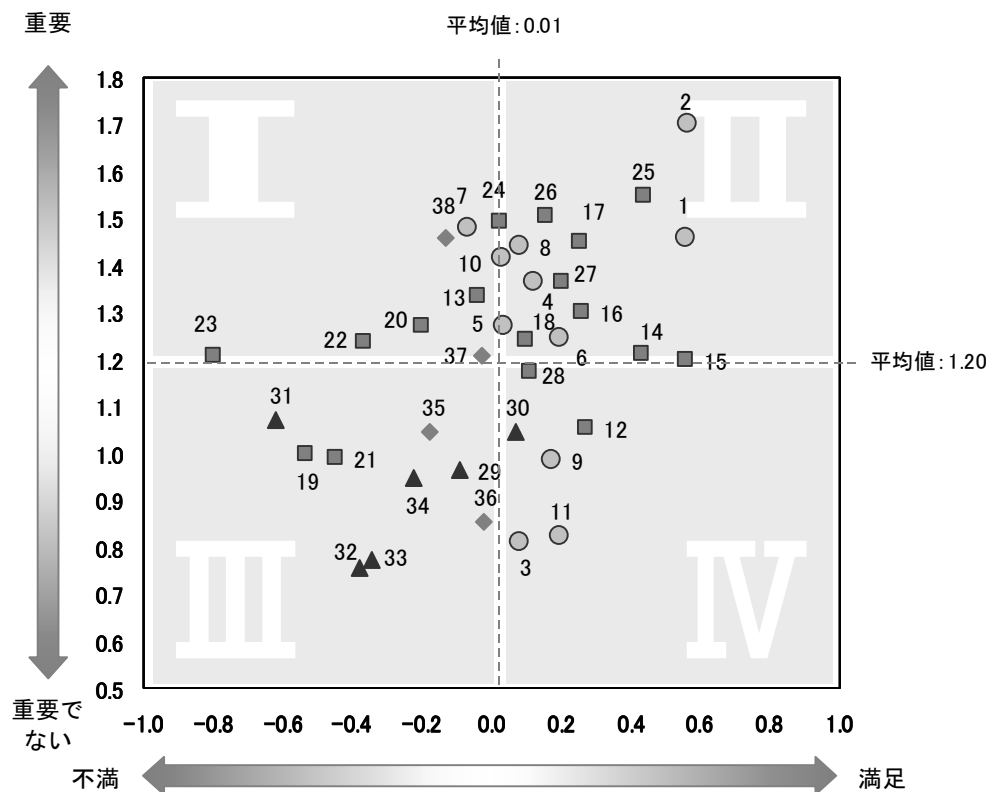
※点数差＝満足度－重要度：満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化しました。

（２）ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価

- ◆健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野がタイプⅠ、タイプⅡに分布
- ◆地域産業分野がタイプⅢに分布

ポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、健康・福祉・教育分野、自然・環境・都市基盤・安全分野の取り組みは重要度が高い傾向にあり、今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、全体に比べ満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

また、地域産業分野の取り組みは、満足度、重要度ともに低い傾向にあり、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



- みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）
- 人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）
- ▲ 新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）
- ◆ 頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

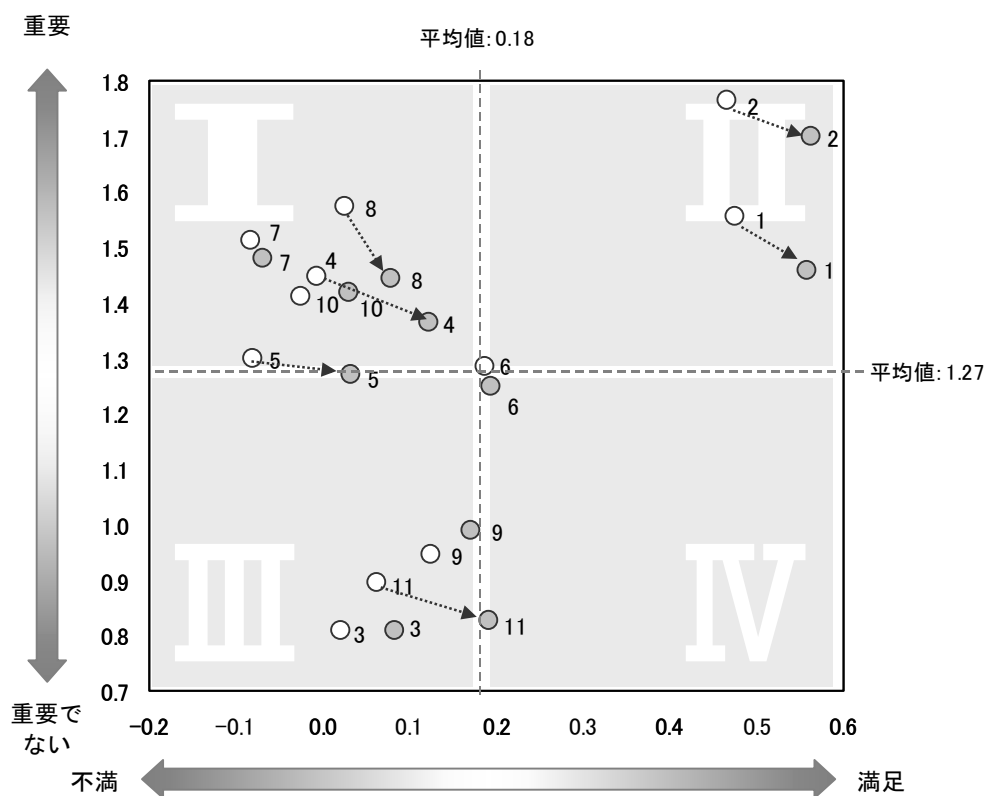
タイプⅠ	タイプⅡ
○ 7 安心して子育てと就労が両立できる ○ 13 ごみ不法投棄や公害への対策 ■ 20 誰もが住みやすい住環境の整備 ■ 22 道路網の便利さ、快適さ ■ 23 鉄道・バスの便利さ ■ 37 市民のための行政サービス ◆ 38 健全な財政運営	○ 1 心身ともに健康で充実した生活を送る ○ 2 必要な時に適切な医療が受けられる ○ 4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす ○ 5 障害のある人の社会参加と自立 ○ 6 地域住民が共に支えあって暮らす ○ 8 人間性豊かな子どもを育てる教育 ○ 10 次世代を担う健全な青少年を育てる ○ 14 リサイクル活動 ■ 15 身近な緑の環境 ■ 16 きれいな川を守り、水に親しむ ■ 17 山や川の災害を防ぐ ■ 18 上・下水道事業 ■ 24 地震災害対策 ■ 25 消防・救急体制 ■ 26 犯罪からまちを守る ■ 27 交通安全対策
タイプⅢ	タイプⅣ
■ 19 裾野の顔となる拠点市街地の整備 ■ 21 適切な土地利用がされている ▲ 29 農林業の活性化 ▲ 31 にぎわいのある商業地づくり ▲ 32 新たな観光地づくり ▲ 33 裾野市の全国に向けたアピール ▲ 34 時代に対応した情報の発信 ◆ 35 市民と行政の協働によるまちづくり ◆ 36 男女共同参画社会	○ 3 スポーツを習慣にした生活を送る ○ 9 生涯学習や文化活動の機会や場所 ○ 11 地域コミュニティ活動の活発化 ■ 12 恵まれた自然景観の活用 ■ 15 身近な緑の環境（再掲） ■ 28 安全で豊かな消費生活 ▲ 30 先進企業を核とした地場産業の活性化

①みんなの健康 互いの福祉 人づくりと文化を世界に誇る（健康・福祉・教育分野）
ア ポートフォリオによる分析

◆主に満足度は低いが、重要度が高いタイプⅠに分布

健康・福祉・教育分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』『7 安心して子育てと就労が両立できる』『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』『10 次世代を担う健全な青少年を育てる』は今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠに分布しています。

また、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『5 障害のある人の社会参加と自立』『9 生涯学習や文化活動の機会や場所』は全体に比べ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



● 平成 22 年度調査

○ 平成 21 年度調査

タイプⅠ	タイプⅡ
4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす 7 安心して子育てと就労が両立できる 5 障害のある人の社会参加と自立 8 人間性豊かな子どもを育てる教育 10 次世代を担う健全な青少年を育てる	1 心身ともに健康で充実した生活を送る 2 必要な時に適切な医療が受けられる
タイプⅢ	タイプⅣ
3 スポーツを習慣にした生活を送る 5 障害のある人の社会参加と自立(再掲) 9 生涯学習や文化活動の機会や場所	6 地域住民が共に支えあって暮らす 11 地域コミュニティ活動の活発化

※平均値は平成 22 年度調査の数値です。

イ 満足度と重要度の経年変化

◆『7 安心して子育てと就労が両立できる』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『7 安心して子育てと就労が両立できる』となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす』『5 障害のある人の社会参加と自立』『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』『9 生涯学習や文化活動の機会や場所』『10 次世代を担う健全な青少年を育てる』『11 地域コミュニティ活動の活発化』については、満足度が高くなっている傾向がみられます。

また、『7 安心して子育てと就労が両立できる』については、重要度が高くなっている傾向がみられますが、『8 人間性豊かな子どもを育てる教育』については、重要度が低くなっている傾向がみられます。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
1 心身ともに健康で充実した生活を送る	満足度	0.36	0.43	0.53	0.48	0.56
	重要度	1.41	1.54	1.55	1.56	1.46
2 必要な時に適切な医療が受けられる	満足度	0.35	0.51	0.50	0.47	0.56
	重要度	1.63	1.73	1.78	1.76	1.70
3 スポーツを習慣にした生活を送る	満足度	-0.10	-0.05	0.00	0.02	0.08
	重要度	0.79	0.85	0.80	0.81	0.81
4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす	満足度	0.03	0.09	0.02	-0.01	0.12
	重要度	1.36	1.43	1.41	1.45	1.36
5 障害のある人の社会参加と自立	満足度	-0.17	-0.11	-0.11	-0.08	0.03
	重要度	1.27	1.30	1.29	1.30	1.27
6 地域住民が共に支えあって暮ら	満足度	0.10	0.18	0.19	0.19	0.19
	重要度	1.24	1.32	1.26	1.28	1.25
7 安心して子育てと就労が両立できる	満足度	-0.24	-0.06	0.05	-0.08	-0.07
	重要度	1.42	1.42	1.49	1.51	1.48
8 人間性豊かな子どもを育てる教育	満足度	-0.17	-0.02	0.06	0.03	0.08
	重要度	1.57	1.57	1.59	1.57	1.44
9 生涯学習や文化活動の機会や場所	満足度	-0.13	0.02	0.13	0.12	0.17
	重要度	0.95	1.01	0.96	0.95	0.99
10 次世代を担う健全な青少年を育てる	満足度	-0.23	-0.11	-0.03	-0.03	0.03
	重要度	1.44	1.45	1.43	1.41	1.42
11 地域コミュニティ活動の活発化	満足度	-0.04	0.04	0.10	0.06	0.19
	重要度	0.88	0.94	0.90	0.89	0.83

ウ 取り組み別満足度と重要度

◆5 割以上が『1 心身ともに健康で充実した生活を送る』『2 必要な時に適切な医療が受けられる』ことに満足している

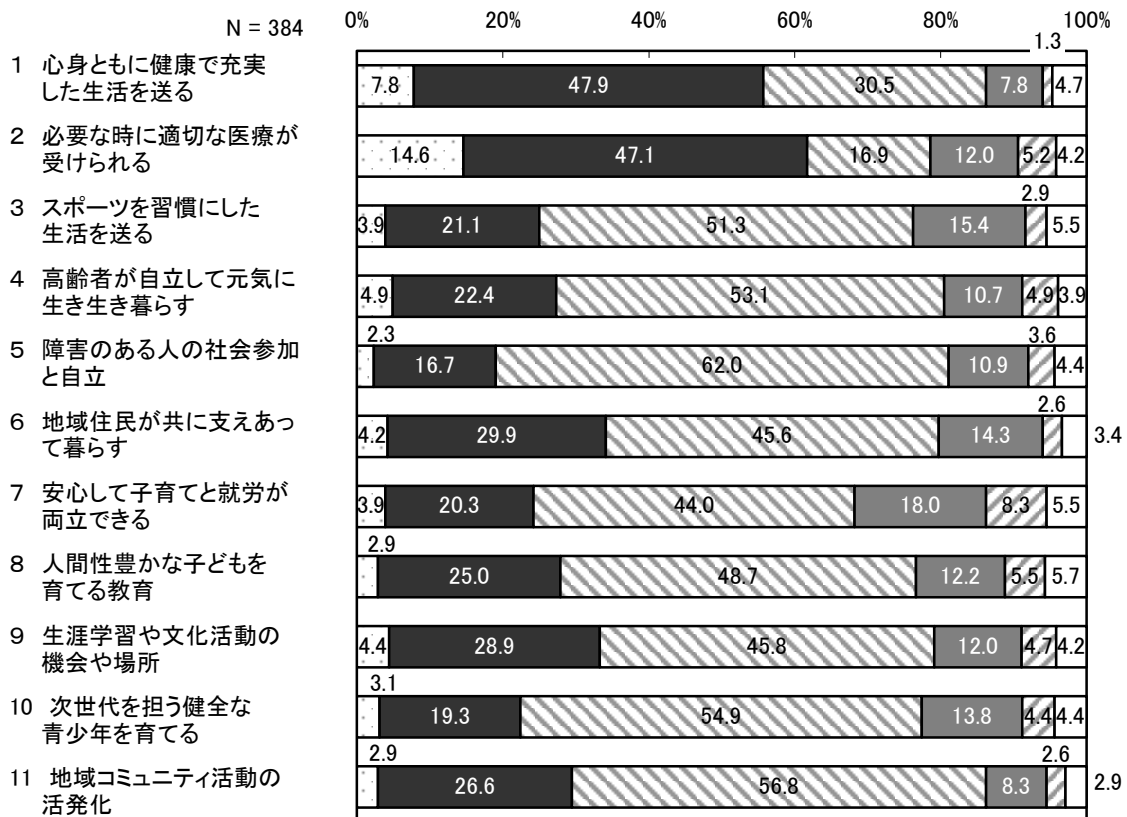
◆『2 必要な時に適切な医療が受けられる』ことについて、「とても重要」の割合が7割以上

満足度については、『1 心身ともに健康で充実した生活を送る』『2 必要な時に適切な医療が受けられる』で、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、5割以上となっています。

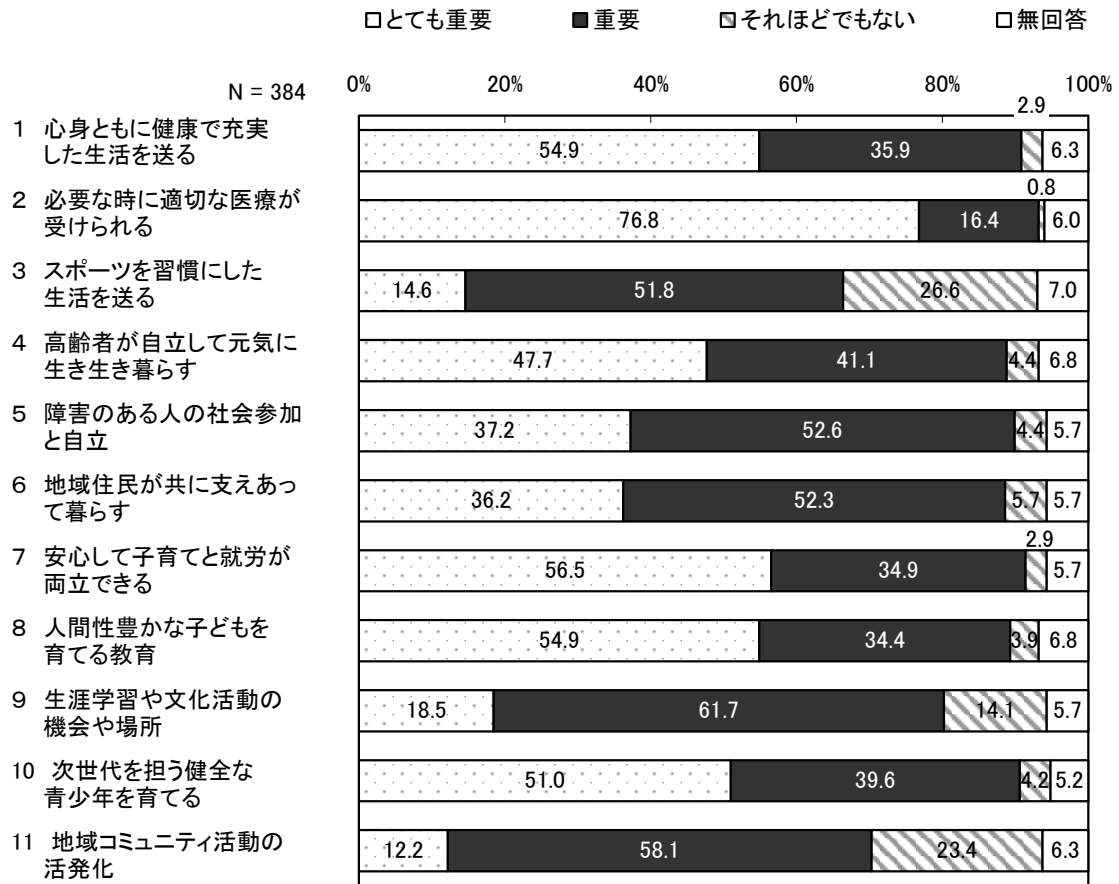
重要度については、『3 スポーツを習慣にした生活を送る』『11 地域コミュニティ活動の活発化』を除いた項目で、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に『2 必要な時に適切な医療が受けられる』では、「とても重要」の割合が7割以上と高くなっています。

【満足度】

□満足 ■まあ満足 □どちらともいえない ■やや不満 □不満 □無回答



【重要度】



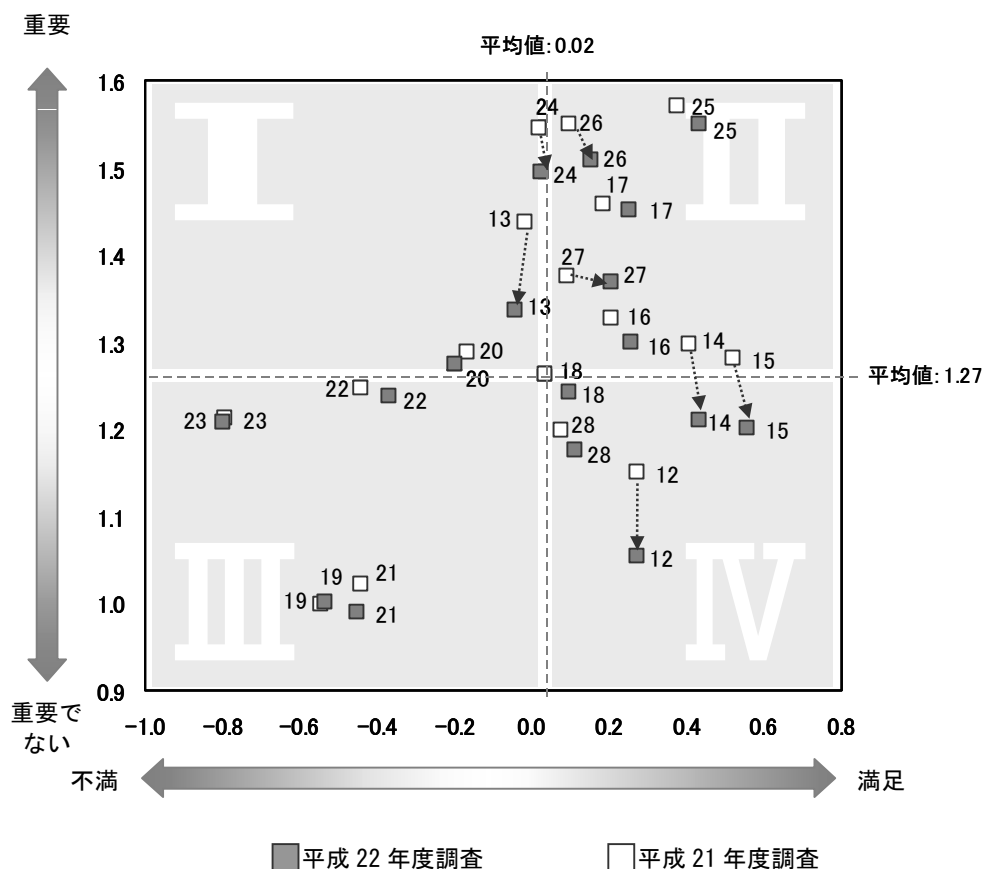
②人と自然が調和した環境快適都市（自然・環境・都市基盤・安全分野）

ア ポートフォリオによる分析

◆主に満足度は高く、重要度も高いタイプⅡ、満足度は高いが、重要度が低いタイプⅣに分布

自然・環境・都市基盤・安全分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『16 きれいな川を守り、水に親しむ』『17 山や川の災害を防ぐ』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』『27 交通安全対策』は全体に比べ、満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

『12 恵まれた自然景観の活用』『14 リサイクル活動』『15 身近な緑の環境』『18 上・下水道事業』『28 安全で豊かな消費生活』はこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないか、検討が必要なタイプⅣに分布しています。



※平均値は平成22年度調査の数値です。

タイプⅠ	タイプⅡ
13 ごみ不法投棄や公害への対策 20 誰もが住みやすい住環境の整備 24 地震災害対策	16 きれいな川を守り、水に親しむ 17 山や川の災害を防ぐ 25 消防・救急体制 26 犯罪からまちを守る 27 交通安全対策
タイプⅢ	タイプⅣ
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備 21 適切な土地利用がされている 22 道路網の便利さ、快適さ 23 鉄道・バスの便利さ	12 恵まれた自然景観の活用 14 リサイクル活動 15 身近な緑の環境 18 上・下水道事業 28 安全で豊かな消費生活

イ 満足度と重要度の経年変化

- ◆『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』『23 鉄道・バスの便利さ』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』『23 鉄道・バスの便利さ』で、1.5ポイント以上の差となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『12 恵まれた自然景観の活用』『14 リサイクル活動』『15 身近な緑の環境』『16 きれいな川を守り、水に親しむ』『17 山や川の災害を防ぐ』『18 上・下水道事業』『24 地震災害対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』『27 交通安全対策』『28 安全で豊かな消費生活』については、満足度が高くなっている傾向がみられます。一方、『13 ごみ不法投棄や公害への対策』『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『22 道路網の便利さ、快適さ』については、満足度が1点未満ですが、状況が改善されつつあることがうかがえます。

また、『13 ごみ不法投棄や公害への対策』については、重要度が低くなっており、平成18年度から0.14ポイント減少しています。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
12 恵まれた自然景観の活用	満足度	0.09	0.15	0.17	0.27	0.27
	重要度	1.11	1.12	1.09	1.15	1.05
13 ごみ不法投棄や公害への対策	満足度	-0.34	-0.31	-0.19	-0.02	-0.04
	重要度	1.48	1.52	1.46	1.44	1.34
14 リサイクル活動	満足度	0.37	0.29	0.32	0.41	0.43
	重要度	1.30	1.31	1.30	1.30	1.21
15 身近な緑の環境	満足度	0.41	0.40	0.45	0.52	0.56
	重要度	1.26	1.32	1.26	1.28	1.20
16 きれいな川を守り、水に親しむ	満足度	0.04	0.03	0.08	0.20	0.26
	重要度	1.32	1.36	1.32	1.33	1.30
17 山や川の災害を防ぐ	満足度	0.10	-0.04	0.08	0.18	0.25
	重要度	1.43	1.53	1.47	1.46	1.45
18 上・下水道事業	満足度	-0.07	0.01	-0.05	0.04	0.10
	重要度	1.26	1.35	1.29	1.26	1.24
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備	満足度	-0.63	-0.56	-0.61	-0.54	-0.53
	重要度	1.01	1.10	1.09	1.00	1.00

事業名		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
20 誰もが住みやすい 住環境の整備	満足度	-0.31	-0.19	-0.24	-0.16	-0.20
	重要度	1.26	1.31	1.32	1.29	1.27
21 適切な土地利用が されている	満足度	-0.58	-0.50	-0.54	-0.44	-0.45
	重要度	1.03	1.04	1.05	1.02	0.99
22 道路網の便利さ、快 適さ	満足度	-0.61	-0.55	-0.54	-0.44	-0.37
	重要度	1.22	1.27	1.28	1.25	1.24
23 鉄道・バスの便利さ	満足度	-0.85	-0.74	-0.81	-0.79	-0.80
	重要度	1.13	1.22	1.24	1.21	1.21
24 地震災害対策	満足度	-0.13	-0.12	-0.08	0.02	0.02
	重要度	1.48	1.56	1.53	1.55	1.49
25 消防・救急体制	満足度	0.30	0.40	0.32	0.38	0.44
	重要度	1.53	1.60	1.58	1.57	1.55
26 犯罪からまちを守 る	満足度	-0.14	0.00	-0.01	0.10	0.15
	重要度	1.55	1.58	1.59	1.55	1.51
27 交通安全対策	満足度	-0.06	0.05	0.02	0.09	0.20
	重要度	1.39	1.44	1.44	1.38	1.37
28 安全で豊かな消費 生活	満足度	-0.04	-0.03	-0.10	0.08	0.11
	重要度	1.13	1.28	1.32	1.20	1.17

ウ 取り組み別満足度と重要度

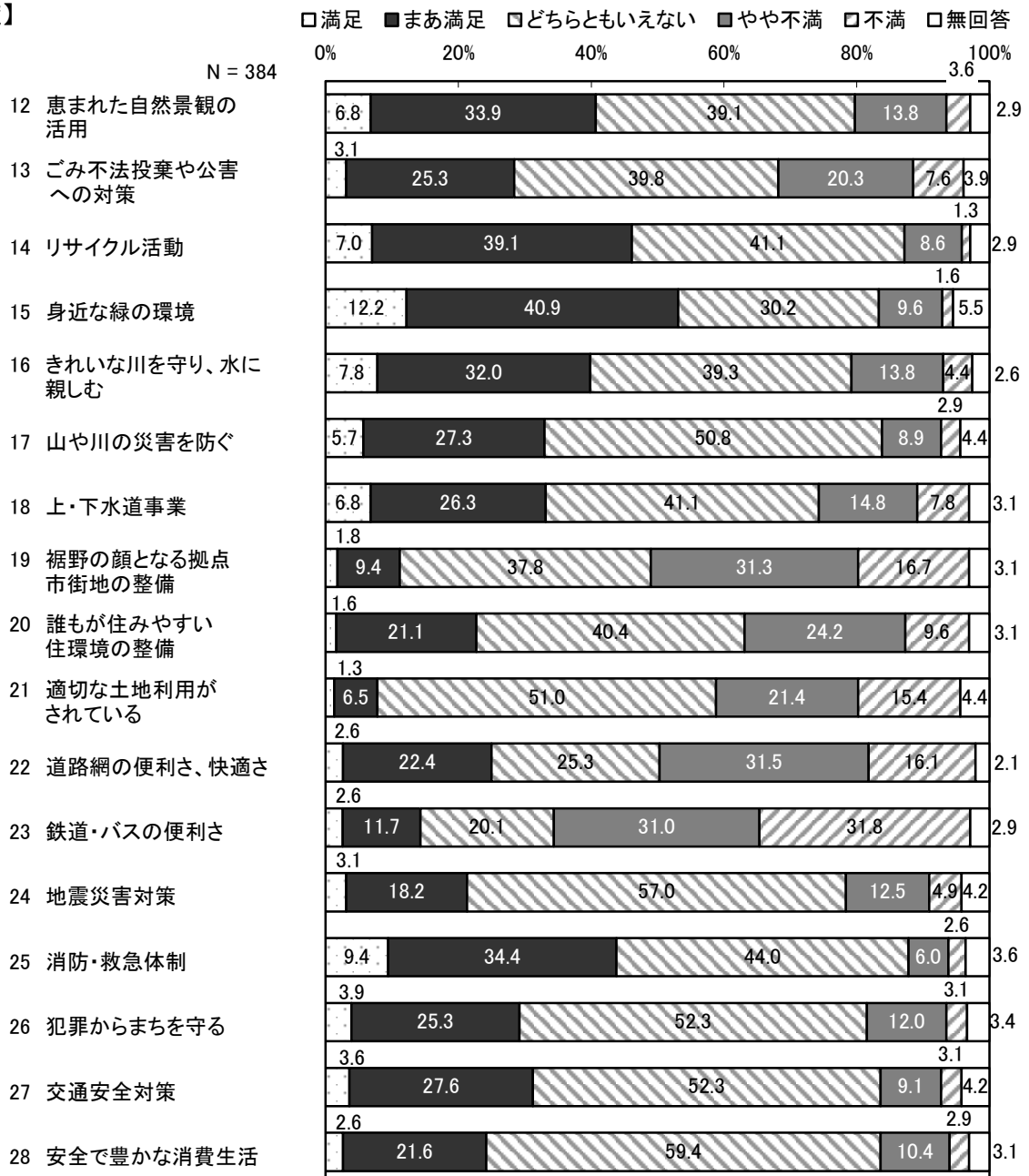
◆5割以上が『15 身近な緑の環境』に満足している

◆『24 地震対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』は、「とても重要」の割合が約6割

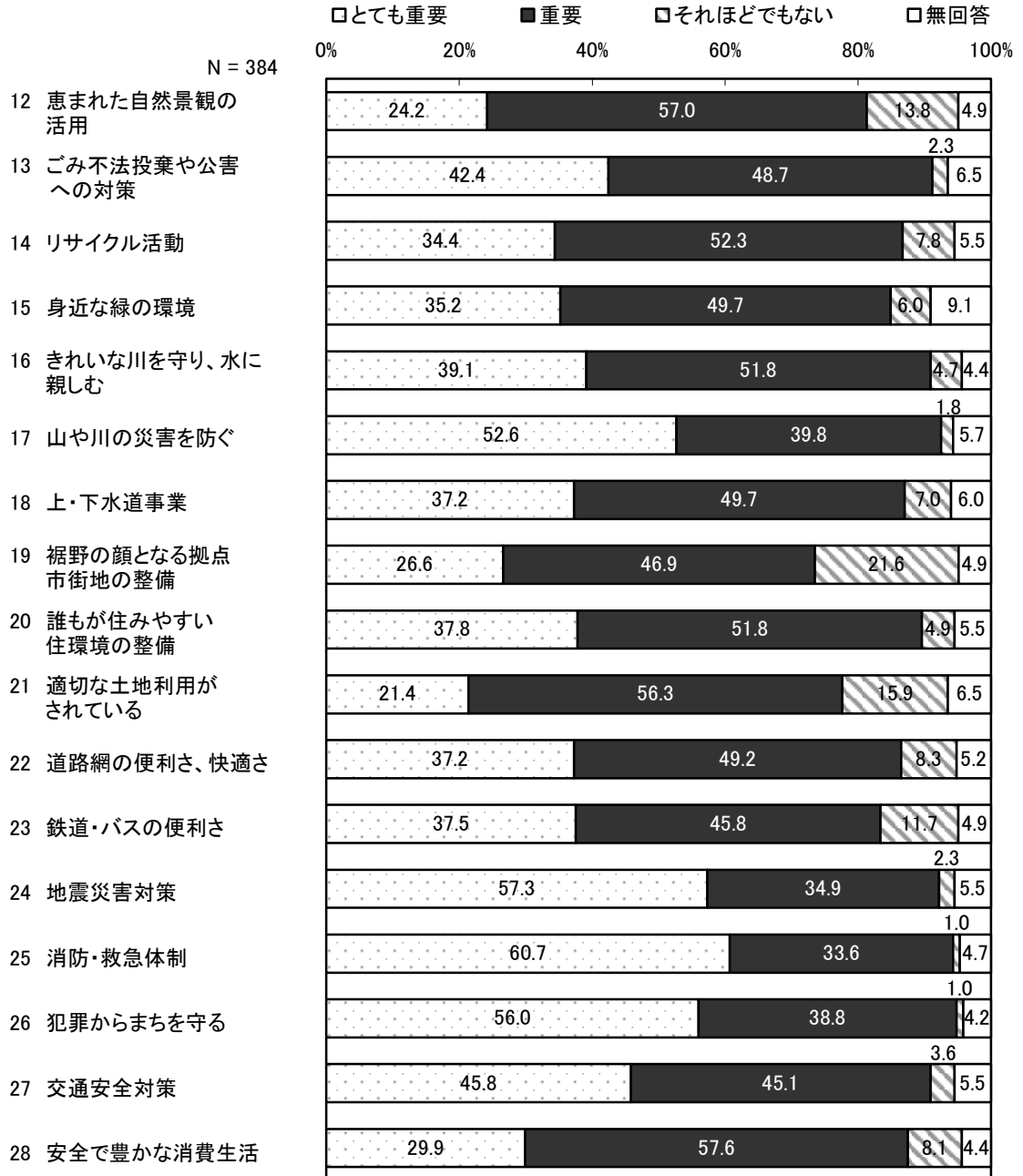
満足度については、『15 身近な緑の環境』で、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、5割以上となっています。

重要度については、『19 裾野の顔となる拠点市街地の整備』『21 適切な土地利用がされている』を除いたすべての項目で、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に『24 地震対策』『25 消防・救急体制』『26 犯罪からまちを守る』では、「とても重要」の割合が約6割と高くなっています。

【満足度】



【重要度】



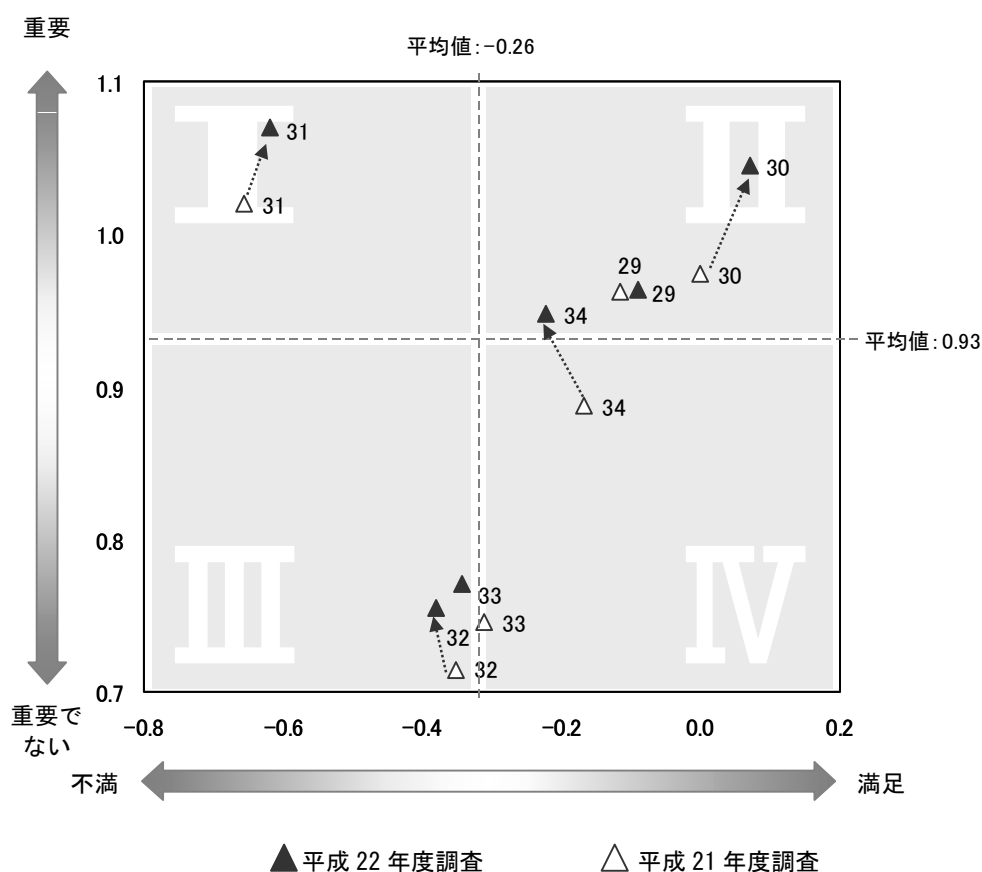
③新世紀を支える地域産業のパワーアップ（地域産業分野）

ア ポートフォリオによる分析

◆主に事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布

地域産業分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『29 農林業の活性化』『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『34 時代に対応した情報の発信』は全体に比べ、満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡに分布しています。

また、『32 新たな観光地づくり』『33 裾野市の全国に向けたアピール』は全体に比べ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢに分布しています。



タイプⅠ	タイプⅡ
31 にぎわいのある商業地づくり	29 農林業の活性化 30 先進企業を核とした地場産業の活性化 34 時代に対応した情報の発信
タイプⅢ	タイプⅣ
32 新たな観光地づくり 33 裾野市の全国に向けたアピール	

※平均値は平成 22 年度調査の数値です。

イ 満足度と重要度の経年変化

- ◆『31 にぎわいのある商業地づくり』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『31 にぎわいのある商業地づくり』となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『29 農林業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』『33 裾野市の全国に向けたアピール』については、満足度が1点未満ですが、状況が改善されつつあることがうかがえます。

また、『33 裾野市の全国に向けたアピール』については、重要度が低くなっている傾向がみられます。

事業名		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
29 農林業の活性化	満足度	-0.15	-0.15	-0.19	-0.12	-0.09
	重要度	0.84	0.95	0.97	0.96	0.96
30 先進企業を核とした 地場産業の活性化	満足度	0.05	0.09	0.06	0.00	0.07
	重要度	0.92	1.02	1.04	0.97	1.04
31 にぎわいのある商 業地づくり	満足度	-0.67	-0.66	-0.70	-0.66	-0.62
	重要度	0.95	1.03	1.07	1.02	1.07
32 新たな観光地づく り	満足度	-0.37	-0.37	-0.38	-0.35	-0.38
	重要度	0.64	0.79	0.79	0.71	0.76
33 裾野市の全国に向 けたアピール	満足度	-0.45	-0.40	-0.43	-0.31	-0.34
	重要度	0.69	0.81	0.79	0.75	0.77
34 時代に対応した情 報の発信	満足度	-0.28	-0.23	-0.27	-0.17	-0.22
	重要度	0.84	0.94	0.91	0.89	0.95

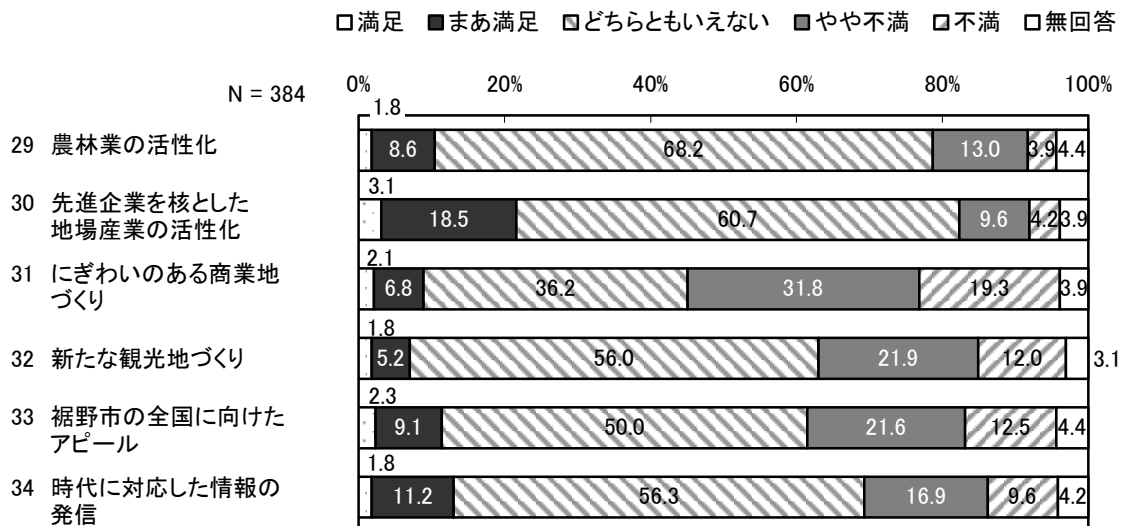
ウ 取り組み別満足度と重要度

- ◆約 2 割が『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』に満足している
- ◆『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』について、「とても重要」の割合が 2 割強

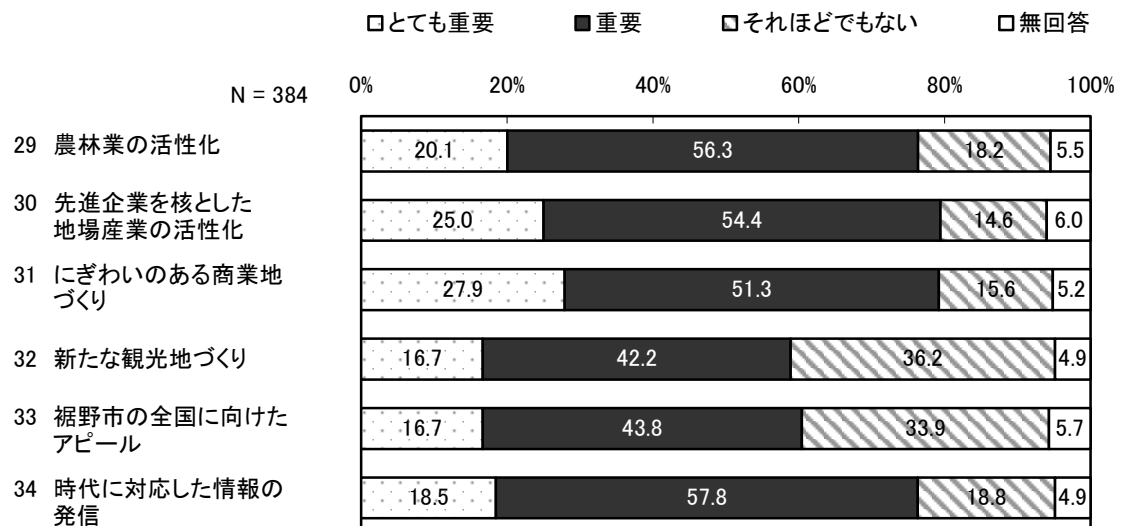
満足度については、『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、約 2 割となっています。

重要度については、『29 農林業の活性化』『30 先進企業を核とした地場産業の活性化』『31 にぎわいのある商業地づくり』『34 時代に対応した情報の発信』に対し、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、7 割以上となっています。

【満足度】



【重要度】

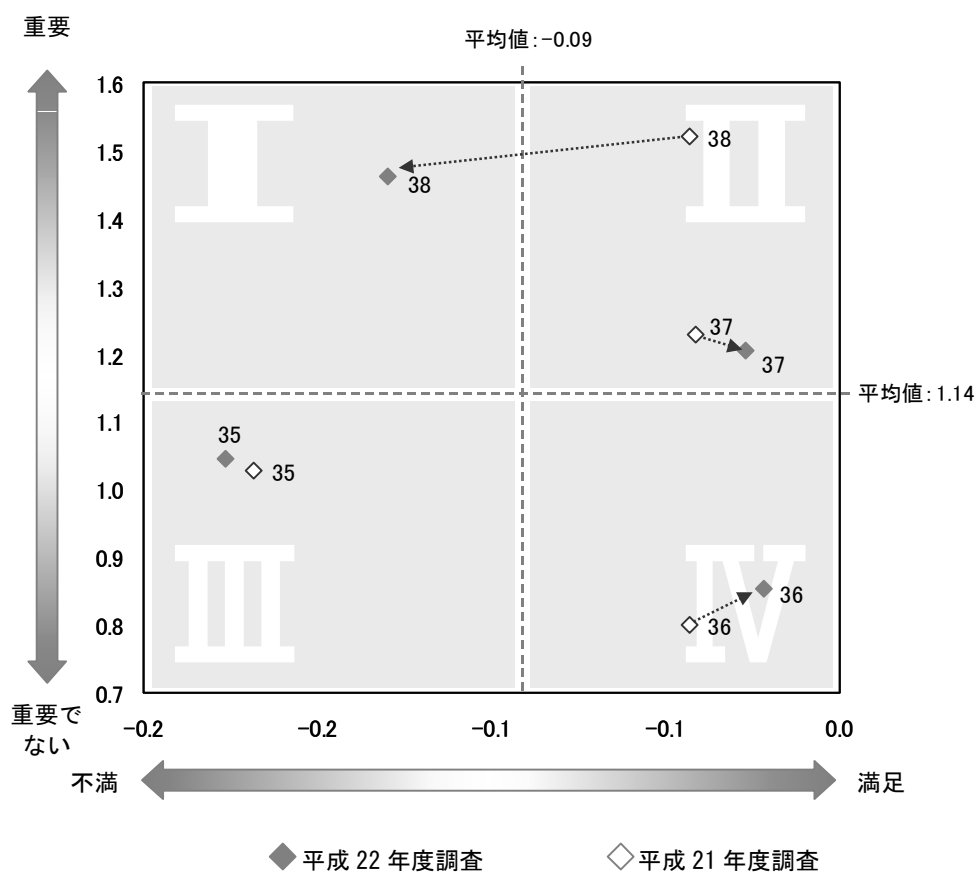


④頑張る市民・支える市役所（市民主体・行財政分野）

ア ポートフォリオによる分析

◆タイプⅠ、タイプⅡ、タイプⅢ、タイプⅣそれぞれに取り組みが分布

市民主体・行財政分野のポートフォリオによる現状評価と重要度の評価については、『38 健全な財政運営』は今後の重点課題として検討が必要なタイプⅠ、『37 市民のための行政サービス』は全体に比べ、満足度、重要度ともに高く、事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプⅡ、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』は全体に比べ、満足度、重要度ともに低く、満足度および重要度が低い理由についての検証が必要なタイプⅢ、『36 男女共同参画社会』はこれまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられますが、重要度が低く、施策が過剰になっていないか、検討が必要なタイプⅣにそれぞれ分布しています。



タイプⅠ	タイプⅡ
38 健全な財政運営	37 市民のための行政サービス
タイプⅢ	タイプⅣ
35 市民と行政の協働によるまちづくり	36 男女共同参画社会

※平均値は平成 22 年度調査の数値です。

イ 満足度と重要度の経年変化

◆『38 健全な財政運営』で現状の満足度と今後の重要度の差が大きく、満足度が低く、重要度が高い

現状の満足度と今後の重要度の差が大きいものは、『38 健全な財政運営』となっています。

満足度と重要度の推移をみると、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』『36 男女共同参画社会』『37 市民のための行政サービス』については、満足度が高くなっている傾向がみられますが、『38 健全な財政運営』については、満足度が低くなっている傾向がみられます。

また、『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』については、他の項目に比べ重要度が高く、約 1.2 ポイント以上で推移しています。

事業名		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
35 市民と行政の協働 によるまちづくり	満足度	-0.34	-0.25	-0.30	-0.17	-0.18
	重要度	1.03	1.07	1.07	1.03	1.04
36 男女共同参画社会	満足度	-0.13	-0.10	-0.09	-0.04	-0.02
	重要度	0.76	0.84	0.81	0.80	0.85
37 市民のための行政 サービス	満足度	-0.31	-0.21	-0.21	-0.04	-0.03
	重要度	1.19	1.28	1.28	1.23	1.21
38 健全な財政運営	満足度	-0.24	-0.07	0.00	-0.04	-0.13
	重要度	1.41	1.51	1.53	1.52	1.46

ウ 取り組み別満足度と重要度

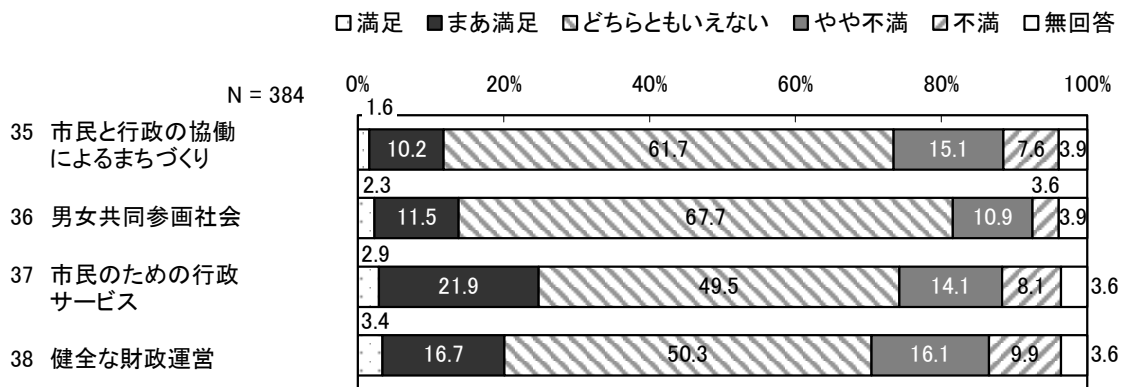
◆約2割が『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』に満足している

◆『38 健全な財政運営』について、「とても重要」の割合が約5割

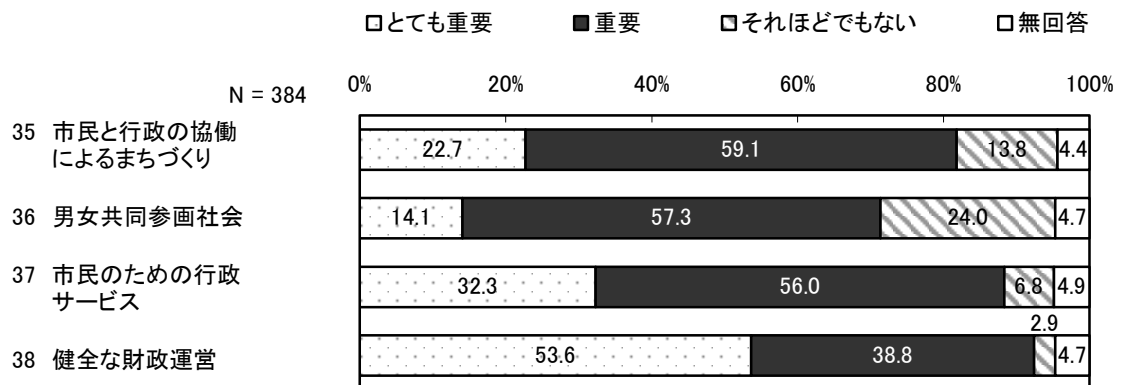
満足度については、『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』に対し、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が高く、約2割となっています。

重要度については、『35 市民と行政の協働によるまちづくり』『37 市民のための行政サービス』『38 健全な財政運営』に対し、「とても重要」と「重要」をあわせた重要だと感じている人の割合が高く、8割以上となっており、特に『38 健全な財政運営』では、「とても重要」の割合が約5割と高くなっています。

【満足度】



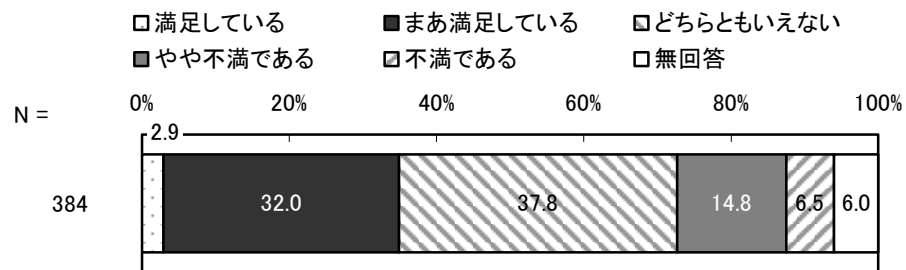
【重要度】



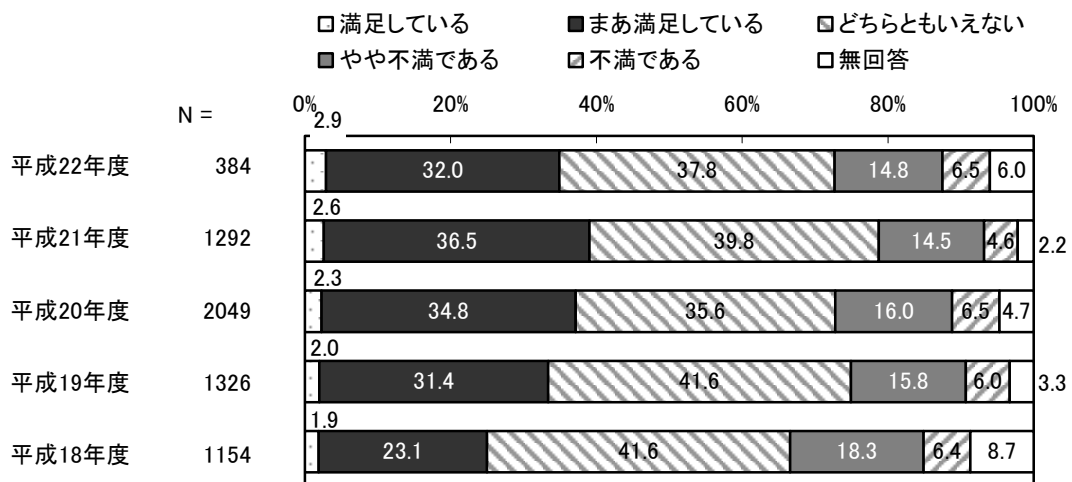
問4 市の政策全体について、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

- ◆市の政策に満足している人が約3割
- ◆40～44歳で市の政策に満足している人が約5割、20～24歳、45～49歳で市の政策に満足していない人が約3割
- ◆富岡、須山、東で市の政策に満足している人が約4割

市の政策全体の満足度については、「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が34.9%、「やや不満である」と「不満である」をあわせた市の政策に満足していない人の割合が21.3%となっています。また、平成18年度から平成21年度まで満足度が高くなってきていましたが、その後、4.2ポイント減少しています。

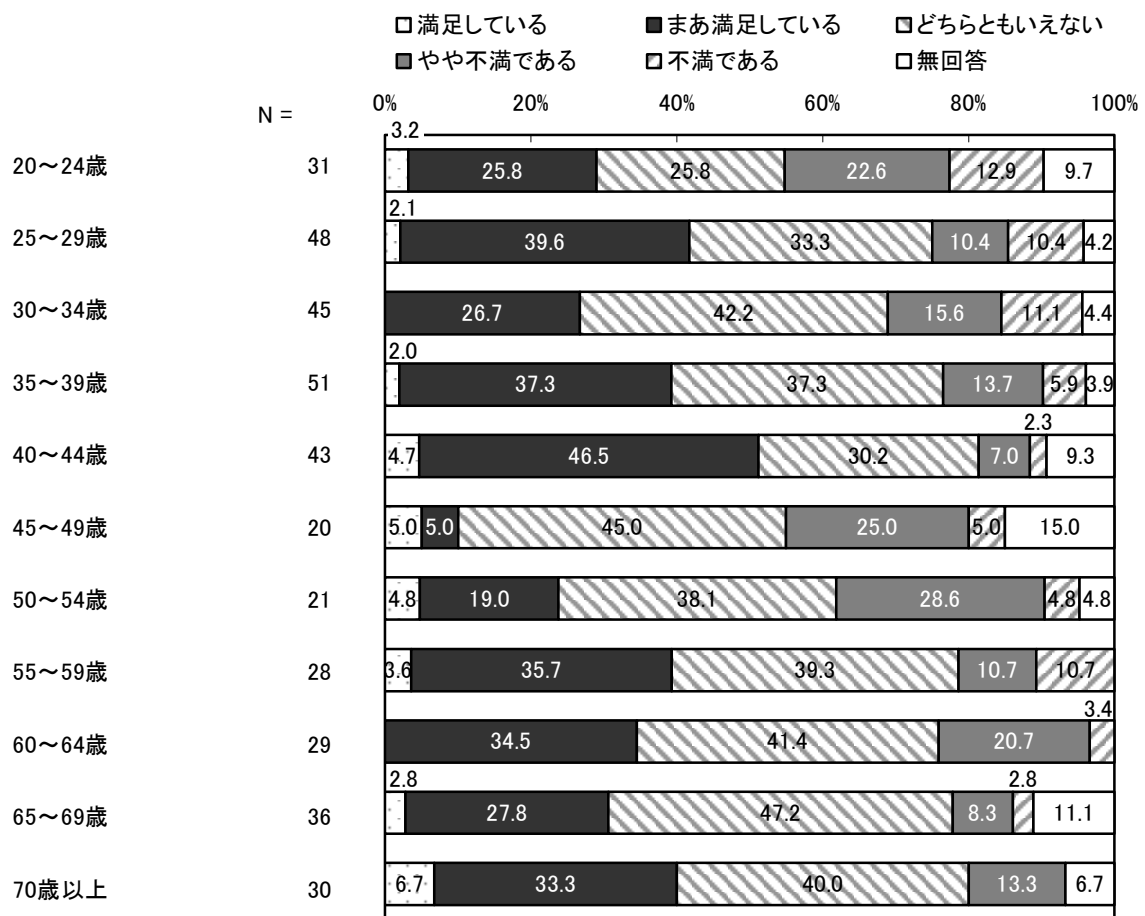


【経年比較】



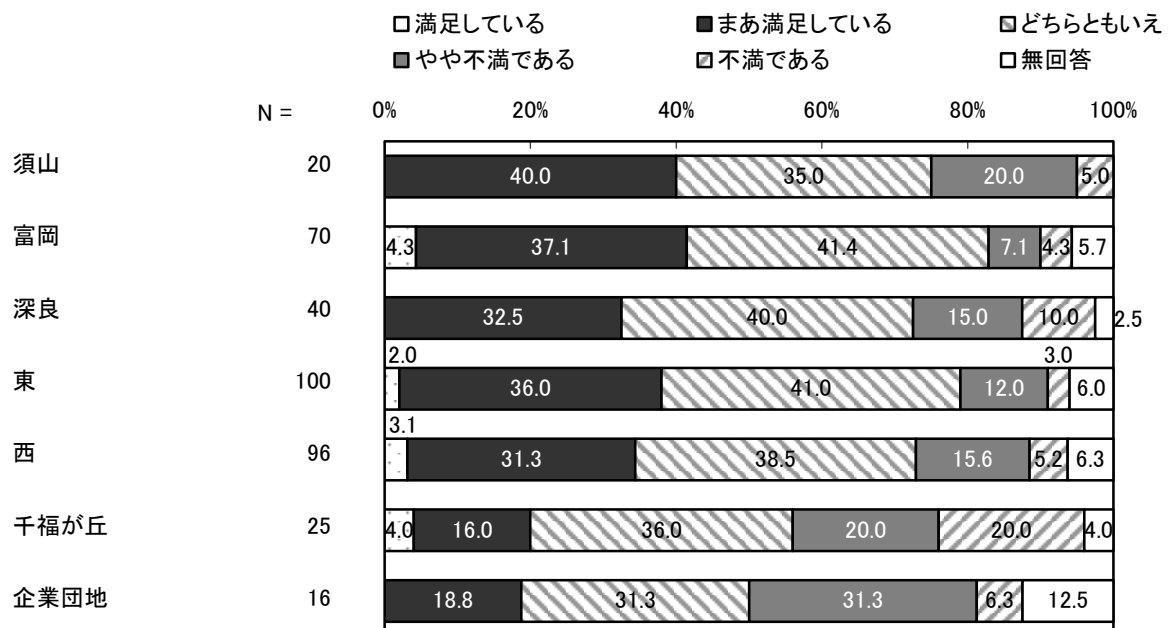
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40～44歳で「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が高く、約5割となっています。一方、20～24歳、45～54歳で「やや不満である」と「不満である」をあわせた市の政策に満足していない人の割合が高く、3割を超えています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘、企業団地で「満足している」と「まあ満足している」をあわせた市の政策に満足している人の割合が低くなっています。

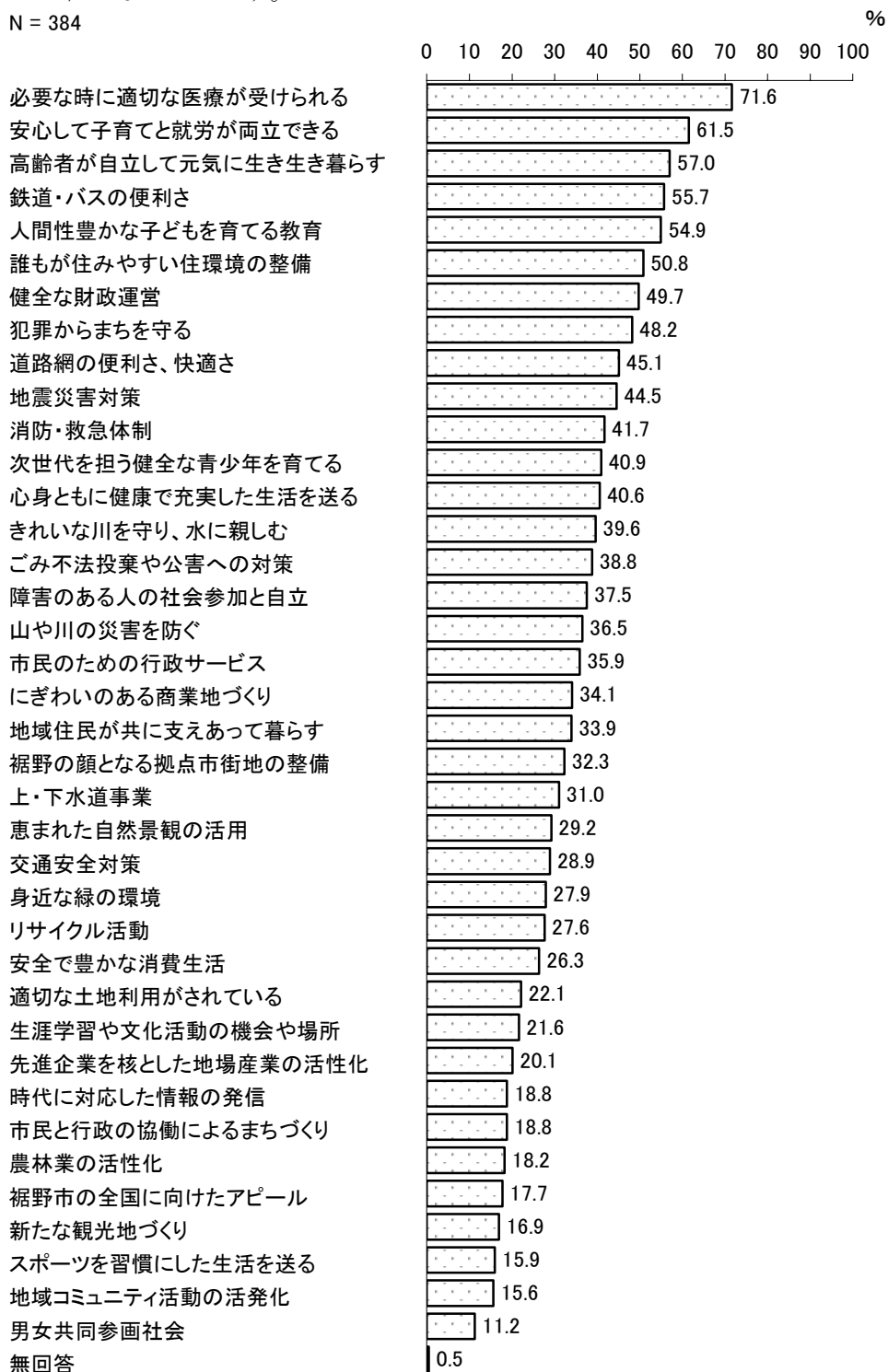


問5 市の取り組みのうち、今後さらに充実すべきものは何だと思われますか。次の中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

◆今後、充実すべき取り組みは、「必要な時に適切な医療が受けられる」「安心して子育てと就労が両立できる」とする人が6割以上

「必要な時に適切な医療が受けられる」の割合が71.6%と最も高く、次いで「安心して子育てと就労が両立できる」の割合が61.5%、「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」の割合が57.0%となっています。

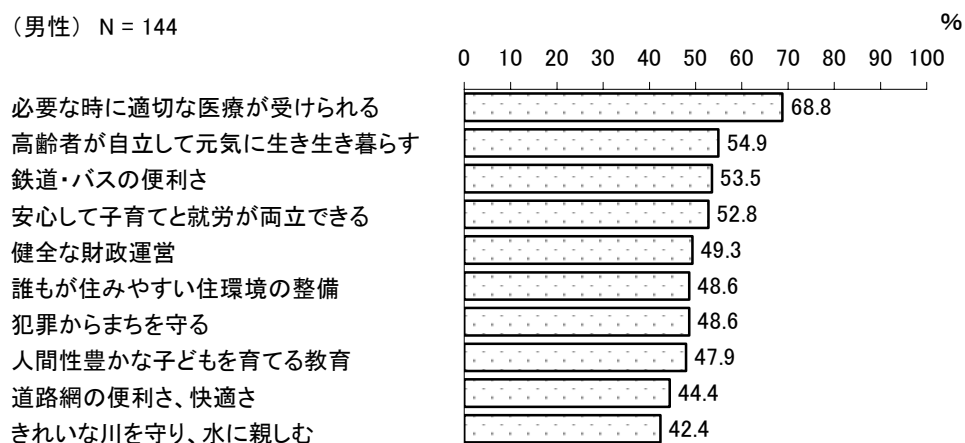
N = 384



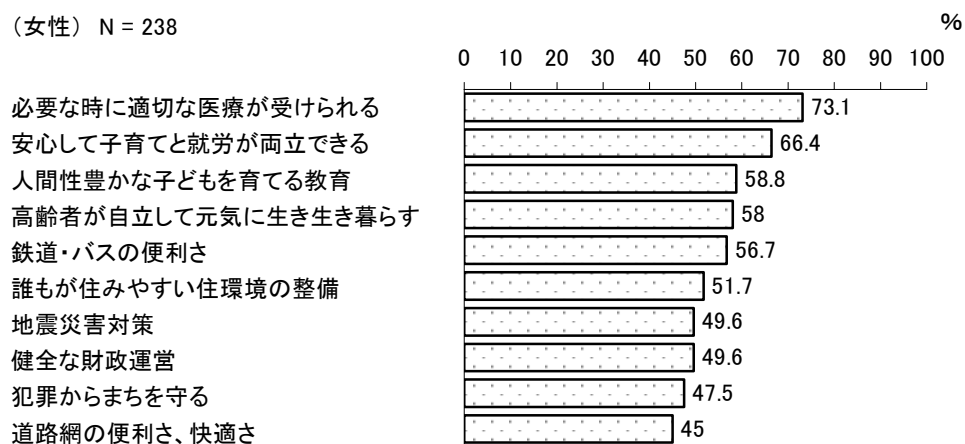
【性別】（上位 10 位）

性別でみると、男女ともに第 1 位が「必要な時に適切な医療が受けられる」となっています。また、男性で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」「鉄道・バスの便利さ」が、女性で「安心して子育てと就労が両立できる」「人間性豊かな子どもを育てる教育」が上位に入っています。

（男性） N = 144



（女性） N = 238

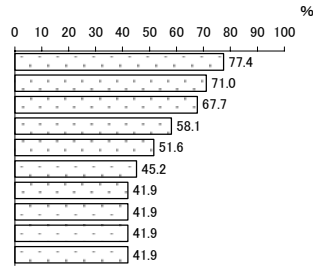


【年代別】（上位 10 位）

年代別でみると、ほとんどの年代では第 1 位が「必要な時に適切な医療が受けられる」となっていますが、30～34 歳で「安心して子育てと就労が両立できる」が、40～44 歳で「鉄道・バスの便利さ」が、60～64 歳、70 歳以上で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」が 1 位となっています。

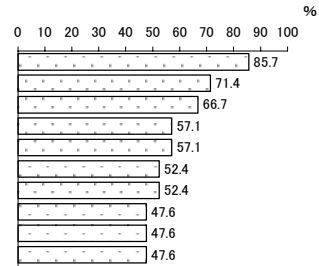
(20～24歳) N=31

必要な時に適切な医療が受けられる
鉄道・バスの便利さ
安心して子育てと就労が両立できる
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
道路網の便利さ、快適さ
誰もが住みやすい住環境の整備
心身ともに健康で充実した生活を送る
人間性豊かな子どもを育てる教育
きれいな川を守り、水に親しむ
地震災害対策



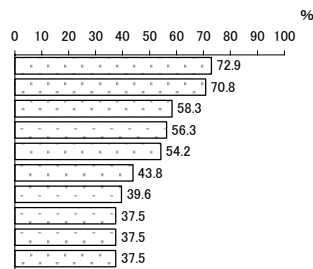
(50～54歳) N=21

必要な時に適切な医療が受けられる
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
鉄道・バスの便利さ
人間性豊かな子どもを育てる教育
誰もが住みやすい住環境の整備
安心して子育てと就労が両立できる
健全な財政運営
ごみ不法投棄や公害への対策
きれいな川を守り、水に親しむ
道路網の便利さ、快適さ



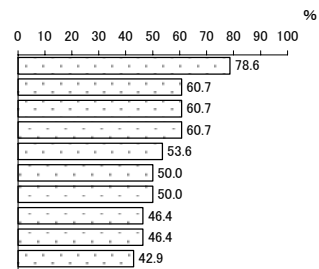
(25～29歳) N=48

必要な時に適切な医療が受けられる
安心して子育てと就労が両立できる
鉄道・バスの便利さ
人間性豊かな子どもを育てる教育
道路網の便利さ、快適さ
誰もが住みやすい住環境の整備
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
心身ともに健康で充実した生活を送る
次世代を担う健全な青少年を育てる
ごみ不法投棄や公害への対策



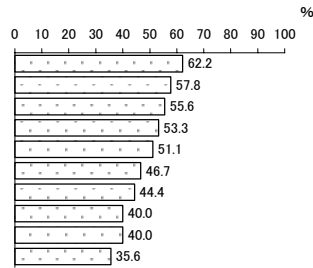
(55～59歳) N=28

必要な時に適切な医療が受けられる
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
人間性豊かな子どもを育てる教育
健全な財政運営
次世代を担う健全な青少年を育てる
誰もが住みやすい住環境の整備
地震災害対策
安心して子育てと就労が両立できる
犯罪からまちを守る
心身ともに健康で充実した生活を送る



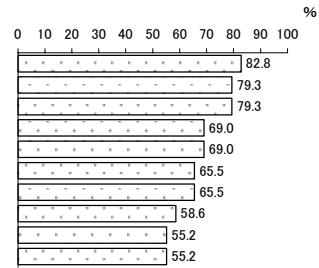
(30～34歳) N=45

安心して子育てと就労が両立できる
鉄道・バスの便利さ
人間性豊かな子どもを育てる教育
必要な時に適切な医療が受けられる
道路網の便利さ、快適さ
犯罪からまちを守る
消防・救急体制
誰もが住みやすい住環境の整備
健全な財政運営
きれいな川を守り、水に親しむ



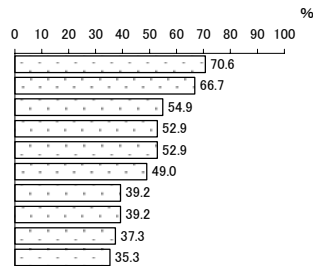
(60～64歳) N=29

高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
必要な時に適切な医療が受けられる
安心して子育てと就労が両立できる
人間性豊かな子どもを育てる教育
誰もが住みやすい住環境の整備
次世代を担う健全な青少年を育てる
健全な財政運営
恵まれた自然景観の活用
心身ともに健康で充実した生活を送る
ごみ不法投棄や公害への対策



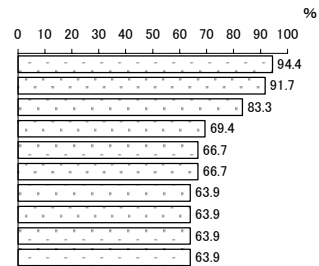
(35～39歳) N=51

必要な時に適切な医療が受けられる
安心して子育てと就労が両立できる
人間性豊かな子どもを育てる教育
地震災害対策
犯罪からまちを守る
鉄道・バスの便利さ
誰もが住みやすい住環境の整備
健全な財政運営
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
ごみ不法投棄や公害への対策



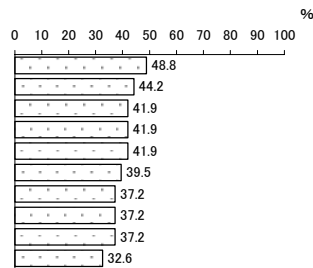
(65～69歳) N=36

必要な時に適切な医療が受けられる
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
誰もが住みやすい住環境の整備
心身ともに健康で充実した生活を送る
人間性豊かな子どもを育てる教育
健全な財政運営
地域住民が共に支えあって暮らす
次世代を担う健全な青少年を育てる
きれいな川を守り、水に親しむ
山や川の災害を防ぐ



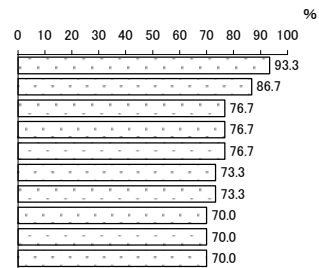
(40～44歳) N=43

鉄道・バスの便利さ
安心して子育てと就労が両立できる
必要な時に適切な医療が受けられる
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
健全な財政運営
誰もが住みやすい住環境の整備
道路網の便利さ、快適さ
犯罪からまちを守る
にぎわいのある商業地づくり
人間性豊かな子どもを育てる教育



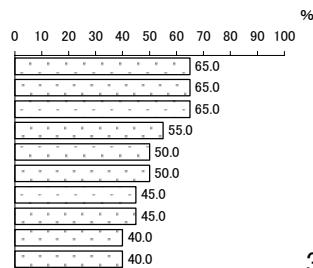
(70歳以上) N=30

高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
必要な時に適切な医療が受けられる
ごみ不法投棄や公害への対策
消防・救急体制
健全な財政運営
地域住民が共に支えあって暮らす
山や川の災害を防ぐ
心身ともに健康で充実した生活を送る
次世代を担う健全な青少年を育てる
誰もが住みやすい住環境の整備



(45～49歳) N=20

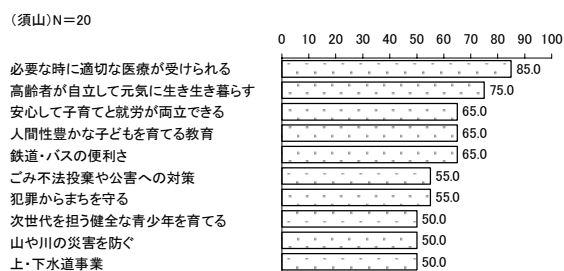
必要な時に適切な医療が受けられる
鉄道・バスの便利さ
犯罪からまちを守る
高齢者が自立して元気に生き生き暮らす
安心して子育てと就労が両立できる
健全な財政運営
人間性豊かな子どもを育てる教育
道路網の便利さ、快適さ
障害のある人の社会参加と自立
裾野の顔となる拠点市街地の整備



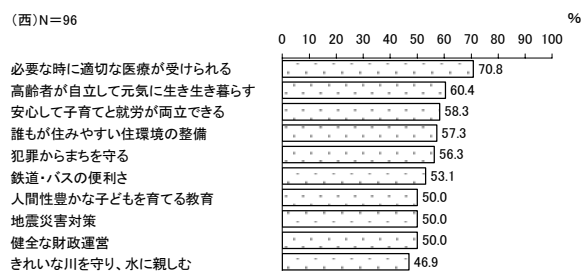
【居住地区別】（上位 10 位）

居住地区別でみると、ほとんどの地区では第 1 位が「必要な時に適切な医療が受けられる」となっていますが、企業団地で、「安心して子育てと就労が両立できる」が 1 位となっています。また、須山、西で「高齢者が自立して元気に生き生き暮らす」、富岡、東、千福が丘で「安心して子育てと就労が両立できる」、深良で「人間性豊かな子どもを育てる教育」が 2 位となっています。

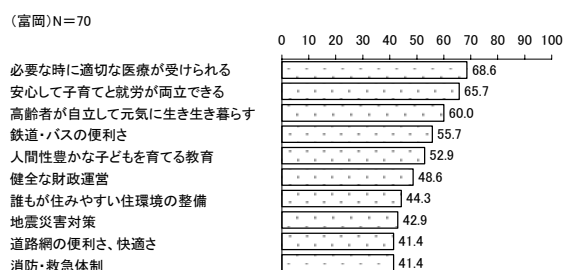
（須山）N=20



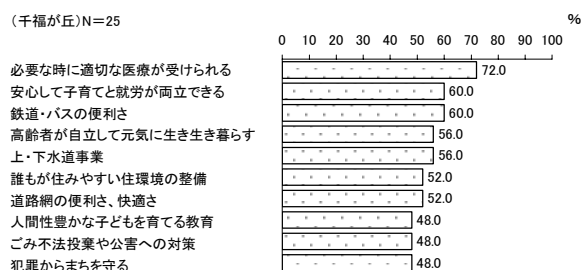
（西）N=96



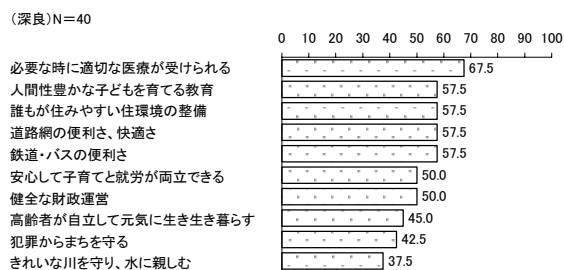
（富岡）N=70



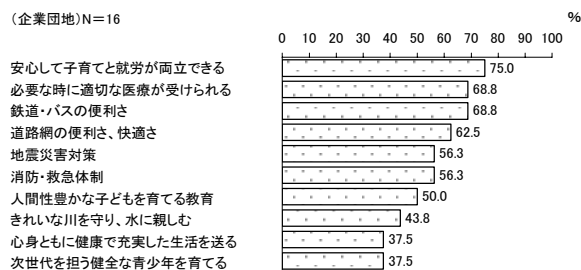
（千福が丘）N=25



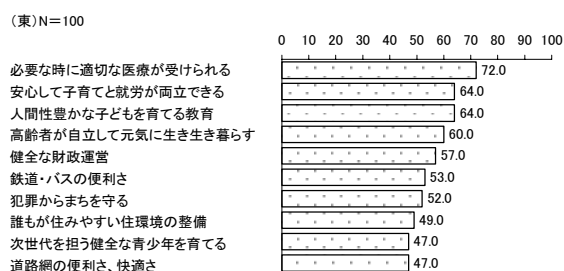
（深良）N=40



（企業団地）N=16



（東）N=100



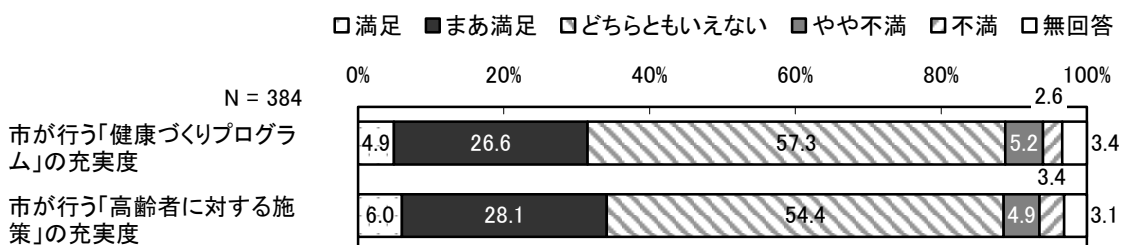
4 新しい総合計画の策定について

問6 市では現在、今後10年間の方向性を定める「第4次裾野市総合計画」を策定しております。この、計画策定の参考とするための質問です。次の市の行政サービスや業務に満足していますか、それとも不満ですか。(〇は1つ)

(1) 健康・福祉分野

『市が行う「健康づくりプログラム」の充実度』については、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が31.5%、「やや不満」と「不満」をあわせた、不満に思っている人の割合が7.8%となっています。

『市が行う「高齢者に対する施策」の充実度』については、満足している人の割合が34.1%、不満に思っている人の割合が8.3%となっています。



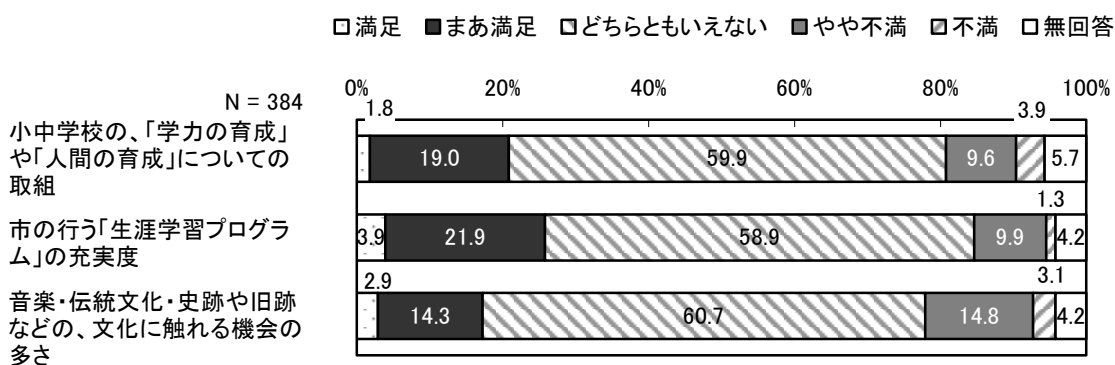
(2) 教育分野

『小中学校の、「学力の育成」や「人間の育成」についての取組』については、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が20.8%、「やや不満」と「不満」をあわせた、不満に思っている人の割合が13.5%となっています。

『市の行う「生涯学習プログラム」の充実度』については、満足している人の割合が25.8%、不満に思っている人の割合が11.2%となっています。

『音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの、文化に触れる機会の多さ』については、満足している人の割合が17.2%、不満に思っている人の割合が17.9%となっています。

この結果、教育分野では『市の行う「生涯学習プログラム」の充実度』の満足度が高く、『音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの、文化に触れる機会の多さ』で不満に思っている人の割合が高くなっています。



(3) 市民生活分野

『日常生活や職場での、「性別にかかわらず平等な環境」』については、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が27.1%、「やや不満」と「不満」をあわせた、不満に思っている人の割合が12.2%となっています。

『あなたの住んでいる環境の、「空気のきれいさ」、「川や水路などの水のきれいさ」』については、満足している人の割合が51.6%、不満に思っている人の割合が16.9%となっています。

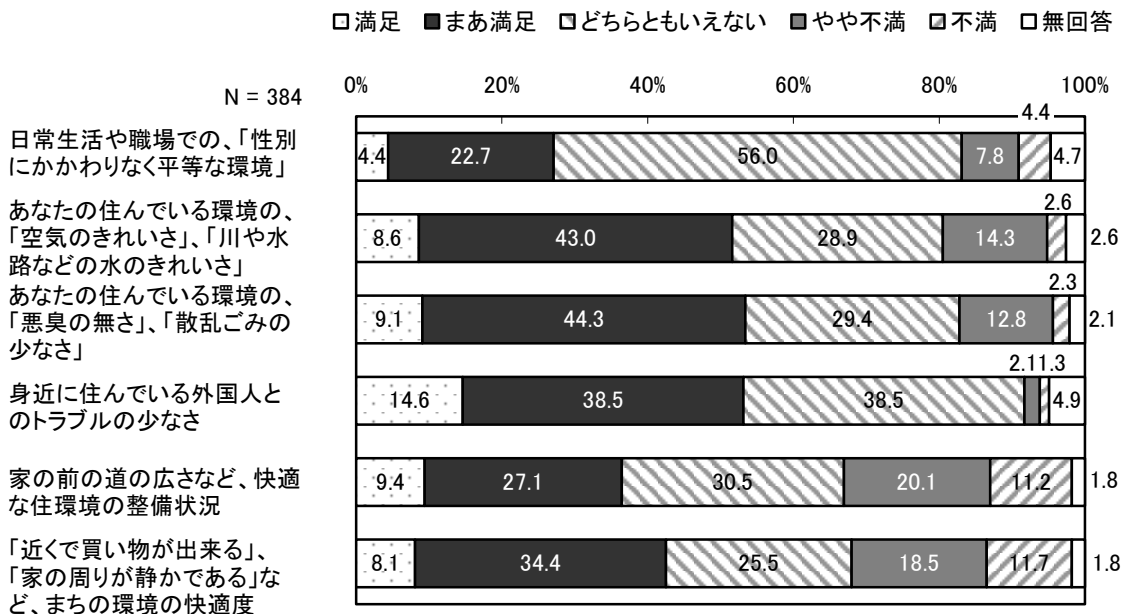
『あなたの住んでいる環境の、「悪臭の無さ」、「散乱ごみの少なさ」』については、満足している人の割合が53.4%、不満に思っている人の割合が15.1%となっています。

『身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ』については、満足している人の割合が53.1%、不満に思っている人の割合が3.4%となっています。

『家の前の道の広さなど、快適な住環境の整備状況』については、満足している人の割合が36.5%、不満に思っている人の割合が31.3%となっています。

『「近くで買い物が出来る」、「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度』については、満足している人の割合が42.5%、不満に思っている人の割合が30.2%となっています。

この結果、市民生活分野では『あなたの住んでいる環境の、「空気のきれいさ」、「川や水路などの水のきれいさ」』『あなたの住んでいる環境の、「悪臭の無さ」、「散乱ごみの少なさ」』『身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ』の満足度が高く、『家の前の道の広さなど、快適な住環境の整備状況』『「近くで買い物が出来る」、「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度』で不満に思っている人の割合が高くなっています。



(4) 基盤整備分野

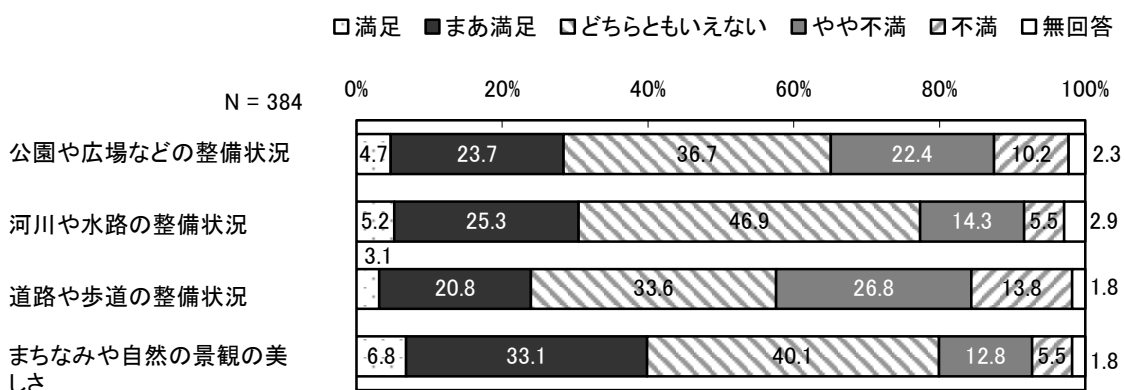
『公園や広場などの整備状況』については、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が 28.4%、「やや不満」と「不満」をあわせた、不満に思っている人の割合が 32.6% となっています。

『河川や水路の整備状況』については、満足している人の割合が 30.5%、不満に思っている人の割合が 19.8% となっています。

『道路や歩道の整備状況』については、満足している人の割合が 23.9%、不満に思っている人の割合が 40.6% となっています。

『まちなみや自然の景観の美しさ』については、満足している人の割合が 39.9%、不満に思っている人の割合が 18.3% となっています。

この結果、基盤整備分野では『まちなみや自然の景観の美しさ』の満足度が高く、『道路や歩道の整備状況』で不満に思っている人の割合が高くなっています。



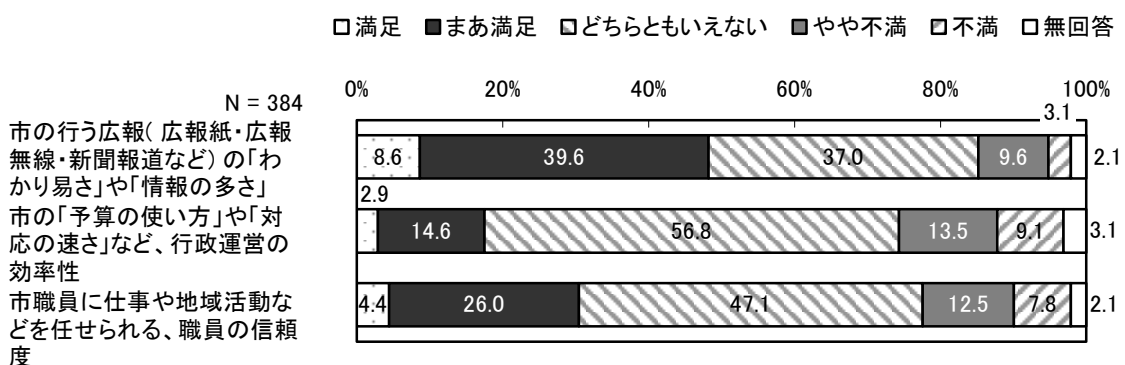
(5) 行政運営分野

『市の行う広報（広報紙・広報無線・新聞報道など）の「わかり易さ」や「情報の多さ」』については、「満足」と「まあ満足」をあわせた、満足している人の割合が 48.2%、「やや不満」と「不満」をあわせた、不満に思っている人の割合が 12.7% となっています。

『市の「予算の使い方」や「対応の速さ」など、行政運営の効率性』については、満足している人の割合が 17.5%、不満に思っている人の割合が 22.6% となっています。

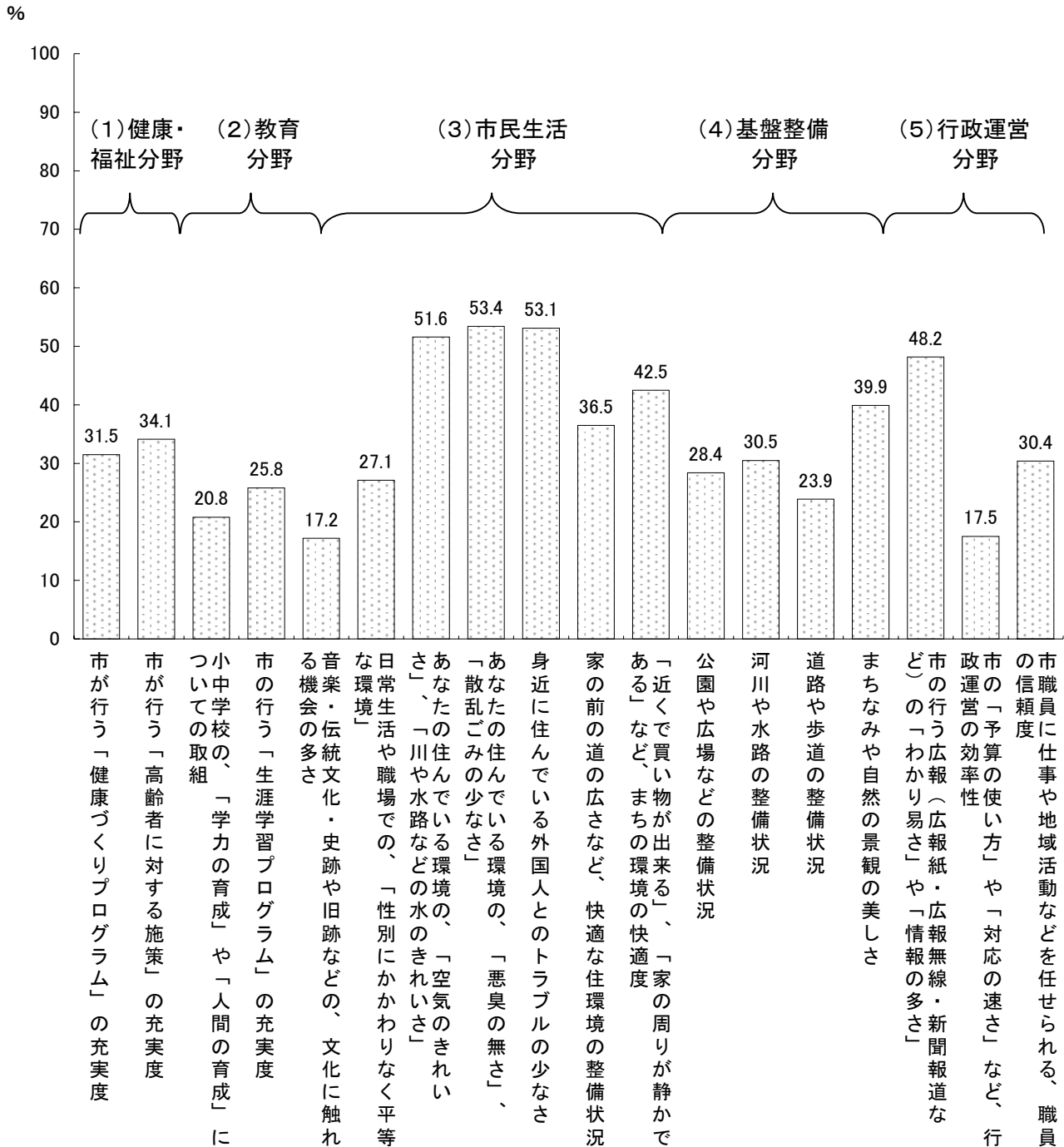
『市職員に仕事や地域活動などを任せられる、職員の信頼度』については、満足している人の割合が 30.4%、不満に思っている人の割合が 20.3% となっています。

この結果、行政運営分野では『市の行う広報（広報紙・広報無線・新聞報道など）の「わかり易さ」や「情報の多さ」』の満足度が高くなっています。



【各分野の満足度】

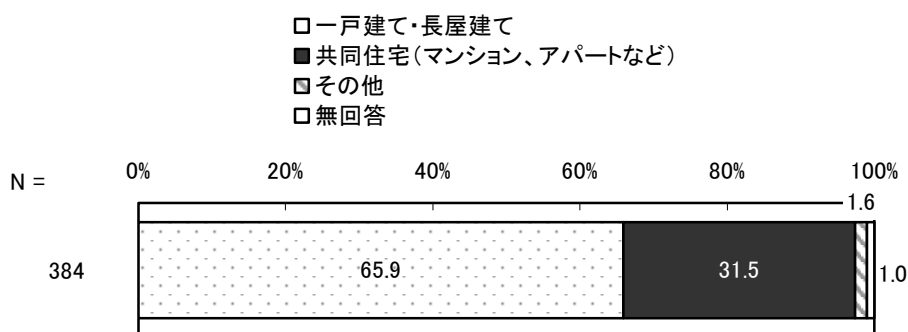
分野別の満足度では、他の分野に比べ、「(3) 市民生活分野」で満足度が高い一方、「(1) 健康・福祉分野」「(2) 教育分野」で満足度が低い傾向がみられます。



5 住宅用火災警報器の設置について

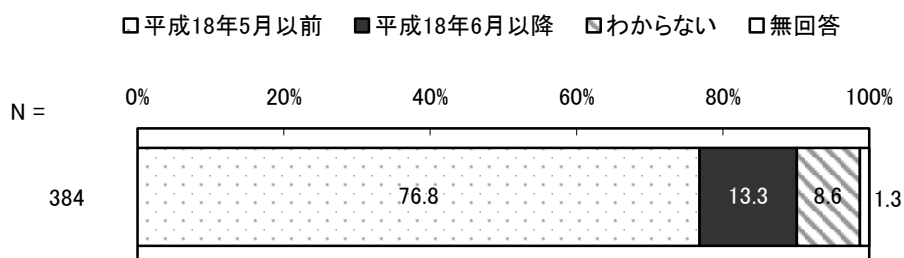
問7 あなたがお住まいの住宅は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「一戸建て・長屋建て」の割合が 65.9%、「共同住宅（マンション、アパートなど）」の割合が 31.5%となっています。



問8 あなたがお住まいの住宅が建てられたのはいつですか。(○は1つ)

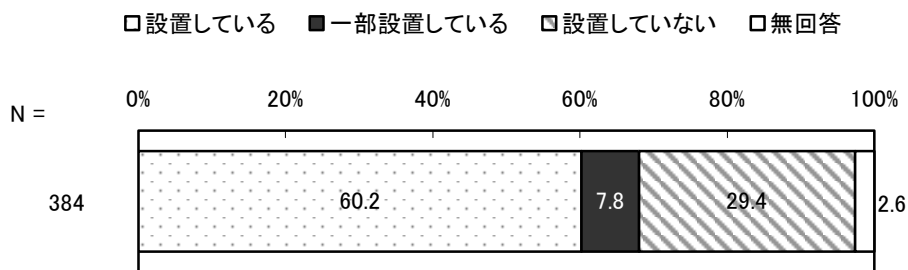
「平成 18 年 5 月以前」の割合が 76.8%と最も高く、次いで「平成 18 年 6 月以降」の割合が 13.3%となっています。



問9 平成21年6月1日から、住宅の次の場所（寝室、階段（寝室が2階以上の階にある場合））に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

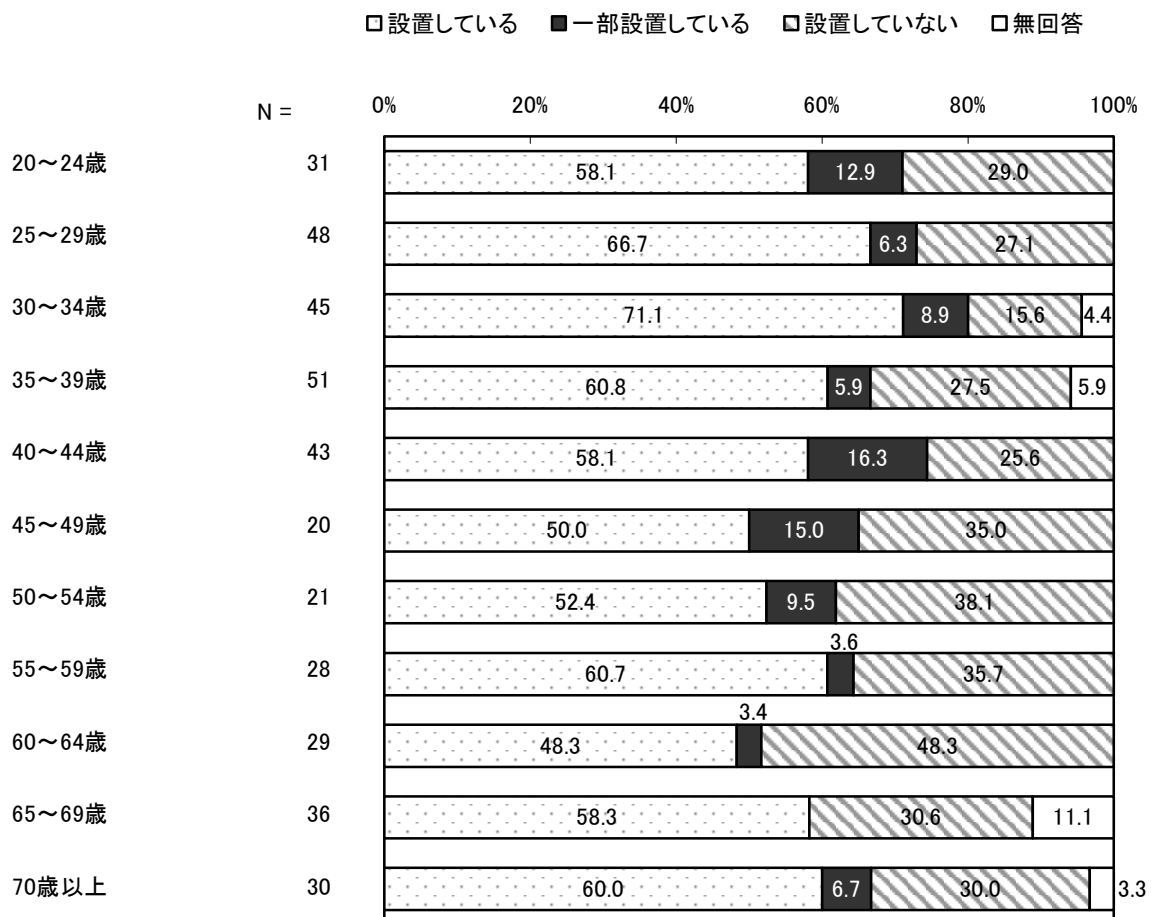
あなたがお住まいの住宅には、上の場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。
（○は1つ）

「設置している」の割合が60.2%と最も高く、次いで「設置していない」の割合が29.4%、「一部設置している」の割合が7.8%となっています。



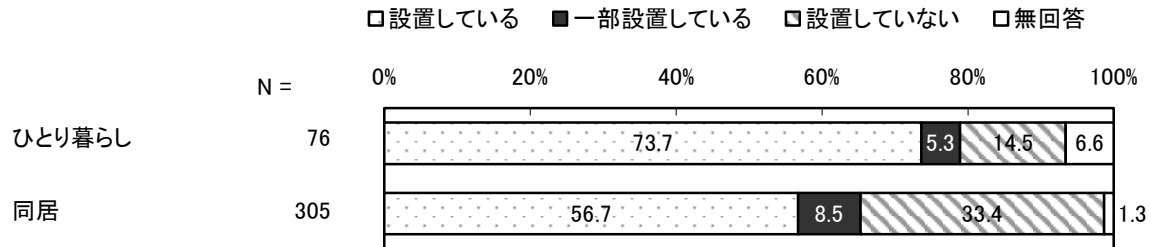
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30～34歳で「設置している」の割合が高く、約7割となっています。一方、60～64歳で「設置していない」の割合が高く、約5割となっています。



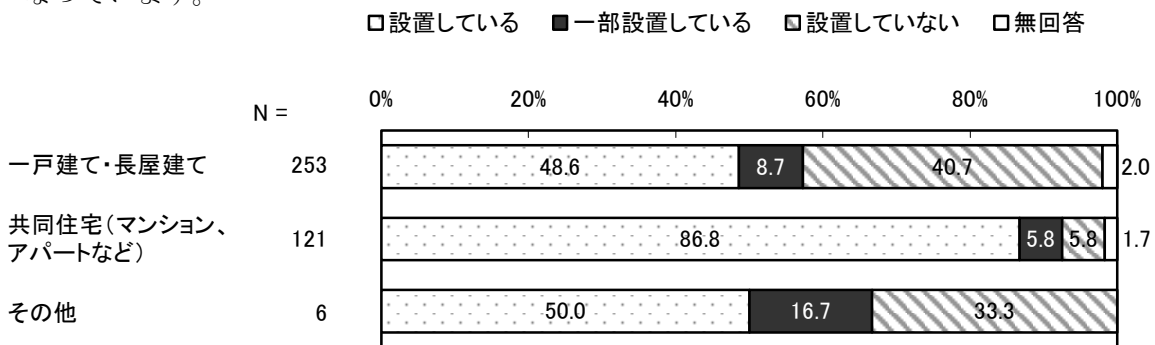
【同居別】

同居別でみると、同居世帯に比べ、ひとり暮らし世帯で「設置している」の割合が高くなっています。



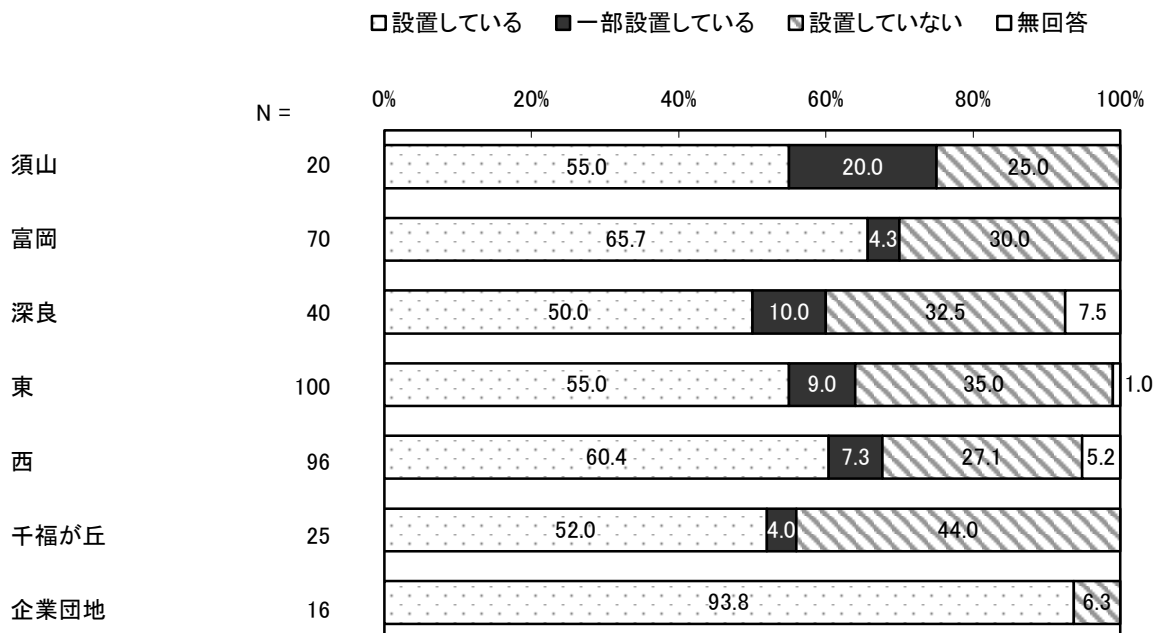
【住居の形態別】

住居の形態別でみると、共同住宅（マンション、アパートなど）で「設置している」の割合が高く、8割を超えています。一方、一戸建て・長屋建てで「設置していない」の割合が高くなっています。



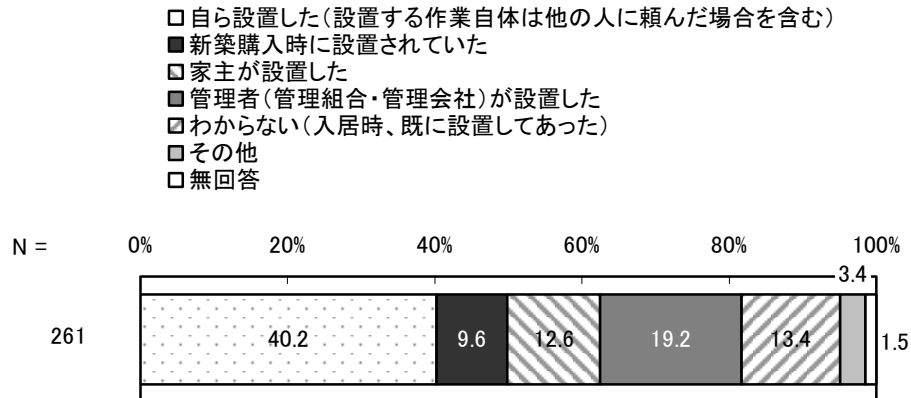
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、企業団地で「設置している」の割合が高く、9割を超えています。一方、千福が丘で「設置していない」の割合が高くなっています。



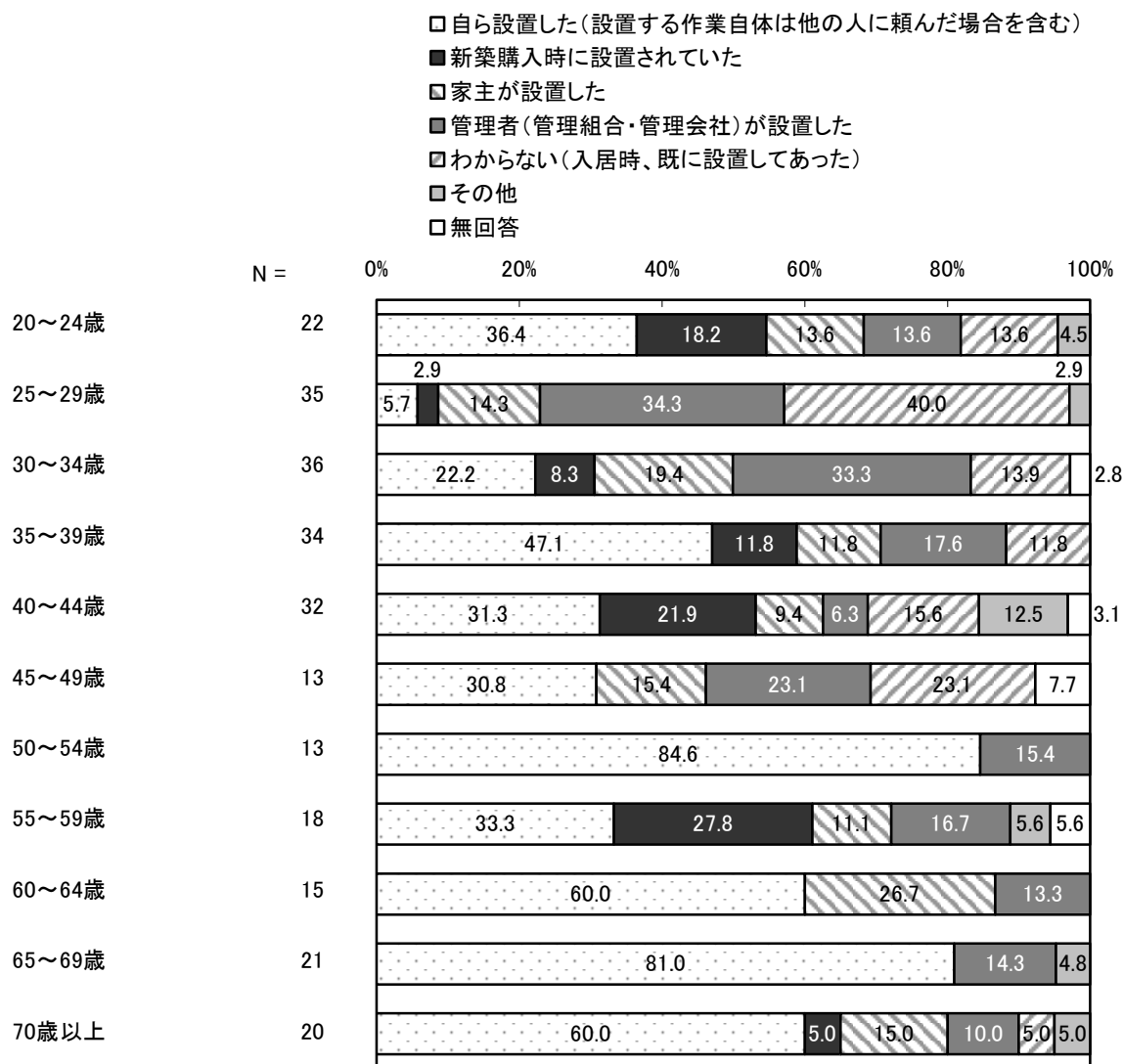
問 9－1 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。
 どのような経緯で設置にいたりましたか。(○は1つ)

「自ら設置した(設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む)」の割合が40.2%と最も高く、次いで「管理者(管理組合・管理会社)が設置した」の割合が19.2%、「わからない(入居時、既に設置してあった)」の割合が13.4%となっています。



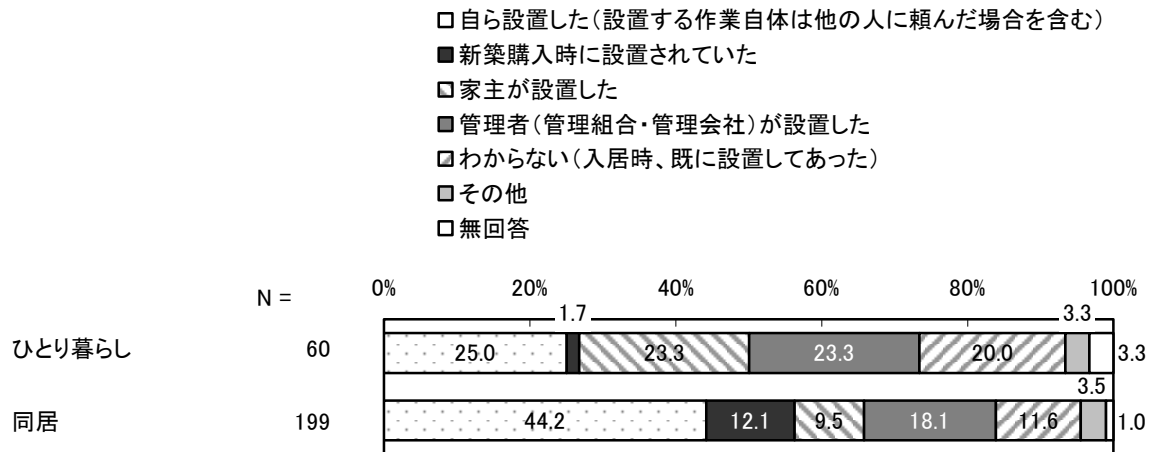
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50～54 歳、65～69 歳で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、8 割を超えています。また、25～34 歳で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高くなっています。



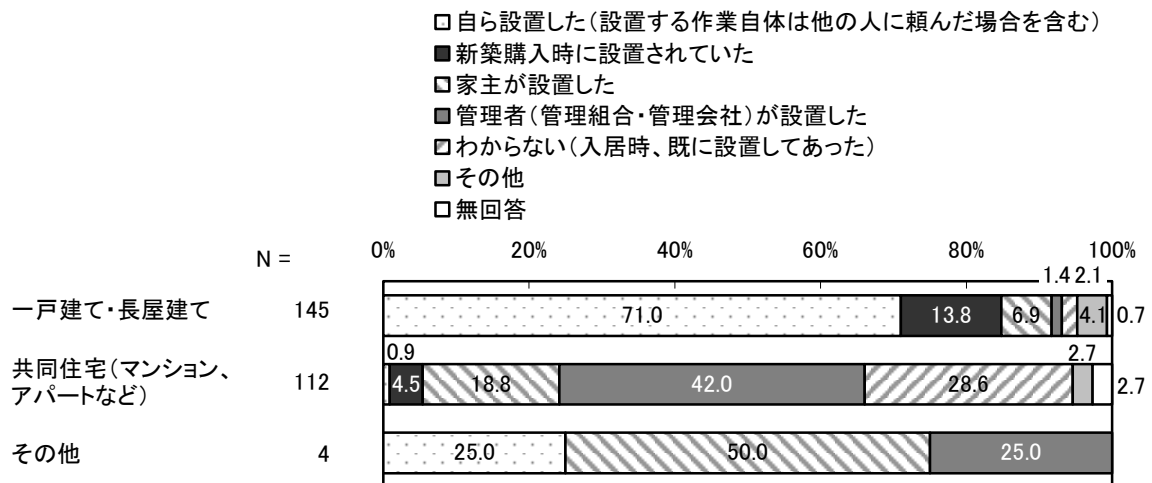
【同居別】

同居別でみると、同居世帯に比べ、ひとり暮らし世帯で「家主が設置した」「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」「わからない（入居時、既に設置してあった）」の割合が高くなっています。一方、ひとり暮らし世帯に比べ同居世帯で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高くなっています。



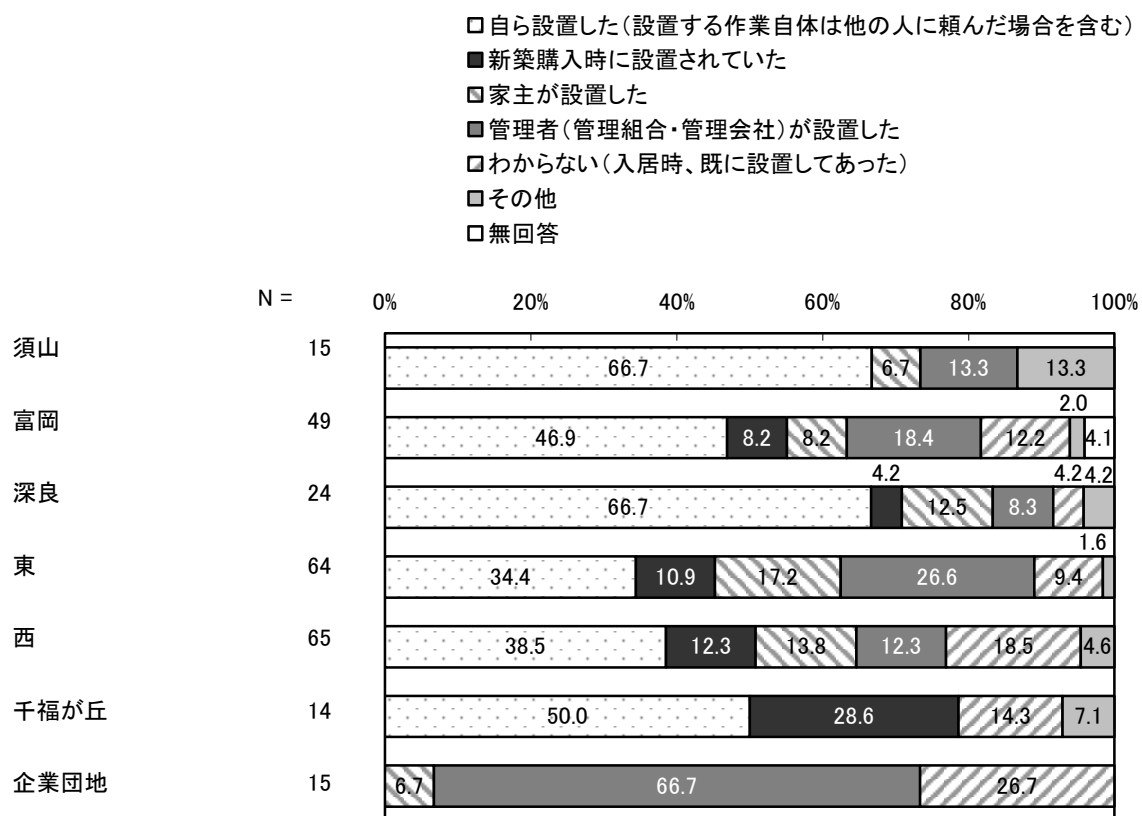
【住居の形態別】

住居の形態別でみると、一戸建て・長屋建てで「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が高く、約7割となっています。一方、共同生活（マンション、アパートなど）で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高くなっています。



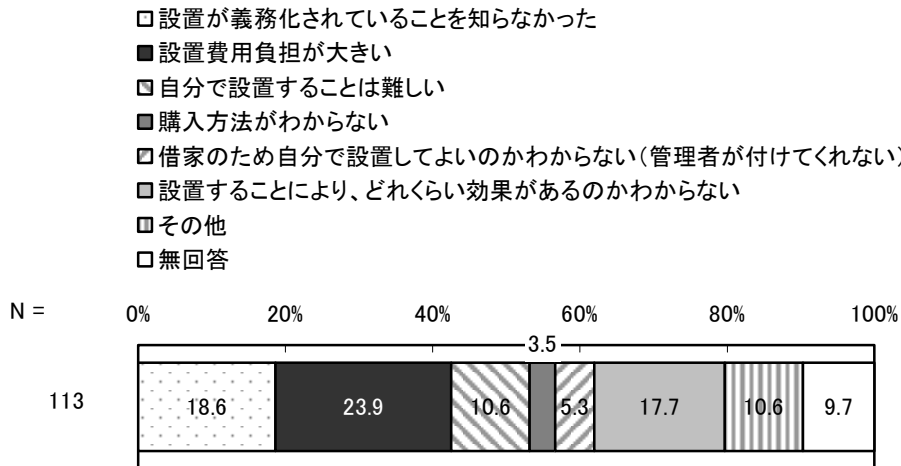
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、深良で「自ら設置した（設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む）」の割合が、千福が丘で「新築購入時に設置されていた」の割合が、東、企業団地で「管理者（管理組合・管理会社）が設置した」の割合が高くなっています。

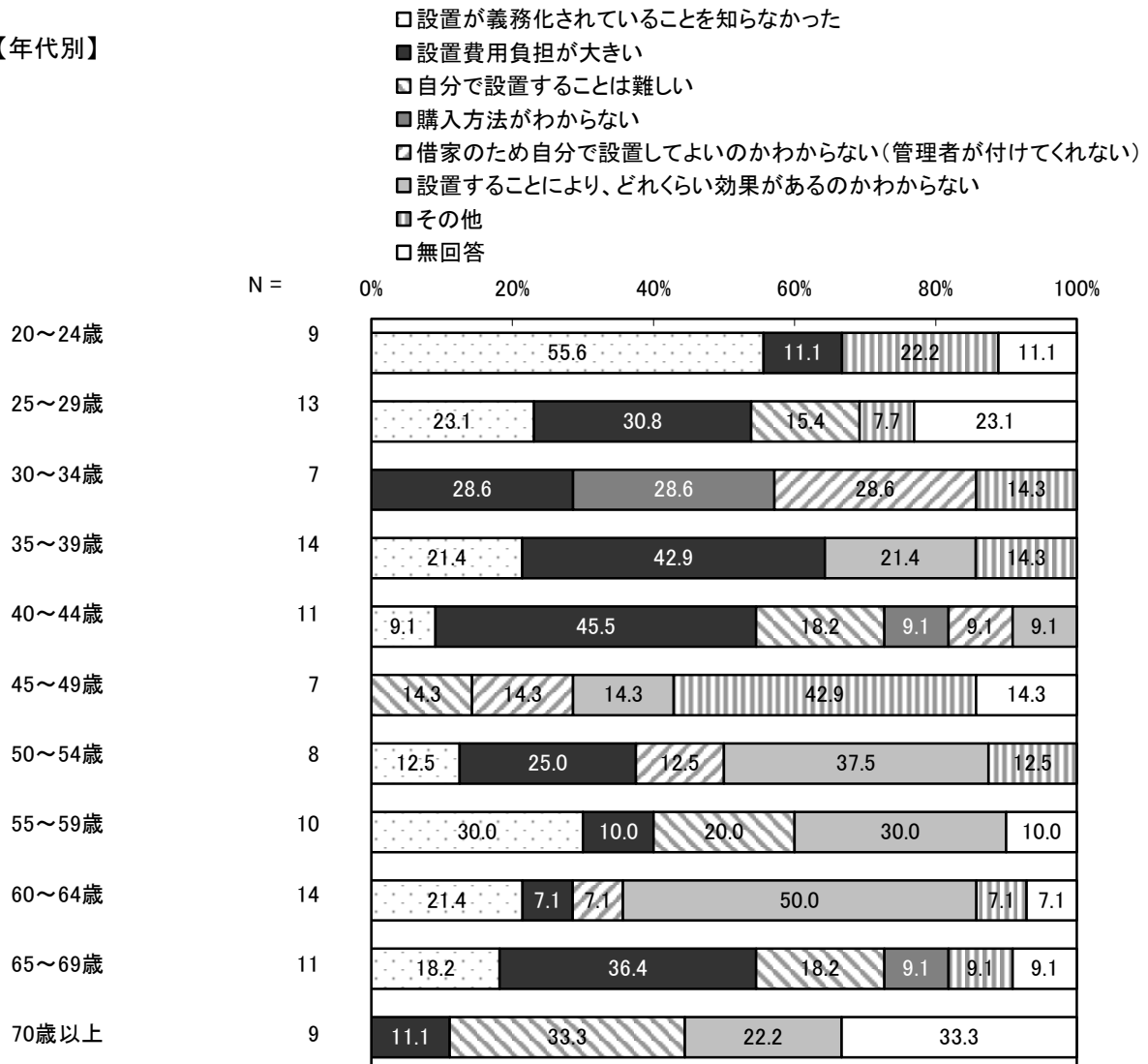


問 9－2 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。
今のところ設置していない理由は何ですか。(〇は1つ)

「設置費用負担が大きい」の割合が 23.9%と最も高く、次いで「設置が義務化されていることを知らなかった」の割合が 18.6%、「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が 17.7%となっています。

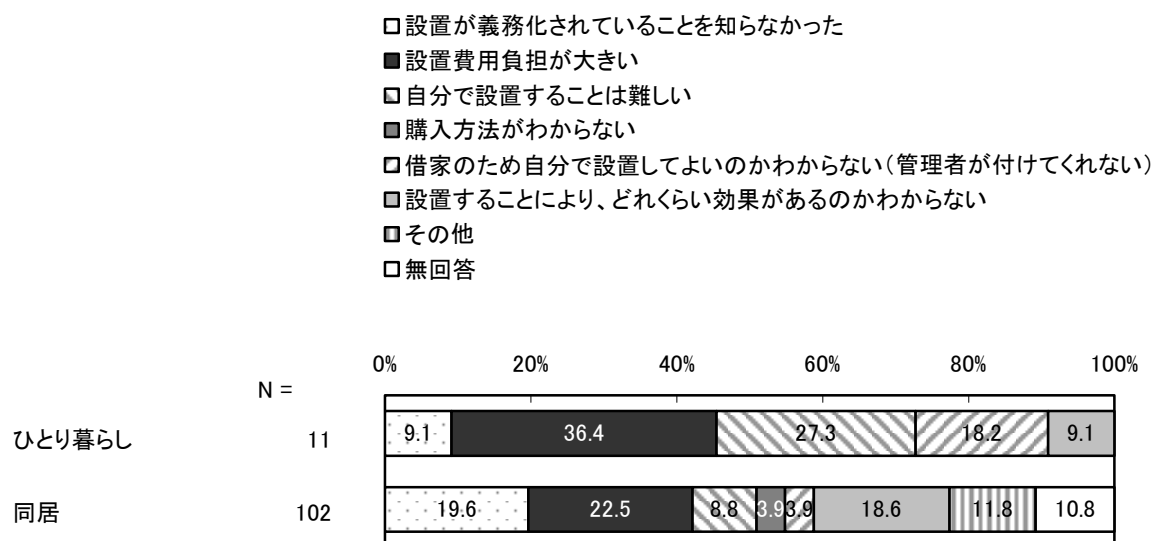


【年代別】



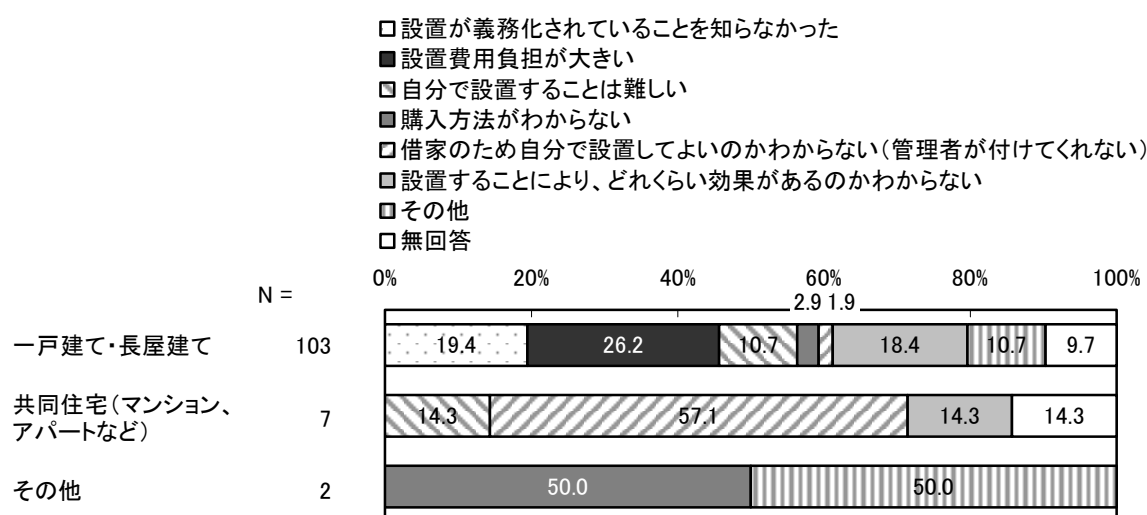
【同居別】

同居別でみると、ひとり暮らし世帯に比べ同居世帯で「設置が義務化されていることを知らなかった」「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が高くなっています。



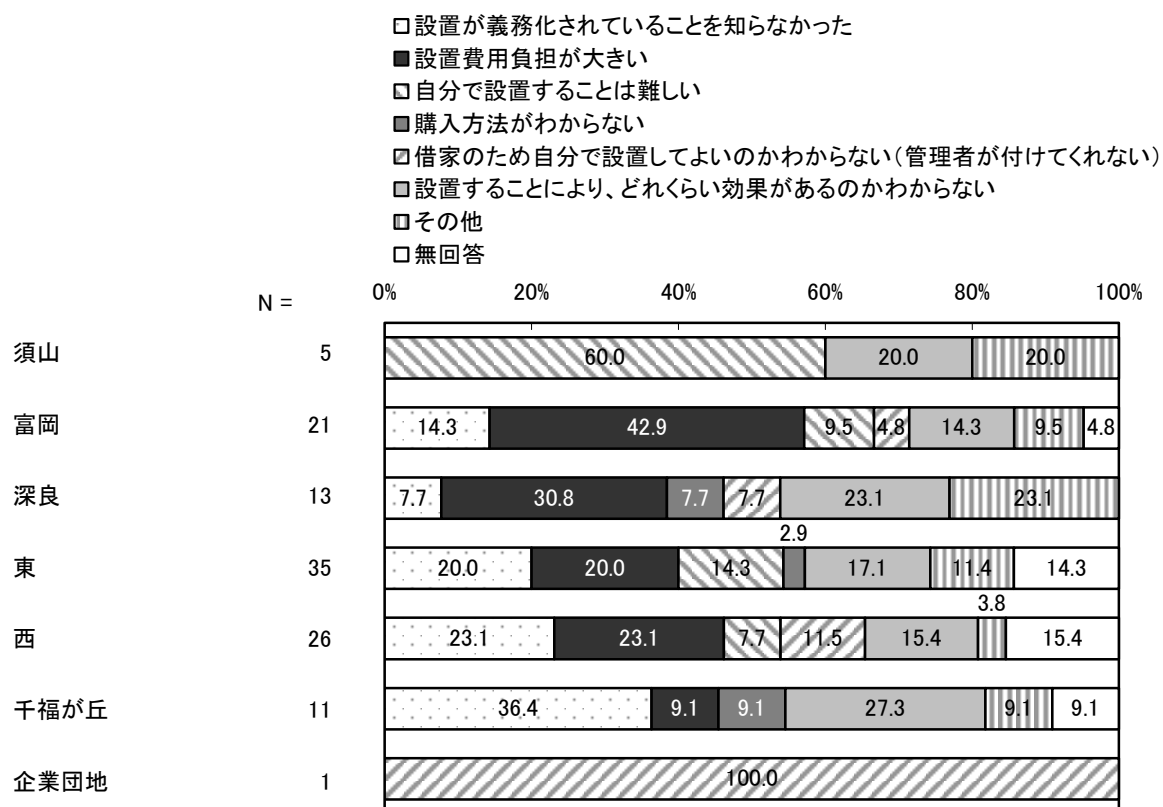
【住居の形態別】

住居の形態別でみると、一戸建て・長屋建てで「設置費用負担が大きい」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

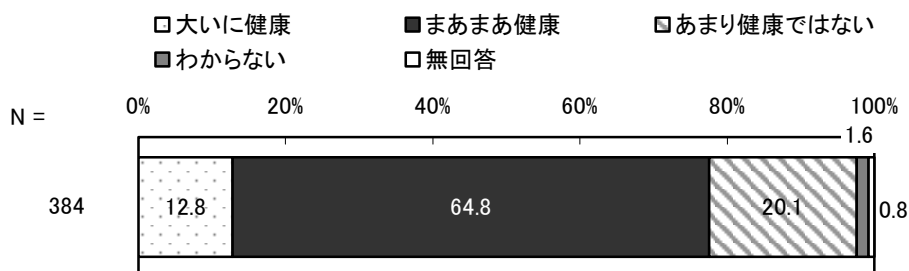
居住地区別でみると、他の地区に比べ、千福が丘で「設置が義務化されていることを知らなかった」の割合が、富岡で「設置費用負担が大きい」の割合が、深良、千福が丘で「設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない」の割合が高くなっています。



6 スポーツ活動について

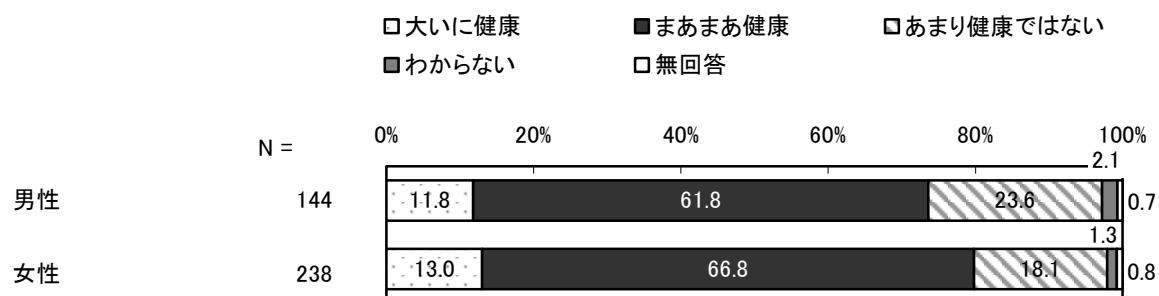
問 10 あなたは、ご自分の健康についてどのように感じていますか。(○は1つ)

「大いに健康」と「まあまあ健康」をあわせた健康だと感じている人の割合が 77.6%となっており「あまり健康ではない」の割合が 20.1%となっています。



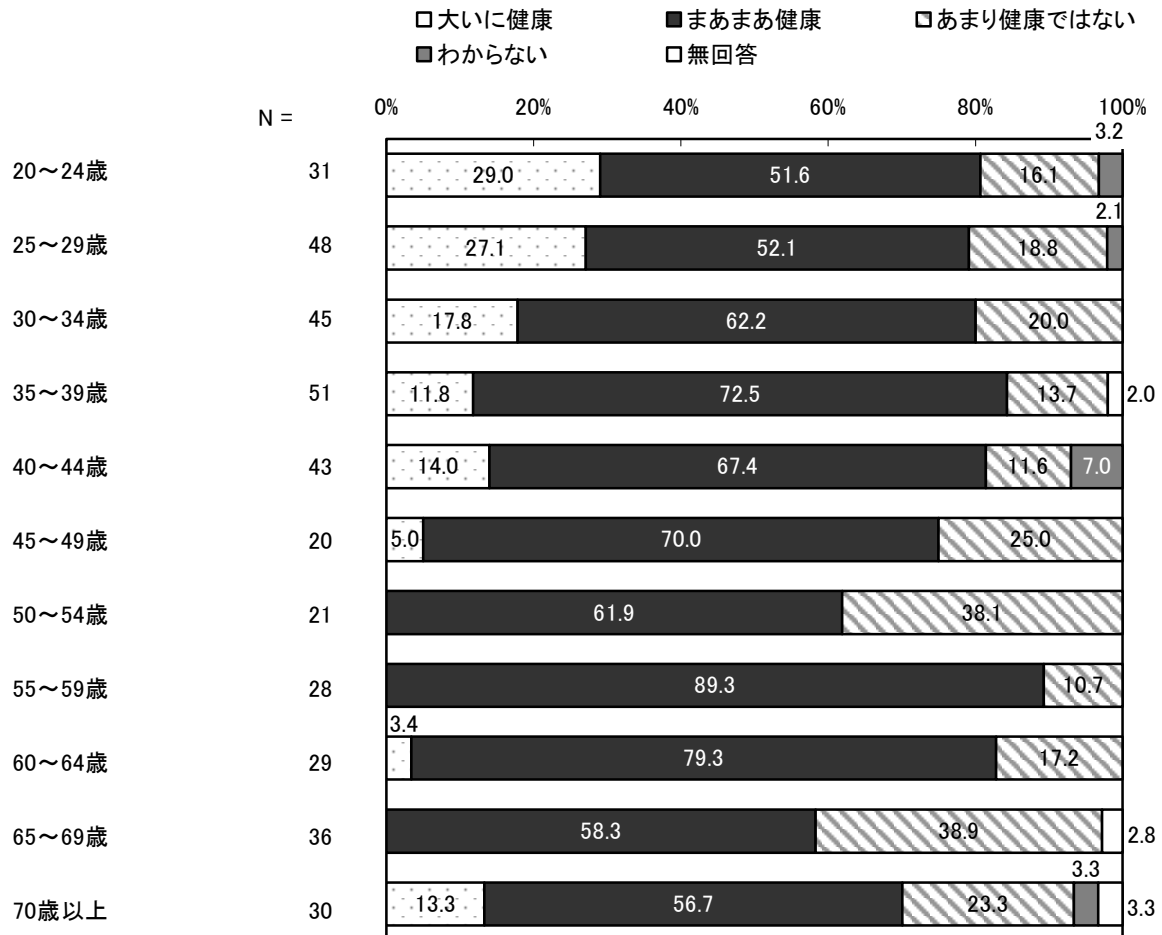
【性別】

性別でみると、男性で「あまり健康ではない」が比較的多く、女性で「大いに健康」が男性を上回っており、相対的には女性の方が健康に感じている傾向にあります。



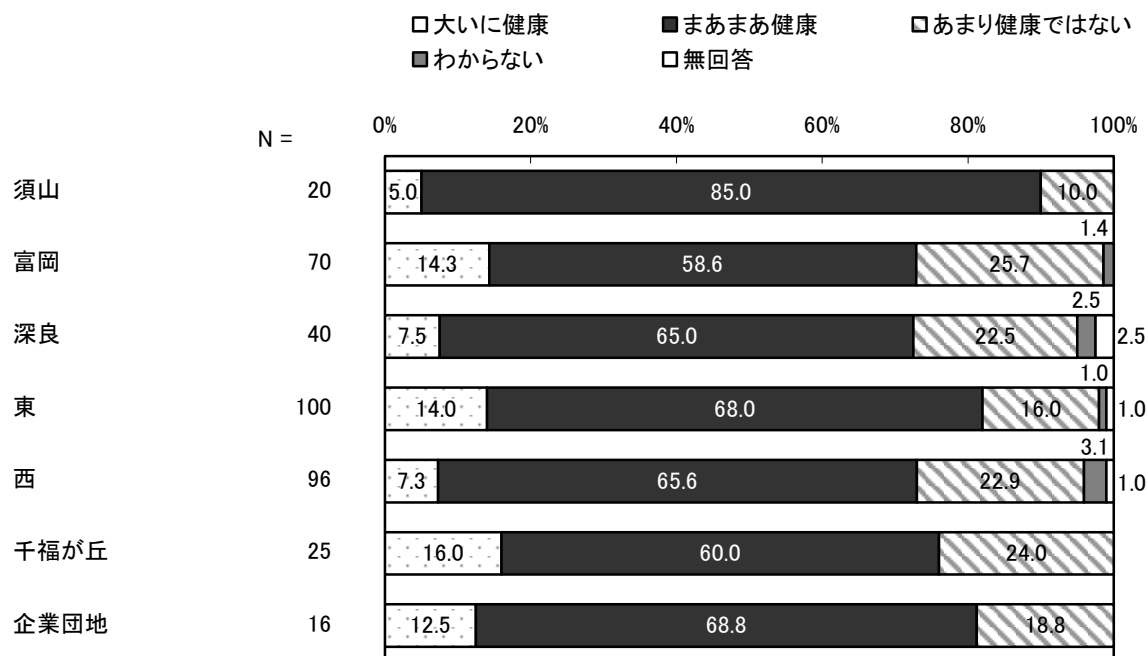
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20～44 歳、55～64 歳で「大いに健康」と「まあまあ健康」をあわせた健康だと感じている人の割合が高くなっています。一方、50～54 歳、65～69 歳で「あまり健康ではない」の割合が高くなっています。



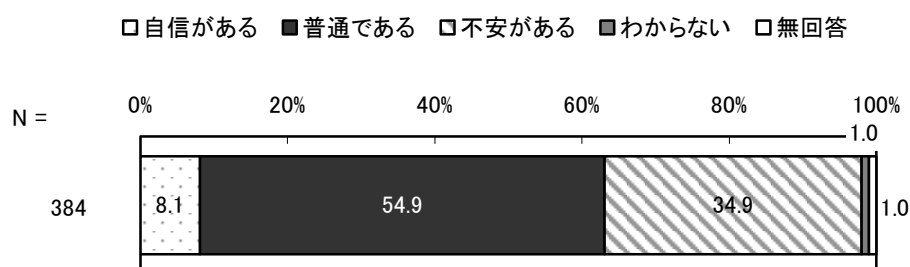
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山で健康だと感じている人の割合が高く、9割を占めています。



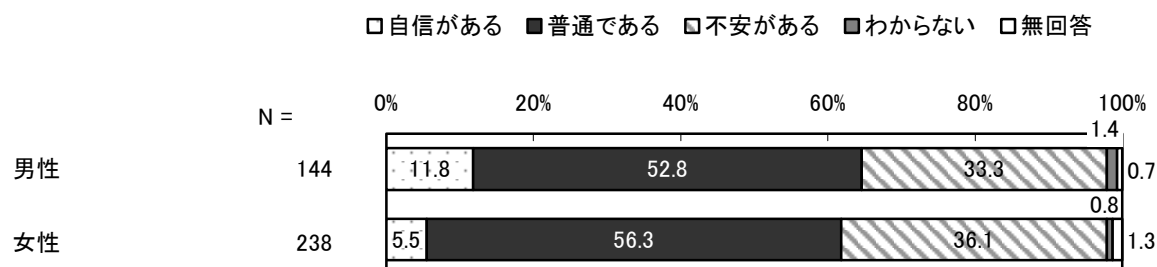
問 11 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。(○は1つ)

「普通である」の割合が54.9%と最も高く、次いで「不安がある」の割合が34.9%、「自信がある」の割合が8.1%となっています。



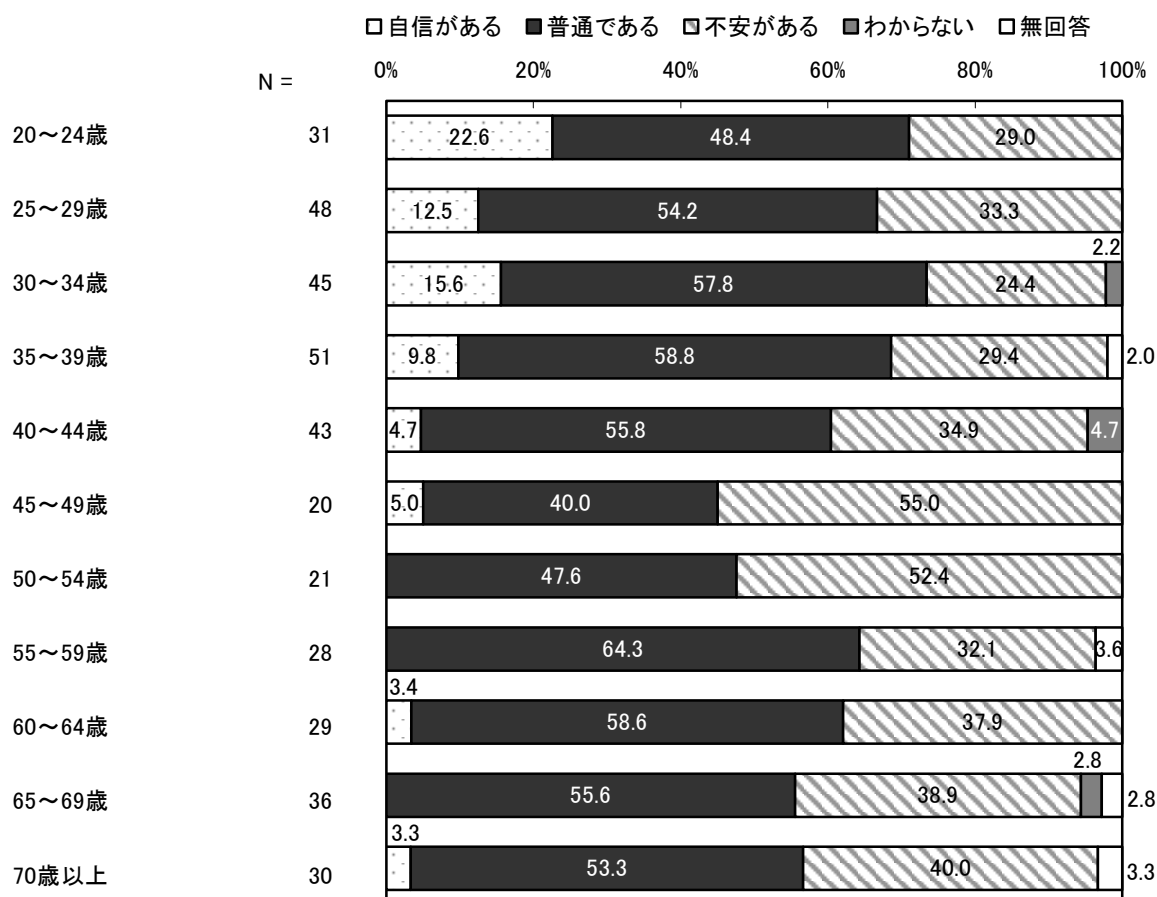
【性別】

性別でみると、男性で「自信がある」の割合が高くなっています。



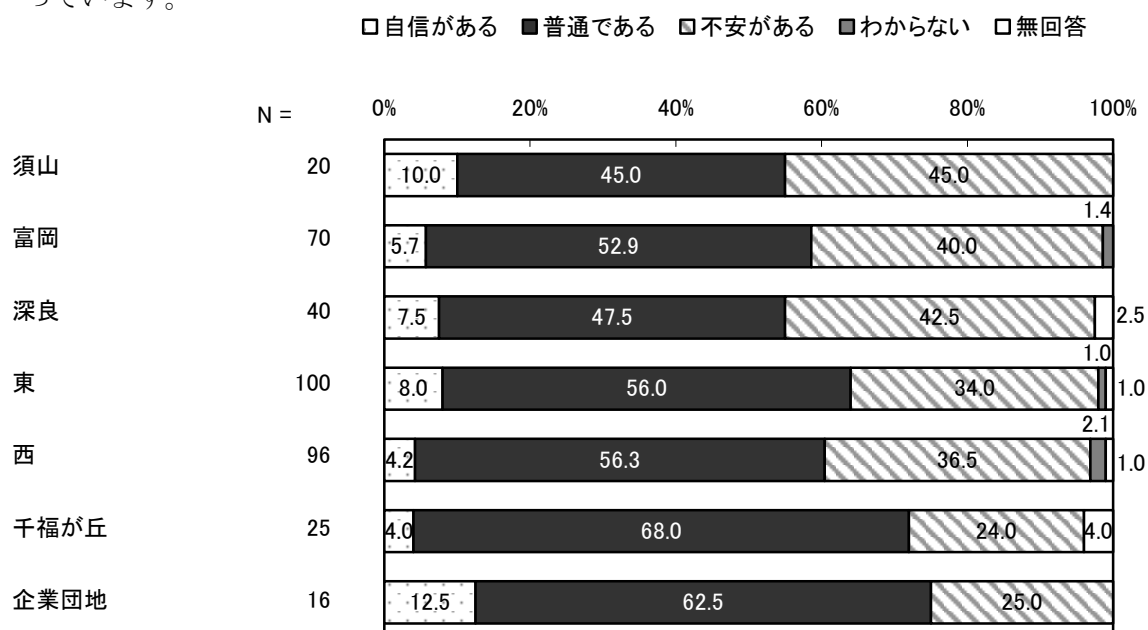
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20～24 歳で「自信がある」の割合が高い一方、45～54 歳で「不安がある」の割合が高くなっています。



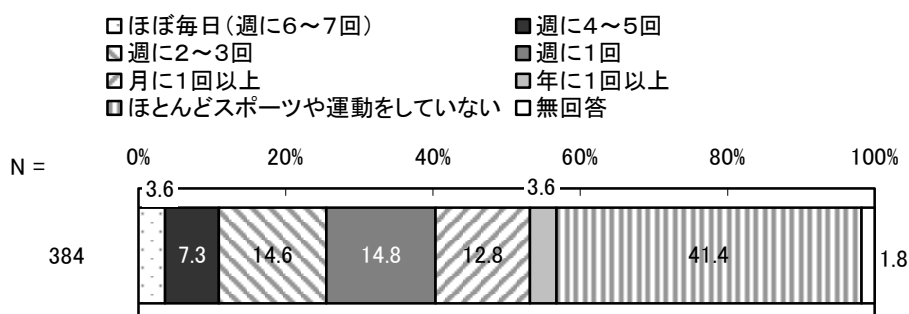
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、須山、富岡、深良で「不安がある」の割合が高くなっています。



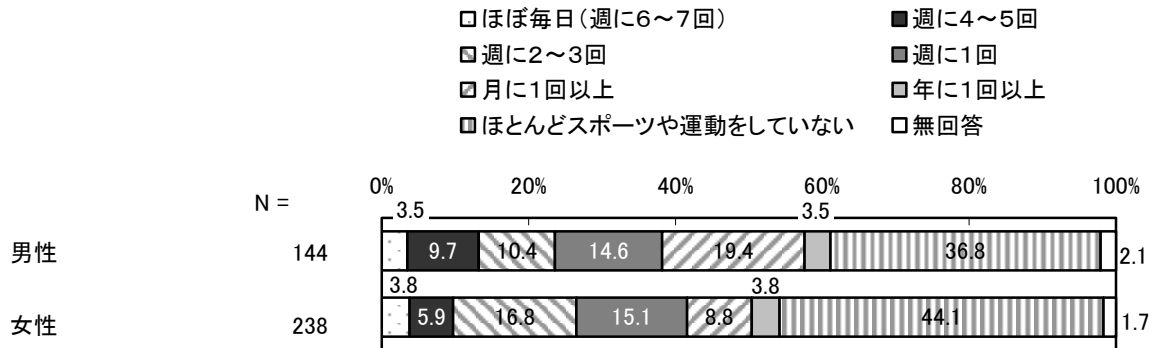
問 12 あなたは、この1年間でスポーツや運動（1回あたり30分程度以上）をどれくらいの頻度で行いましたか。（○は1つ）

「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が41.4%と最も高く、次いで「週に1回」の割合が14.8%、「週に2～3回」の割合が14.6%となっています。



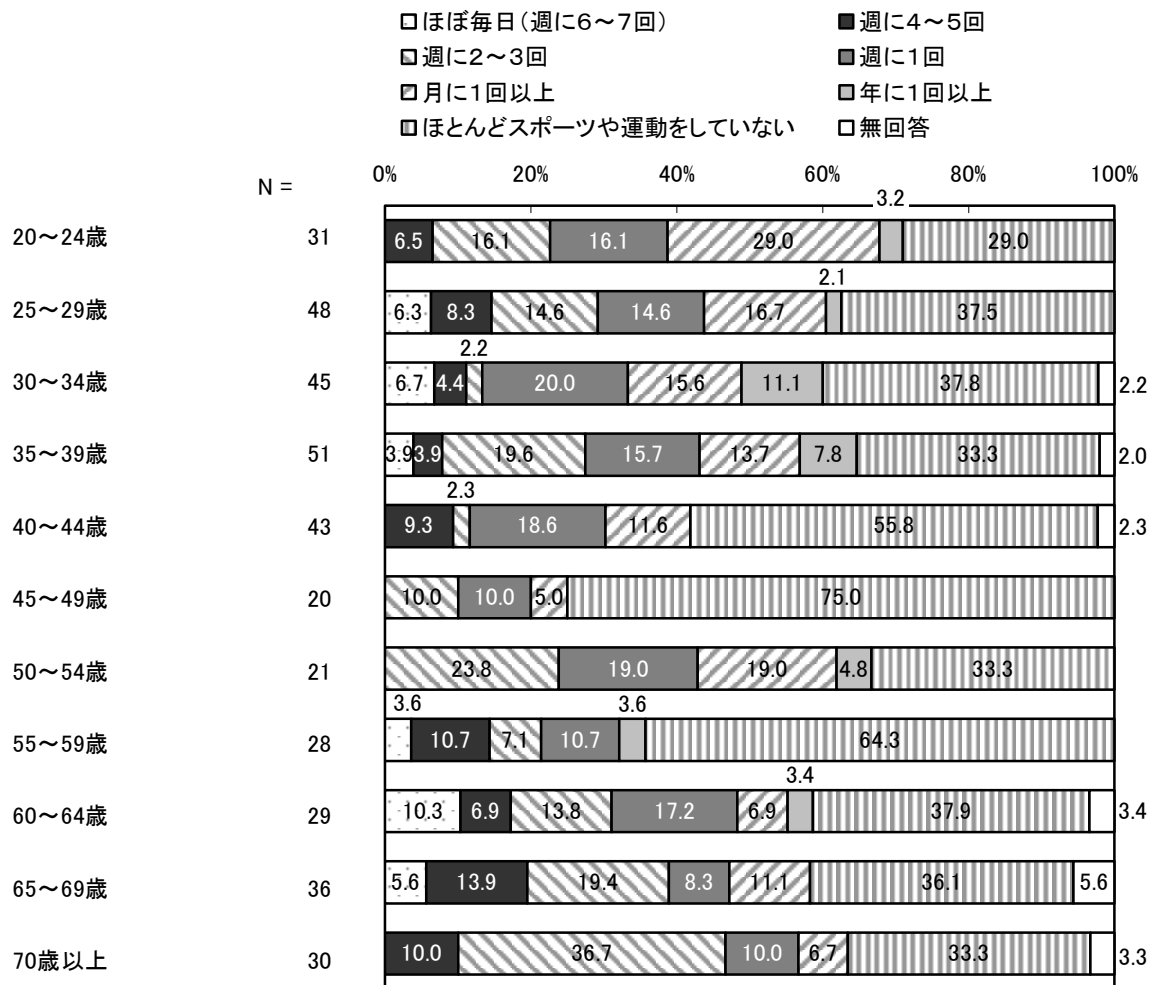
【性別】

性別でみると、男性で「月に1回以上」の割合が高くなっています。一方、女性で「週に2～3回」「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高くなっています。



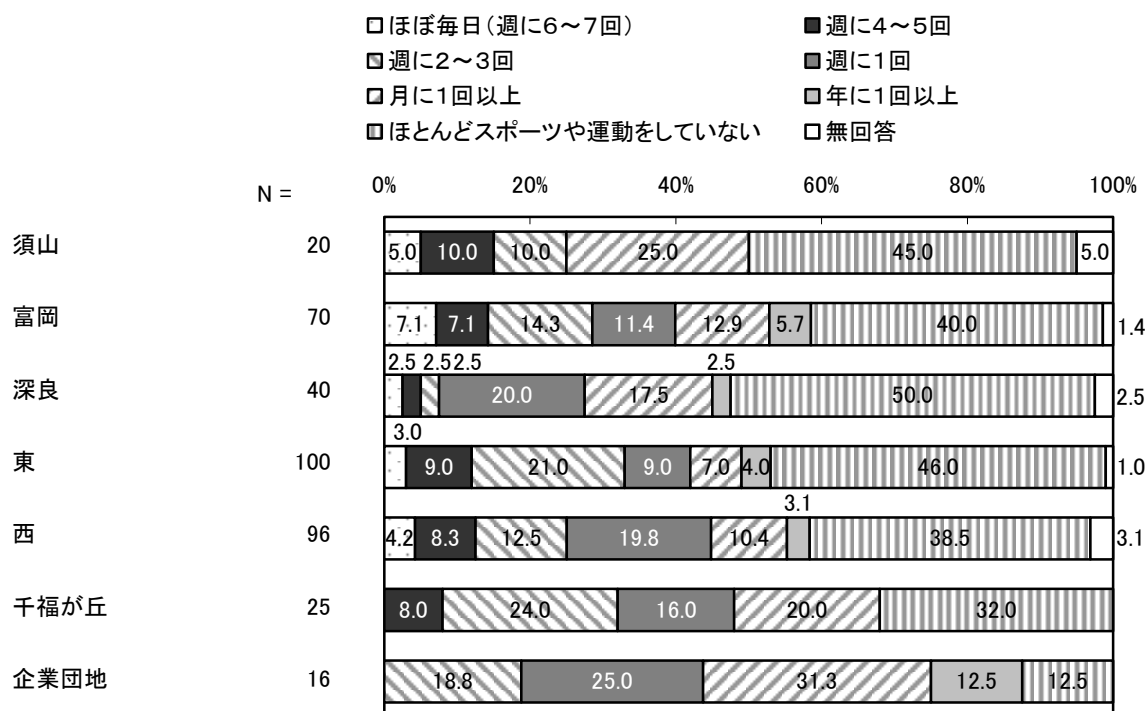
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「週に2～3回」の割合が、20～24歳で「月に1回以上」の割合が高くなっています。一方、40～49歳、55～59歳で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高く、5割を超えています。



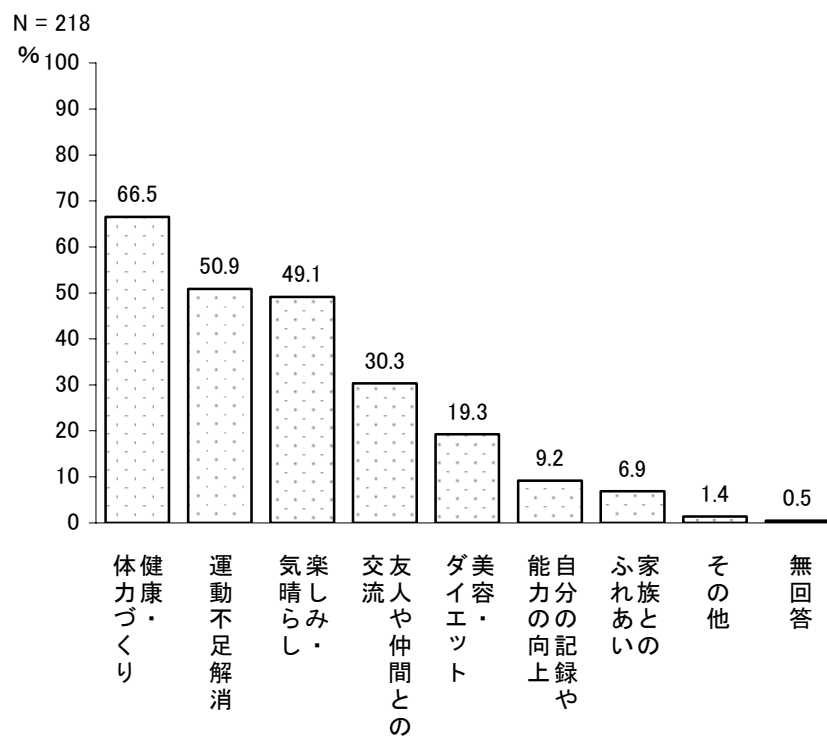
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、東、千福が丘で「週に2～3回」の割合が高くなっています。また、企業団地では「週に1回」「月に1回以上」「年に1回以上」の割合が高くなっています。一方、深良で「ほとんどスポーツや運動をしていない」の割合が高く、5割となっています。



問 12－ 1 あなたがスポーツや運動を行う目的は何ですか。(〇はいくつでも)

「健康・体力づくり」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「運動不足解消」の割合が 50.9%、「楽しみ・気晴らし」の割合が 49.1%となっています。



【性別、年代別、居住地区別】

性別でみると、男性で「自分の記録や能力の向上」「友人や仲間との交流」の割合が高くなっています。一方、女性で「運動不足解消」「美容・ダイエット」の割合が高くなっています。

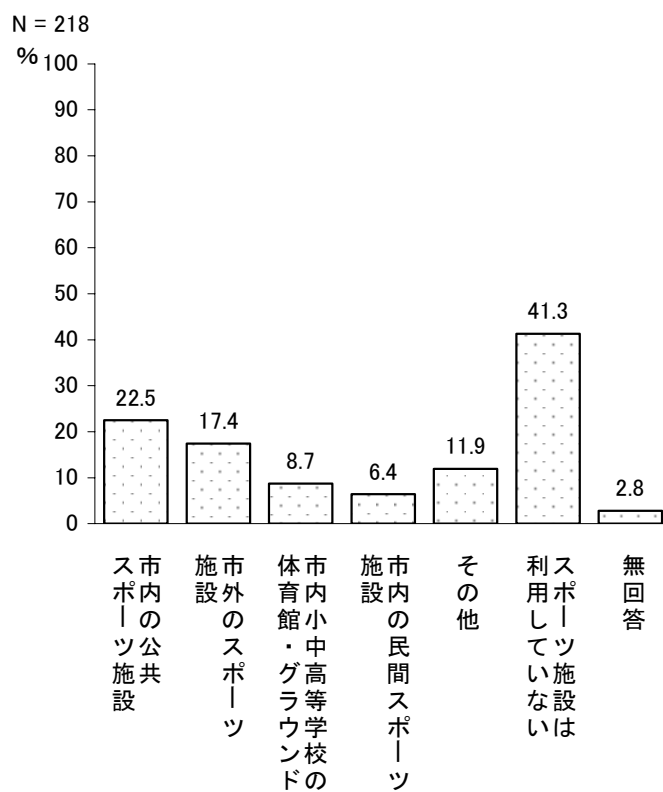
年代別でみると、他の年代に比べ、60～69 歳で「健康・体力づくり」の割合が、40～44 歳で「運動不足解消」の割合が、20～24 歳で「友人や仲間との交流」の割合が、35～39 歳で「家族とのふれあい」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、30～34 歳では「美容・ダイエット」の割合が高い一方、「健康・体力づくり」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	健康・ 体力づくり	楽しみ・ 気晴らし	運動不足 解消	自分の 記録や能力 の向上	友人や 仲間との交 流	家族との ふれあい	美容・ ダイエット	その他	無 回 答
男性	88	69.3	50.0	47.7	17.0	35.2	6.8	11.4	1.1	－
女性	129	64.3	48.8	53.5	3.9	27.1	7.0	24.8	1.6	0.8
20～24 歳	22	54.5	54.5	40.9	18.2	50.0	4.5	31.8	4.5	－
25～29 歳	30	60.0	63.3	50.0	20.0	43.3	3.3	20.0	3.3	－
30～34 歳	27	44.4	55.6	51.9	14.8	22.2	18.5	37.0	－	－
35～39 歳	33	66.7	51.5	51.5	－	21.2	24.2	24.2	－	－
40～44 歳	18	50.0	55.6	66.7	5.6	22.2	－	27.8	－	－
45～49 歳	5	60.0	60.0	60.0	20.0	40.0	－	－	－	－
50～54 歳	14	64.3	42.9	35.7	－	7.1	－	7.1	7.1	－
55～59 歳	10	80.0	40.0	50.0	－	10.0	－	20.0	－	－
60～64 歳	17	88.2	29.4	52.9	－	17.6	－	11.8	－	5.9
65～69 歳	21	90.5	42.9	47.6	9.5	42.9	－	4.8	－	－
70 歳以上	19	84.2	36.8	57.9	10.5	42.1	－	－	－	－
須山	10	90.0	30.0	30.0	－	20.0	－	20.0	－	－
富岡	41	75.6	43.9	48.8	17.1	24.4	9.8	14.6	－	－
深良	19	63.2	36.8	57.9	5.3	31.6	15.8	26.3	－	－
東	53	71.7	50.9	58.5	9.4	35.8	3.8	18.9	1.9	－
西	56	55.4	51.8	46.4	3.6	19.6	8.9	17.9	3.6	1.8
千福が丘	17	64.7	58.8	47.1	5.9	47.1	5.9	17.6	－	－
企業団地	14	42.9	71.4	57.1	21.4	50.0	－	28.6	－	－

問 12－ 2 ふだん利用するスポーツ施設は次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

「スポーツ施設は利用していない」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「市内の公共スポーツ施設」の割合が 22.5%、「市外のスポーツ施設」の割合が 17.4%となっています。



【性別、年代別、居住地区別】

単位：％

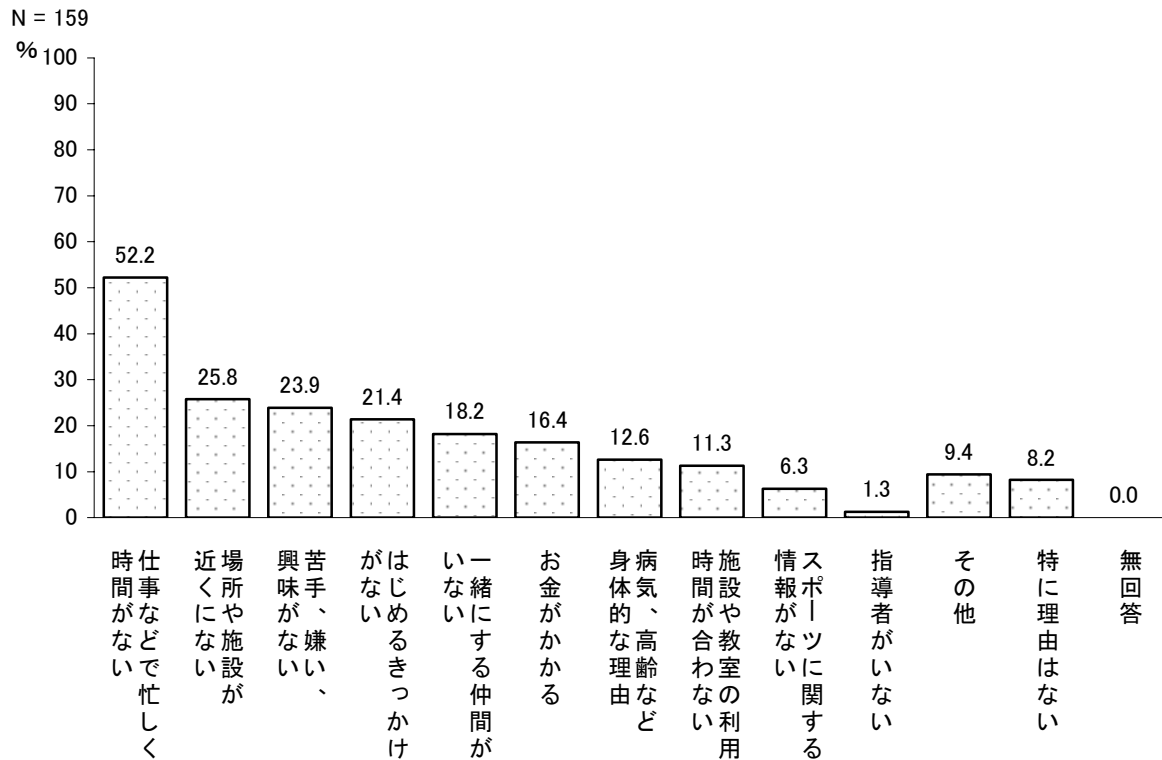
区分	有効回答数 (件)	市内の公共スポーツ施設	市内小中高学校 の体育館・グラウンド	市内の民間スポーツ施設	市外のスポーツ施設	その他	スポーツ施設は利 用していない	無回答
男性	88	18.2	11.4	5.7	21.6	12.5	42.0	2.3
女性	129	25.6	7.0	7.0	14.7	11.6	40.3	3.1
20～24 歳	22	31.8	4.5	9.1	18.2	9.1	40.9	—
25～29 歳	30	30.0	6.7	—	23.3	16.7	40.0	3.3
30～34 歳	27	14.8	7.4	3.7	11.1	7.4	59.3	—
35～39 歳	33	18.2	15.2	3.0	30.3	6.1	39.4	—
40～44 歳	18	16.7	16.7	5.6	44.4	11.1	22.2	—
45～49 歳	5	40.0	—	—	—	20.0	40.0	—
50～54 歳	14	7.1	7.1	14.3	21.4	14.3	35.7	7.1
55～59 歳	10	30.0	10.0	—	—	10.0	60.0	—
60～64 歳	17	23.5	5.9	5.9	5.9	11.8	41.2	11.8
65～69 歳	21	28.6	4.8	14.3	4.8	14.3	38.1	9.5
70 歳以上	19	21.1	10.5	15.8	5.3	15.8	36.8	—
須山	10	10.0	—	10.0	20.0	10.0	50.0	—
富岡	41	22.0	4.9	9.8	24.4	12.2	43.9	—
深良	19	26.3	21.1	—	5.3	15.8	42.1	—
東	53	24.5	9.4	7.5	17.0	11.3	43.4	—
西	56	19.6	7.1	3.6	21.4	8.9	41.1	8.9
千福が丘	17	41.2	17.6	5.9	11.8	5.9	23.5	5.9
企業団地	14	21.4	—	—	14.3	28.6	35.7	—

問 12-2-① どのようなスポーツや運動をしますか。(主なものを4つまで)

スポーツの種類	件数	スポーツの種類	件数
ウォーキング	48 件	スノーボード	2 件
歩行・散歩	27 件	ソフトボール	2 件
サイクリング・自転車	24 件	リズム体操	2 件
水泳・スイミング・プール	21 件	水中ウォーキング	2 件
ジョギング	17 件	体操	2 件
ゴルフ	16 件	山歩き・ハイキング	2 件
テニス	13 件	ウエイトトレーニング	1 件
ランニング	13 件	フィットネス	1 件
筋力トレーニング	10 件	かかと伸ばし	1 件
サッカー	8 件	キャッチボール	1 件
ストレッチ	8 件	球技	1 件
エアロビクス	7 件	ゲートボール	1 件
マラソン	7 件	スキー	1 件
野球	7 件	バイク	1 件
グラウンドゴルフ	6 件	ペタンク	1 件
バレーボール	6 件	ヘルスバレーボール	1 件
バスケットボール	5 件	ボクシング	1 件
フットサル	5 件	レッツリズム	1 件
ボウリング	5 件	家の中で器具を使って運動する	1 件
卓球	5 件	階段の上り下りをする	1 件
ヨガ	4 件	気功	1 件
ラジオ体操	4 件	居合道	1 件
ジム	3 件	剣道	1 件
ソフトテニス	3 件	腰痛体操	1 件
ソフトバレー	3 件	太極拳	1 件
ダンス	3 件	登山	1 件
バドミントン	3 件	腕立て伏せ 1 日 80 回以上	1 件
サーフィン	2 件	その他	6 件

問 13 スポーツや運動を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「仕事などで忙しく時間がない」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「場所や施設が近くにない」の割合が 25.8%、「苦手、嫌い、興味がない」の割合が 23.9%となっています。



【性別】

性別でみると、男性で「病気、高齢など身体的な理由」の割合が高くなっています。一方、女性で「仕事などで忙しく時間がない」「場所や施設が近くにない」「施設や教室の利用時間が合わない」「お金がかかる」「苦手、嫌い、興味がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事などで忙しく時間がない	病気、高齢など身体的な理由	場所や施設が近くにない	施設や教室の利用時間が合わない	一緒にする仲間がいない	指導者がいない	お金がかかる	はじめるきっかけがない	スポーツに関する情報がいない	苦手、嫌い、興味がない	その他	特に理由はない
男性	53	43.4	22.6	18.9	7.5	17.0	—	7.5	18.9	5.7	17.0	5.7	11.3
女性	105	56.2	7.6	29.5	13.3	19.0	1.9	21.0	22.9	6.7	27.6	11.4	6.7

【年代別、居住地区別】

単位：％

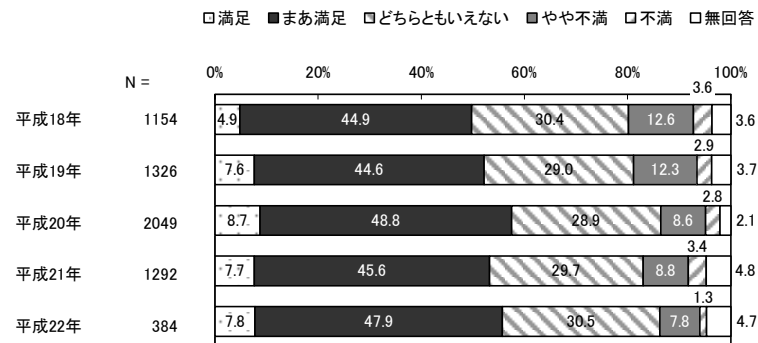
区分	有効回答数 (件)	仕事などで忙しく 時間がない	病気、高齢など身 体的な理由	場所や施設が近く にない	施設や教室の利用 時間が合わない	一緒にする仲間が いない	指導者がいない	お金がかかる	はじめるきっかけ がない	スポーツに関する 情報がない	苦手、嫌い、興味 がない	その他	特に理由はない
20～24 歳	9	55.6	—	44.4	33.3	22.2	11.1	33.3	11.1	11.1	44.4	—	11.1
25～29 歳	18	66.7	—	27.8	5.6	16.7	—	22.2	16.7	5.6	33.3	16.7	—
30～34 歳	17	70.6	—	35.3	11.8	11.8	—	23.5	11.8	11.8	17.6	17.6	—
35～39 歳	17	52.9	5.9	17.6	29.4	29.4	—	35.3	17.6	11.8	23.5	11.8	5.9
40～44 歳	24	58.3	—	8.3	—	—	—	16.7	33.3	—	37.5	8.3	8.3
45～49 歳	15	53.3	20.0	20.0	13.3	53.3	—	20.0	46.7	6.7	20.0	6.7	13.3
50～54 歳	7	85.7	42.9	42.9	—	14.3	—	—	42.9	—	28.6	—	—
55～59 歳	18	33.3	11.1	33.3	22.2	22.2	—	—	22.2	—	22.2	5.6	16.7
60～64 歳	11	36.4	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	—	27.3	9.1
65～69 歳	13	38.5	53.8	23.1	—	23.1	—	7.7	—	7.7	23.1	—	7.7
70 歳以上	10	20.0	30.0	30.0	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0
須山	9	44.4	—	55.6	—	22.2	11.1	—	22.2	11.1	11.1	33.3	11.1
富岡	28	39.3	14.3	14.3	14.3	21.4	—	3.6	25.0	—	21.4	3.6	7.1
深良	20	55.0	10.0	20.0	5.0	—	—	20.0	20.0	10.0	30.0	—	20.0
東	46	50.0	19.6	26.1	15.2	17.4	—	19.6	19.6	4.3	23.9	10.9	4.3
西	37	56.8	5.4	29.7	8.1	21.6	2.7	27.0	29.7	8.1	24.3	8.1	8.1
千福が丘	8	62.5	37.5	37.5	25.0	37.5	—	—	12.5	—	37.5	—	12.5
企業団地	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

IV 参考資料

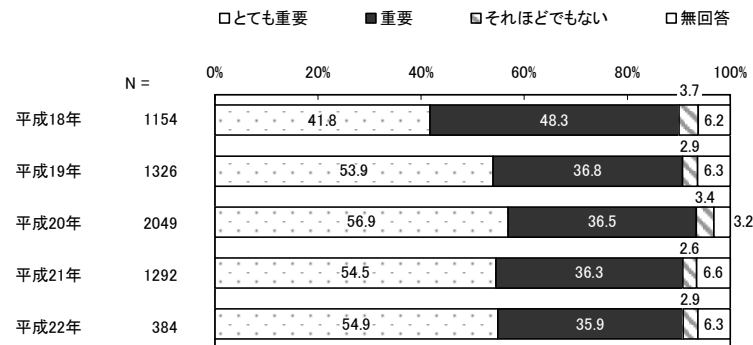
1 裾野市の取り組みに対する評価と重要度の経年変化

(1) 心身ともに健康で充実した生活を送る

【満足度】

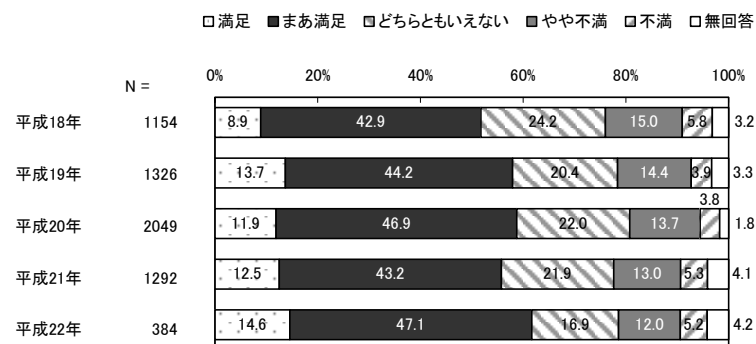


【重要度】

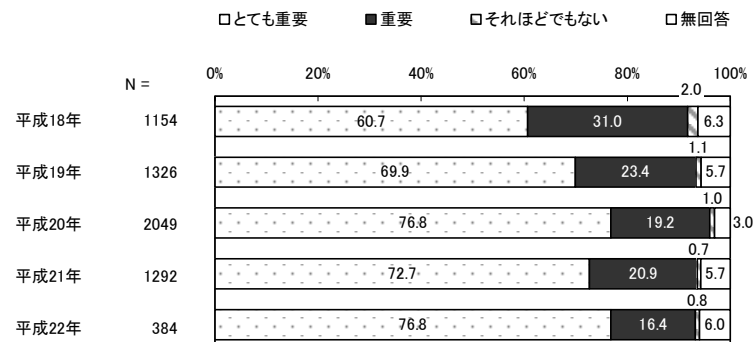


(2) 必要な時に適切な医療が受けられる

【満足度】

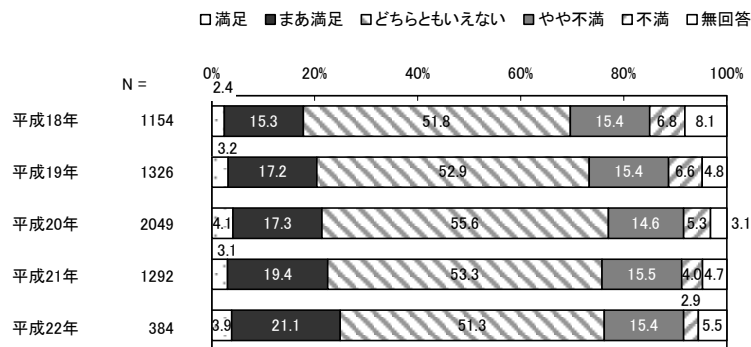


【重要度】

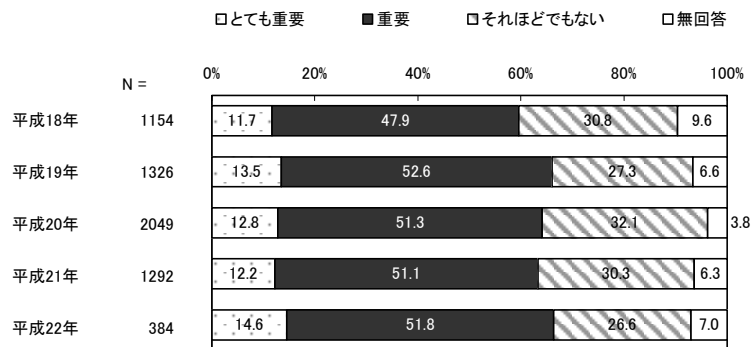


(3) スポーツを習慣にした生活を送る

【満足度】

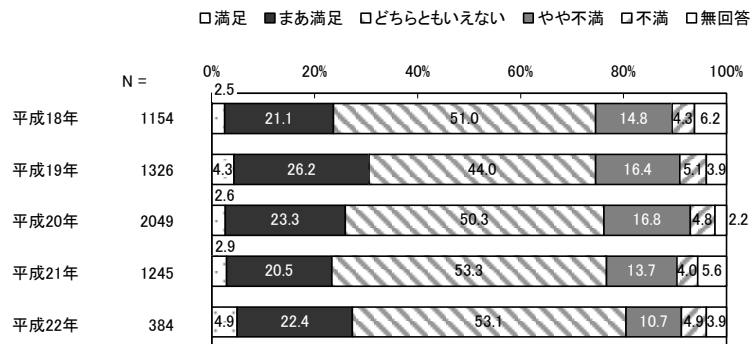


【重要度】

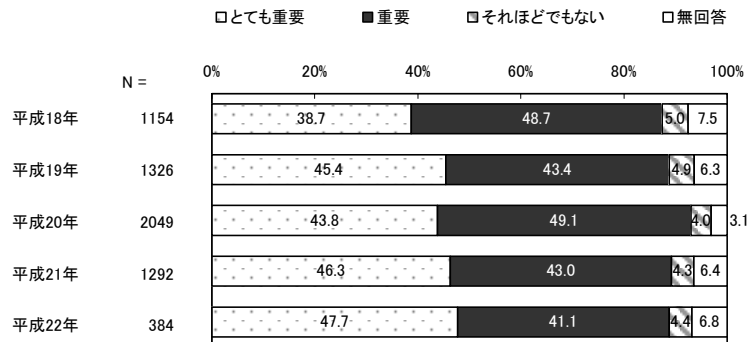


(4) 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす

【満足度】

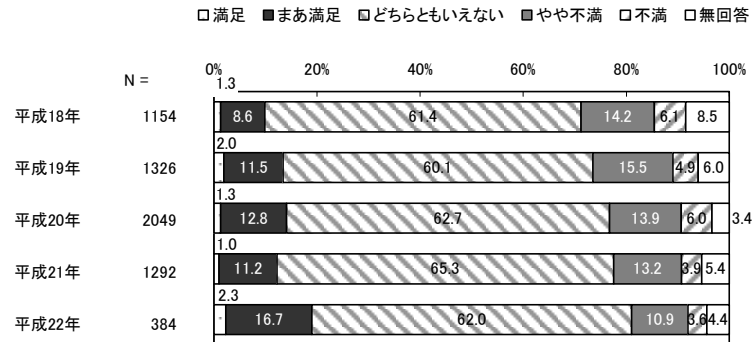


【重要度】

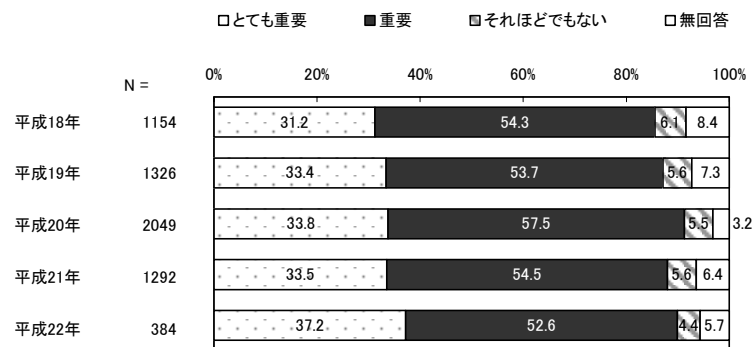


(5) 障害のある人の社会参加と自立

【満足度】

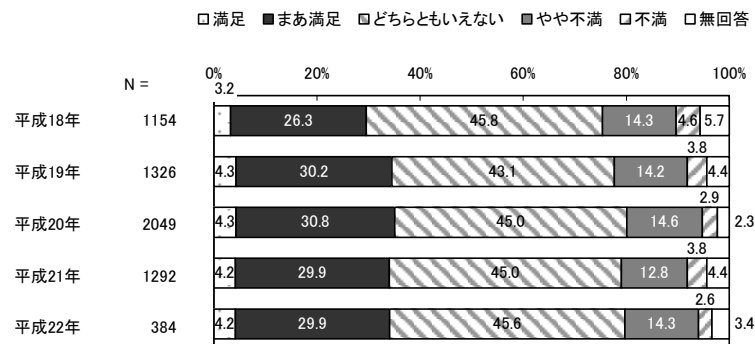


【重要度】

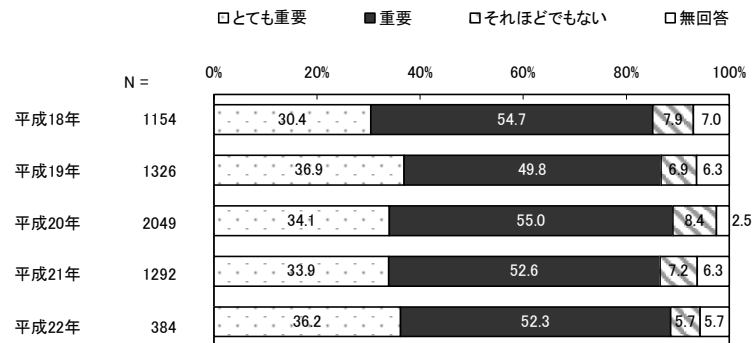


(6) 地域住民が共に支えあって暮らす

【満足度】

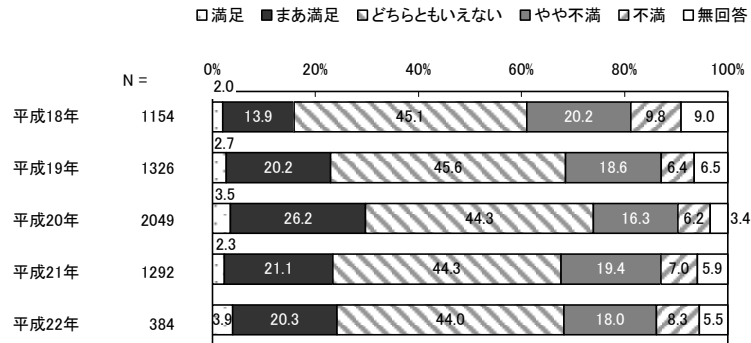


【重要度】

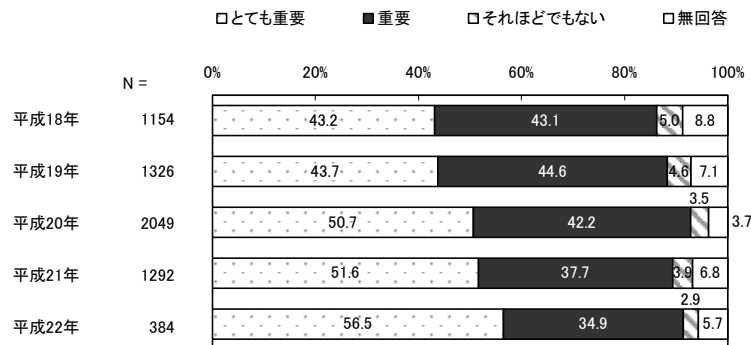


(7) 安心して子育てと就労が両立できる

【満足度】

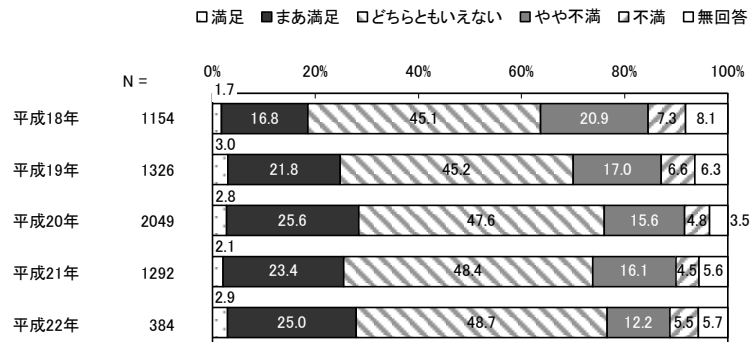


【重要度】

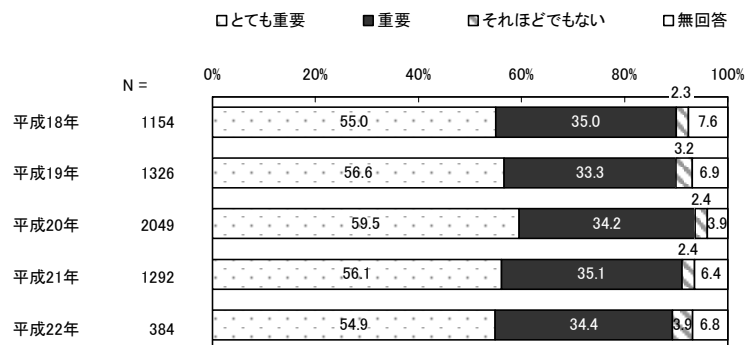


(8) 人間性豊かな子どもを育てる教育

【満足度】

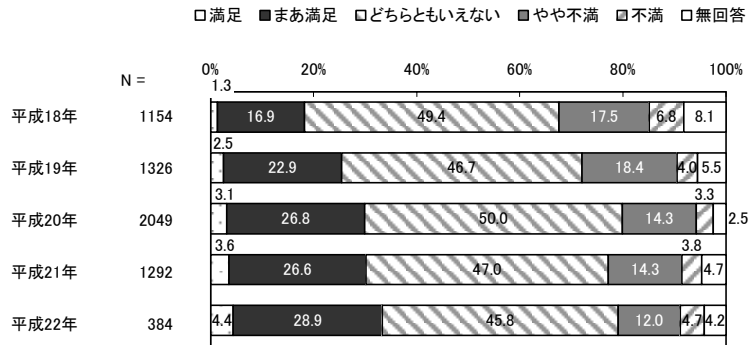


【重要度】

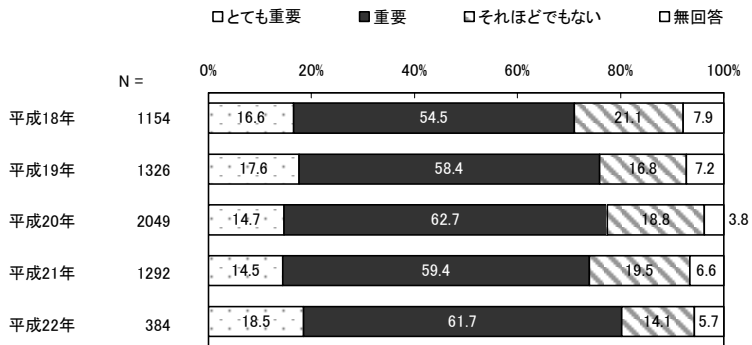


(9) 生涯学習や文化活動の機会や場所

【満足度】

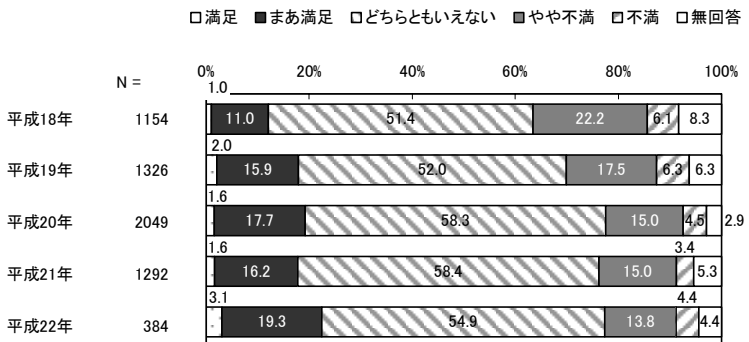


【重要度】

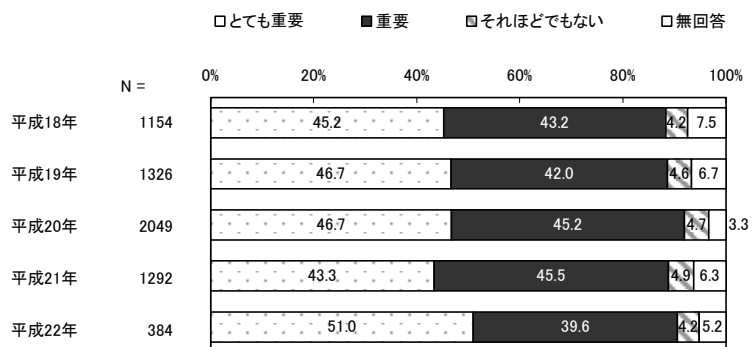


(10) 次世代を担う健全な青少年を育てる

【満足度】

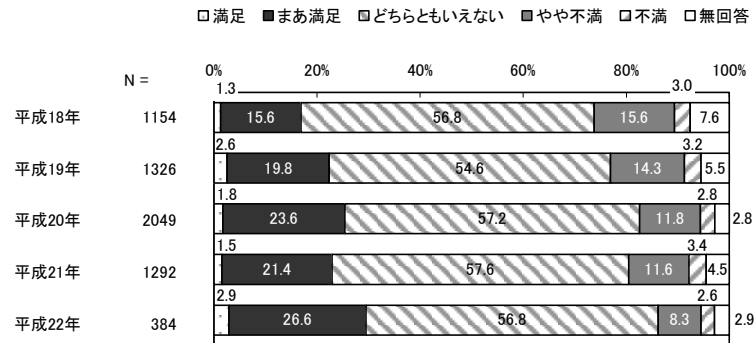


【重要度】

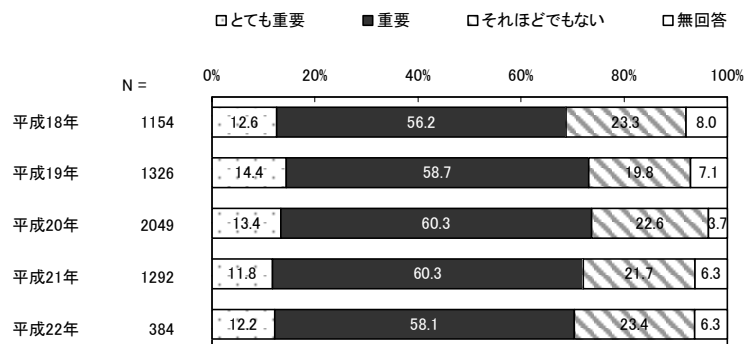


(1 1) 地域コミュニティ活動の活発化

【満足度】

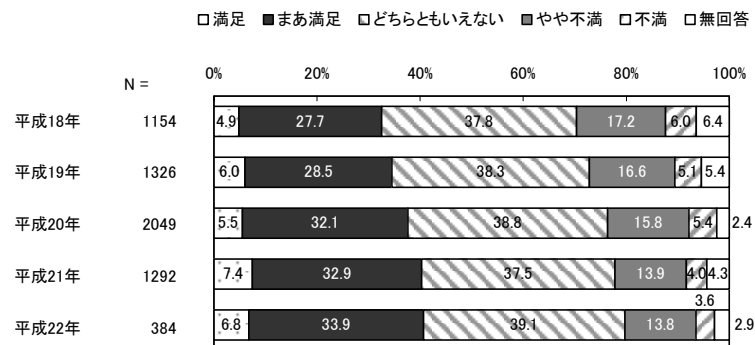


【重要度】

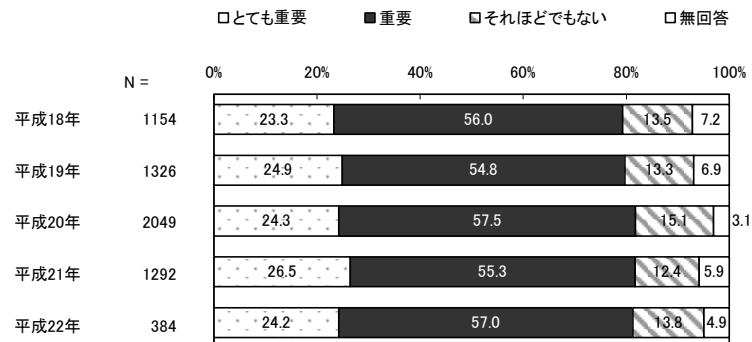


(1 2) 恵まれた自然景観の活用

【満足度】

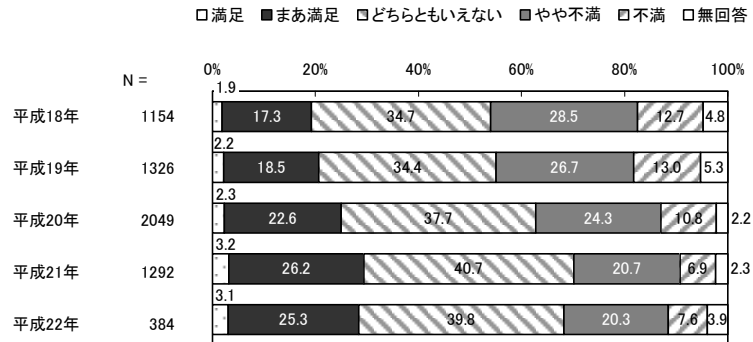


【重要度】

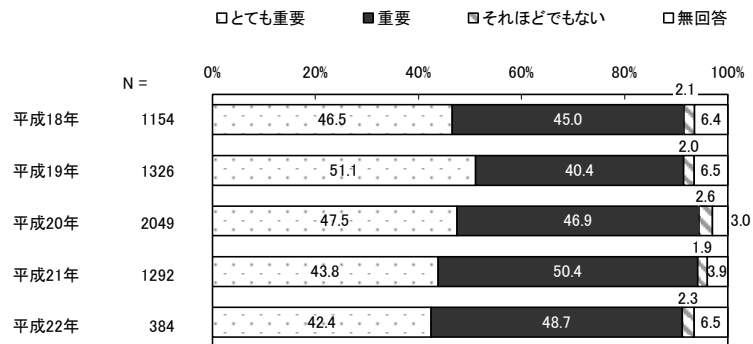


(13) ごみ不法投棄や公害への対策

【満足度】

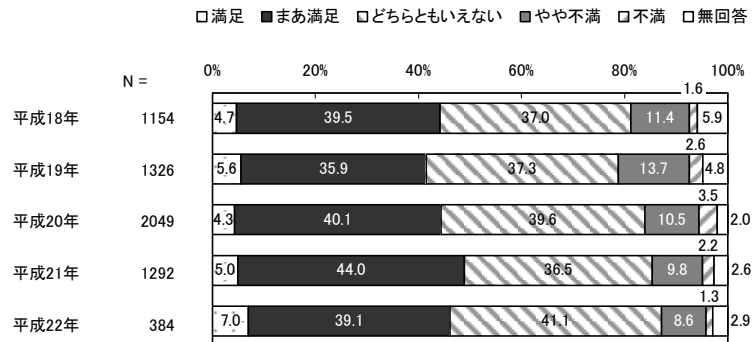


【重要度】

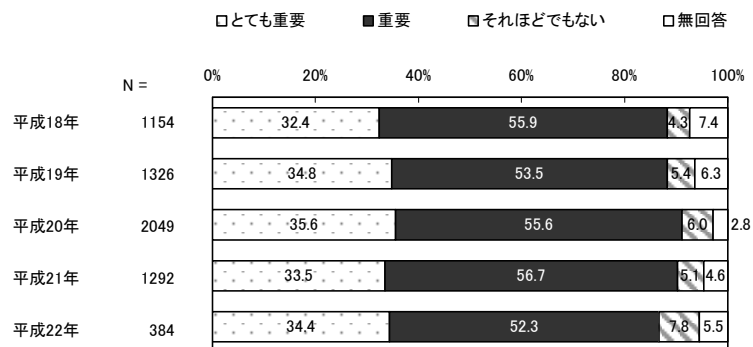


(14) リサイクル活動

【満足度】

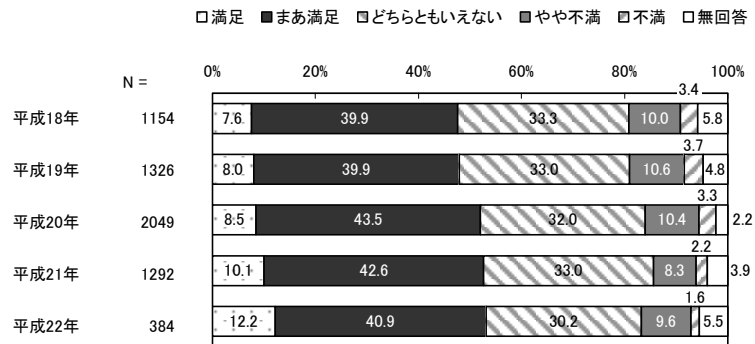


【重要度】

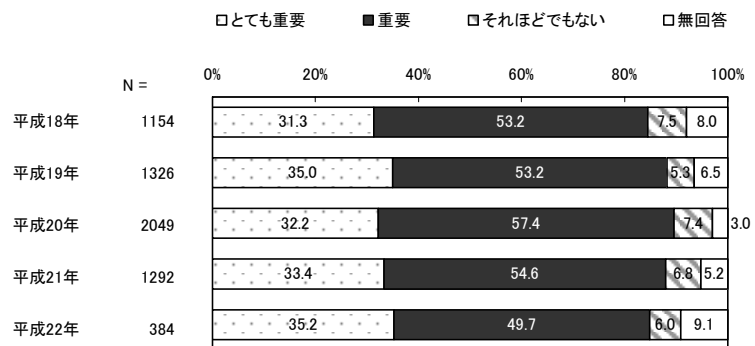


(15) 身近な緑の環境

【満足度】

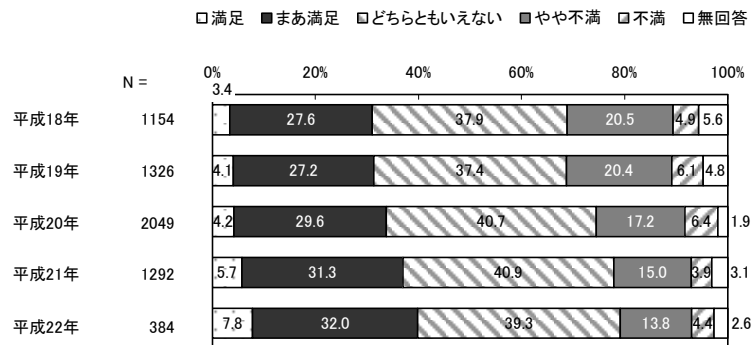


【重要度】

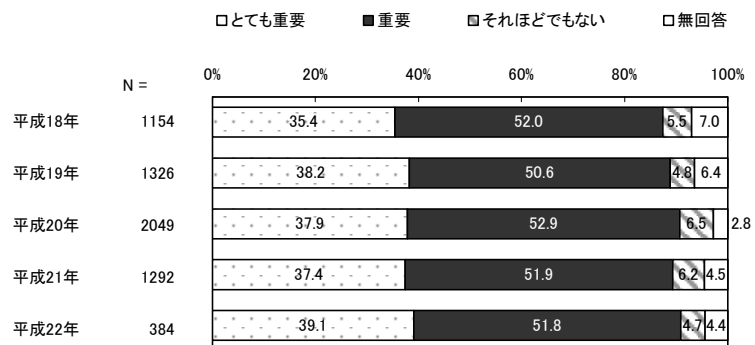


(16) きれいな川を守り、水に親しむ

【満足度】

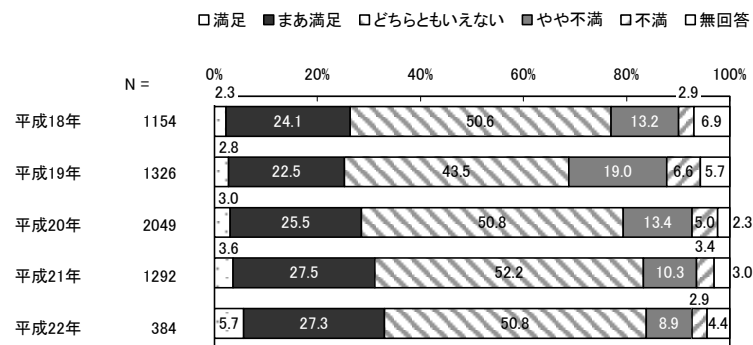


【重要度】

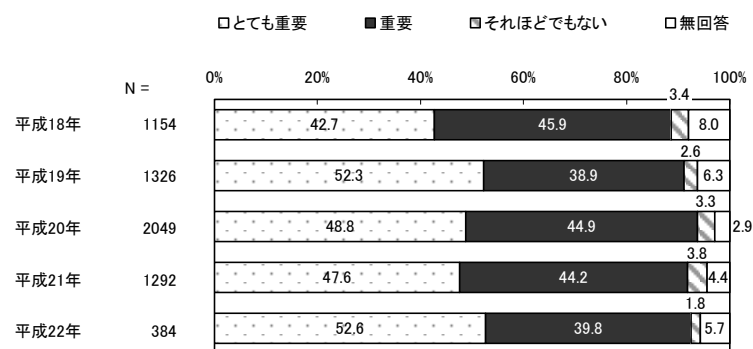


(17) 山や川の災害を防ぐ

【満足度】

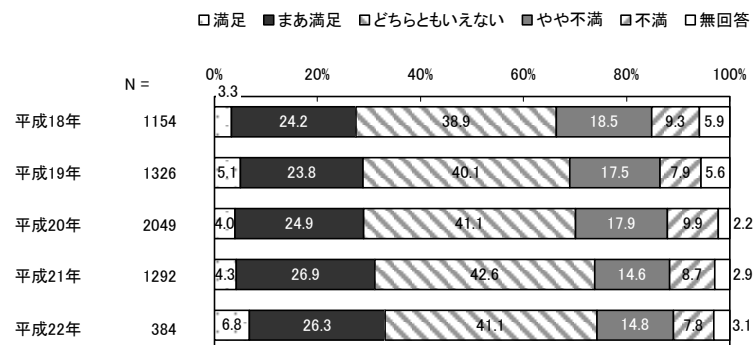


【重要度】

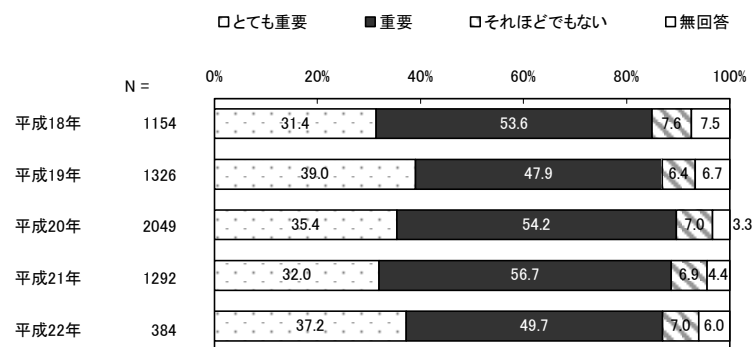


(18) 上・下水道事業

【満足度】

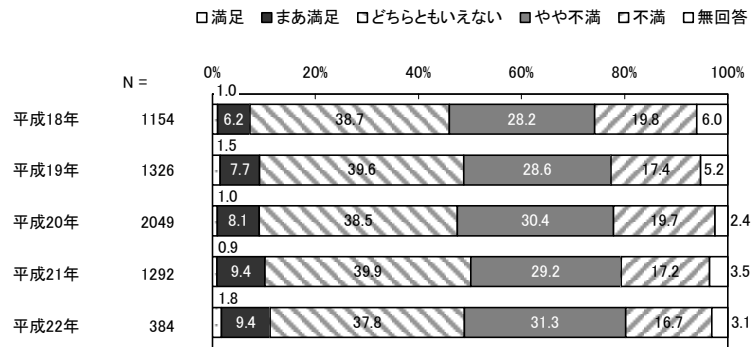


【重要度】

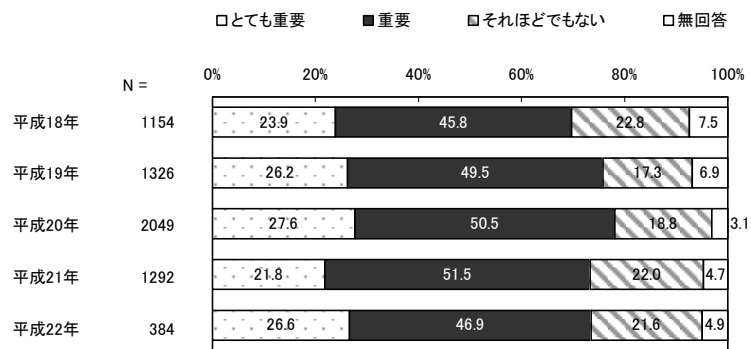


(19) 裾野の顔となる拠点市街地の整備

【満足度】

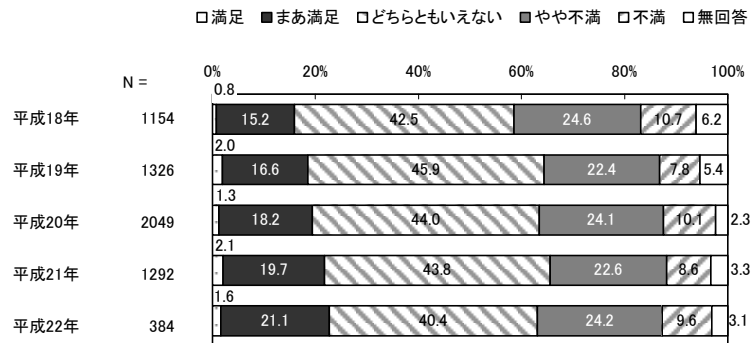


【重要度】

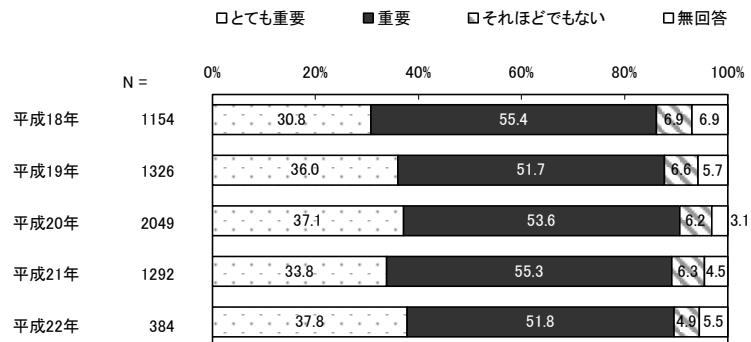


(20) 誰もが住みやすい住環境の整備

【満足度】

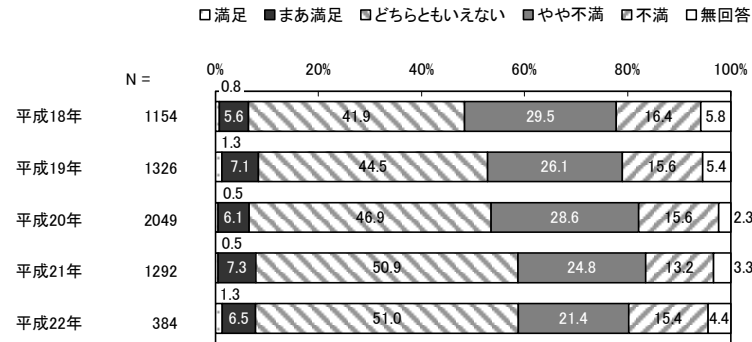


【重要度】

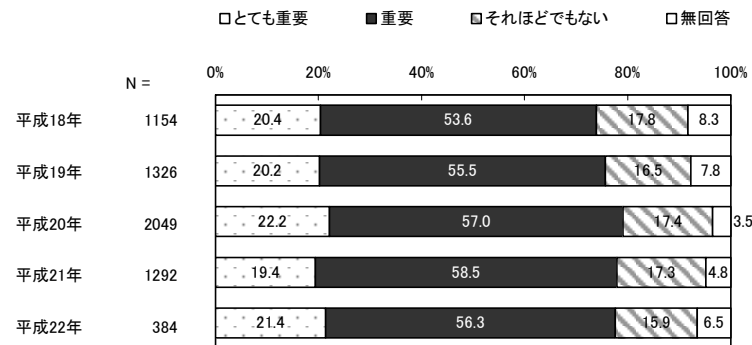


(2 1) 適切な土地利用がされている

【満足度】

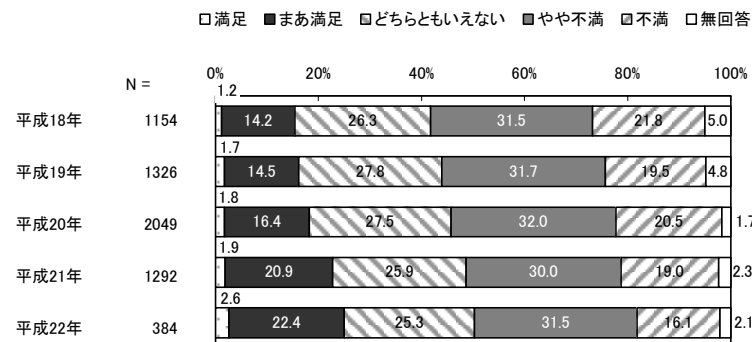


【重要度】

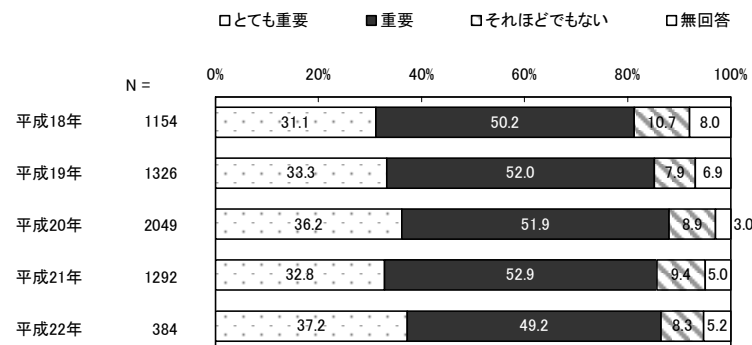


(2 2) 道路網の便利さ、快適さ

【満足度】

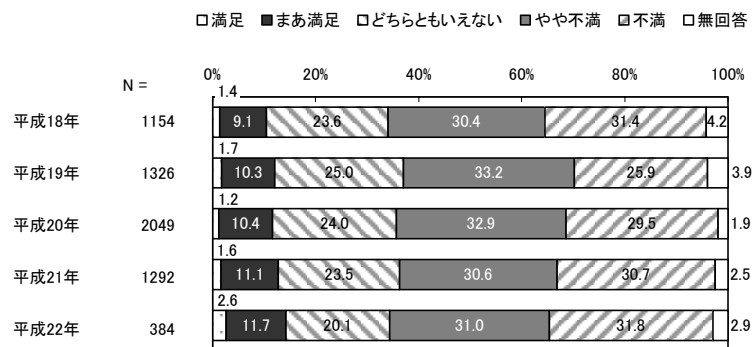


【重要度】

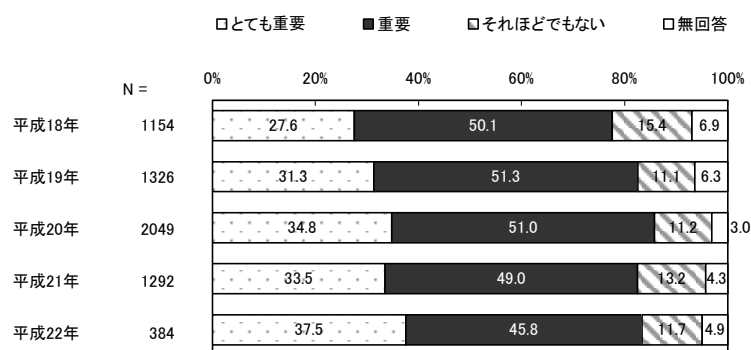


(23) 鉄道・バスの便利さ

【満足度】

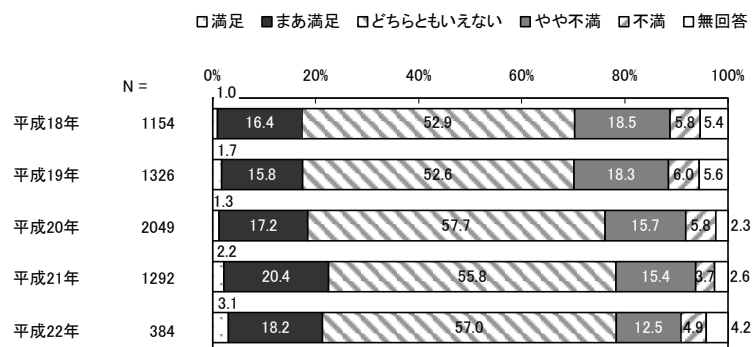


【重要度】

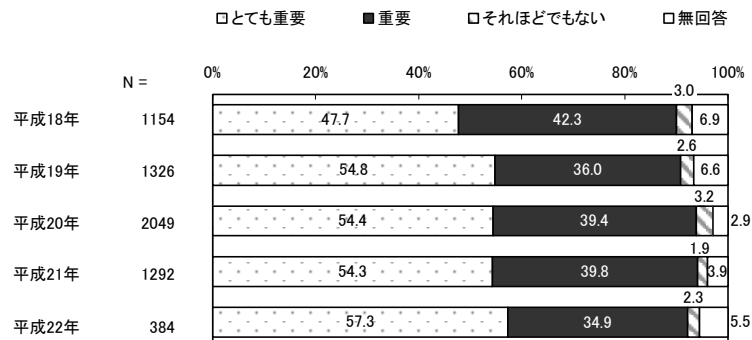


(24) 地震災害対策

【満足度】

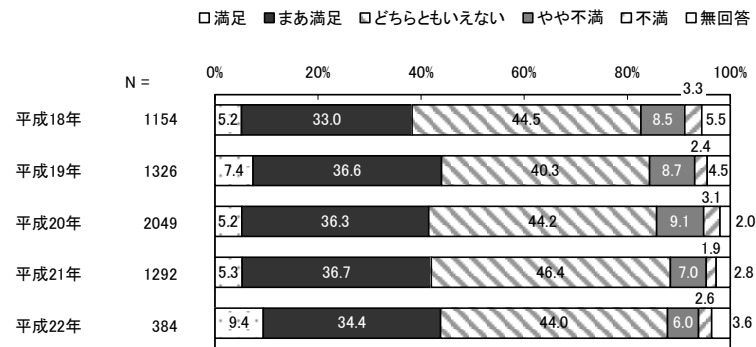


【重要度】

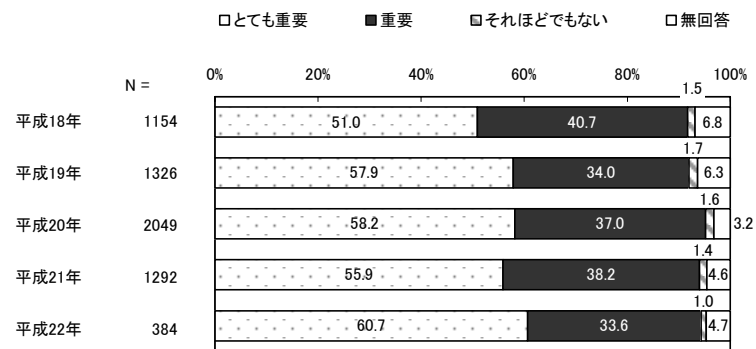


(25) 消防・救急体制

【満足度】

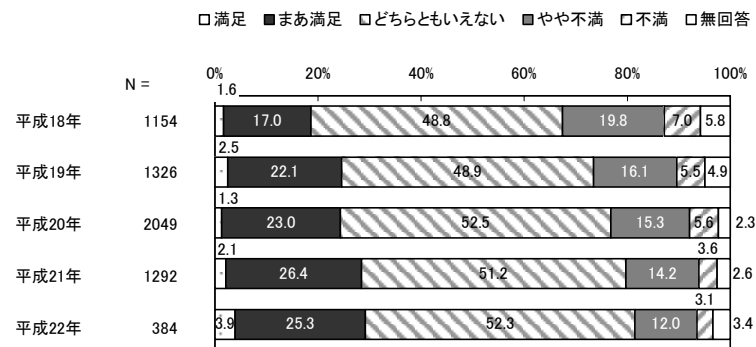


【重要度】

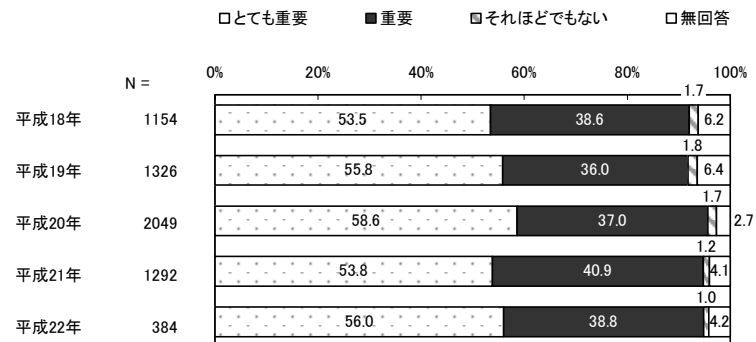


(26) 犯罪からまちを守る

【満足度】

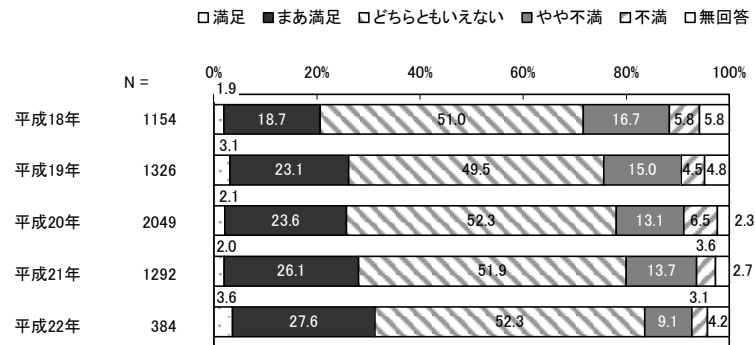


【重要度】

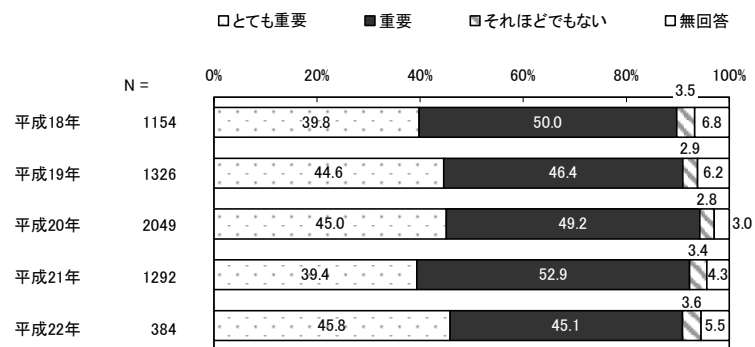


(27) 交通安全対策

【満足度】

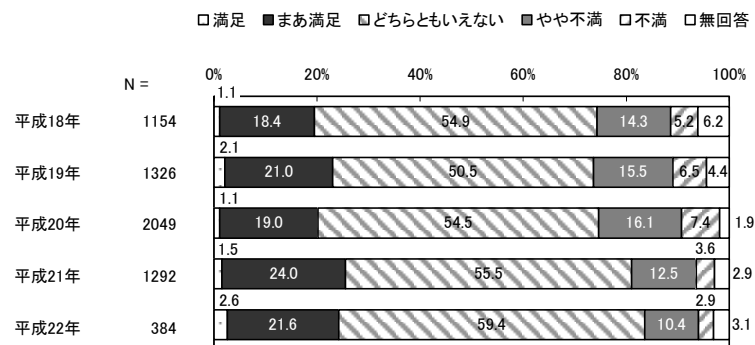


【重要度】

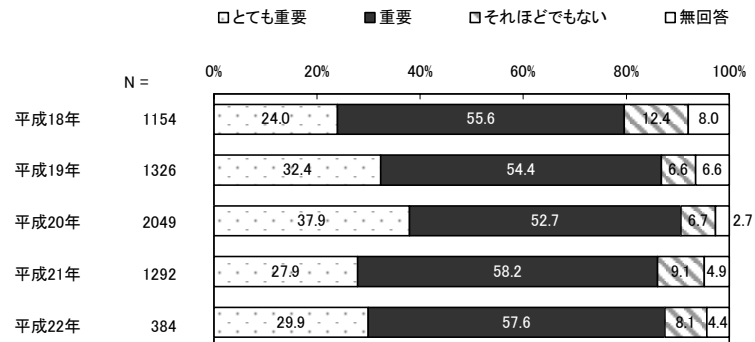


(28) 安全で豊かな消費生活

【満足度】

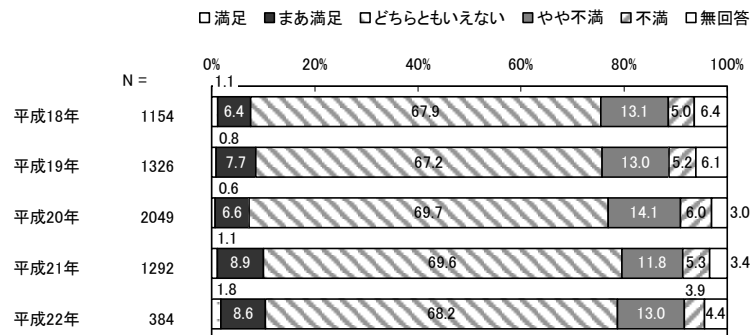


【重要度】

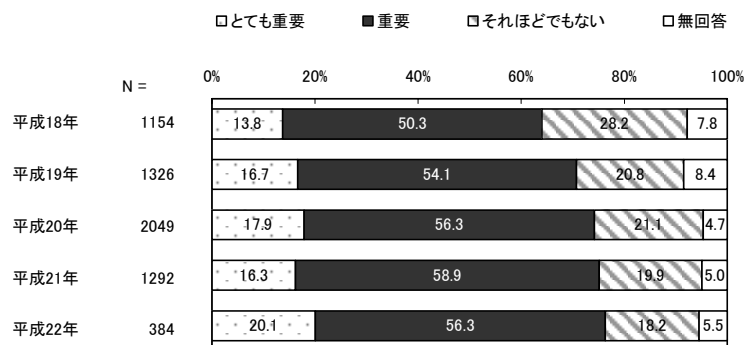


(29) 農林業の活性化

【満足度】

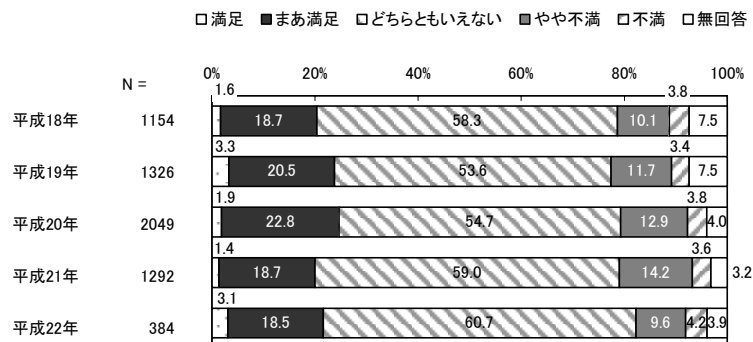


【重要度】

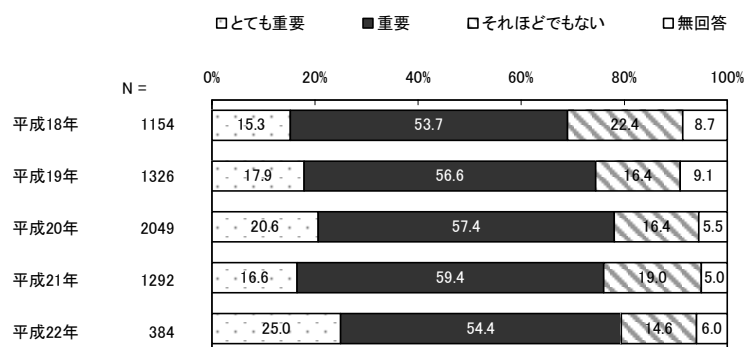


(30) 先進企業を核とした地場産業の活性化

【満足度】

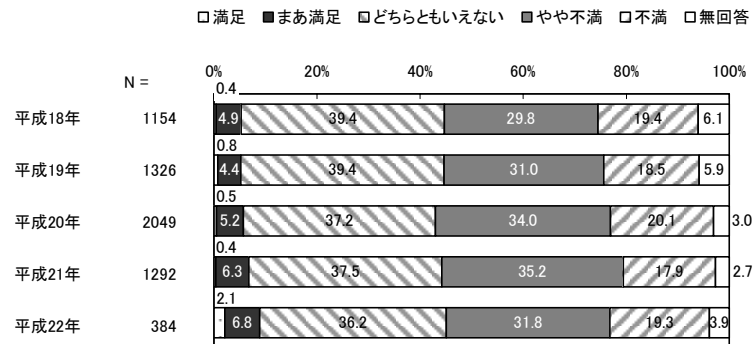


【重要度】

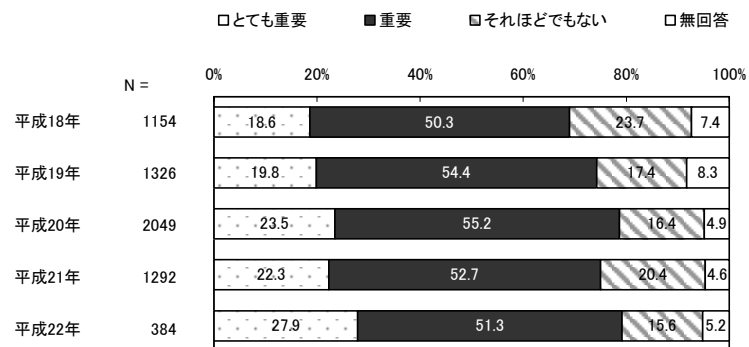


(3 1) にぎわいのある商業地づくり

【満足度】

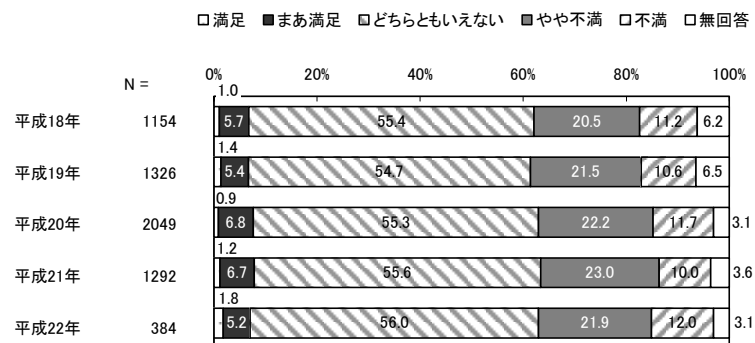


【重要度】

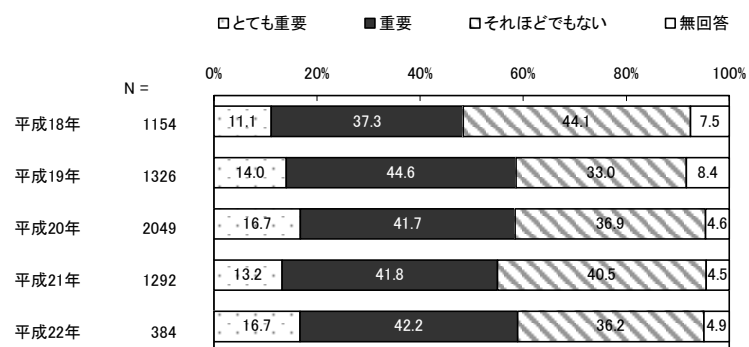


(3 2) 新たな観光地づくり

【満足度】

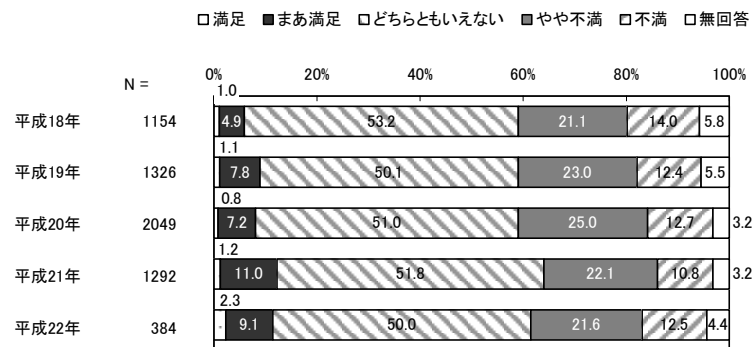


【重要度】

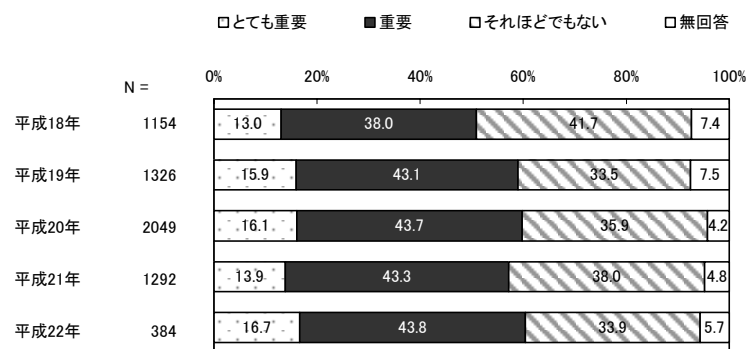


(33) 裾野市の全国に向けたアピール

【満足度】

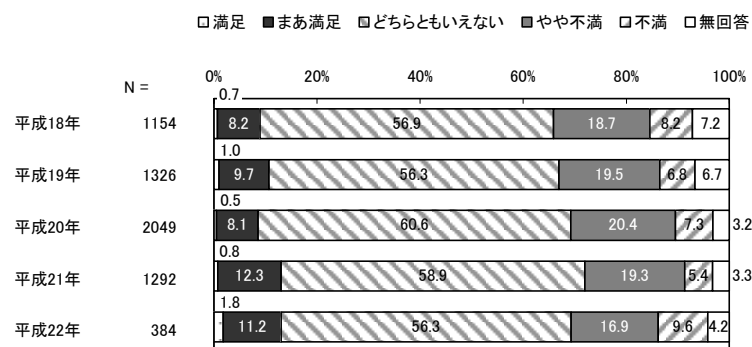


【重要度】

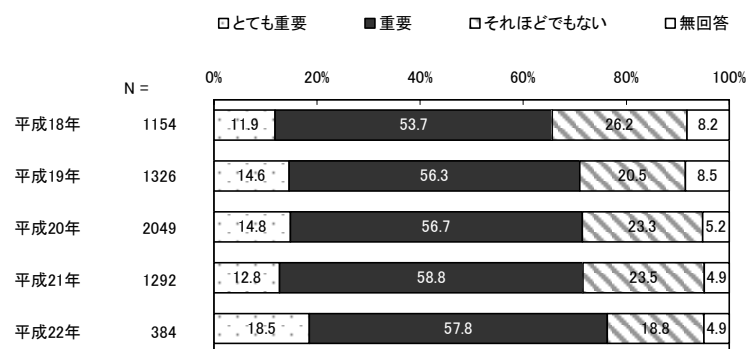


(34) 時代に対応した情報の発信

【満足度】

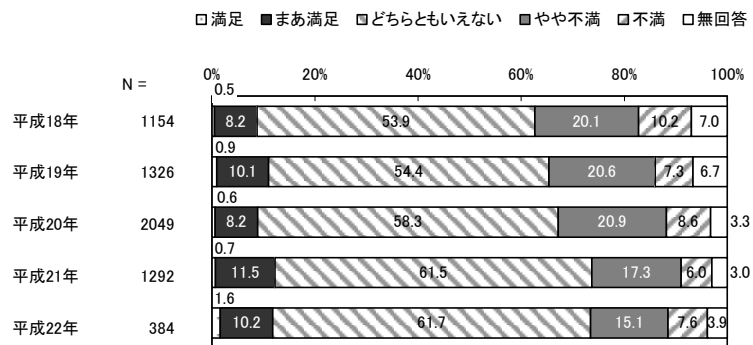


【重要度】

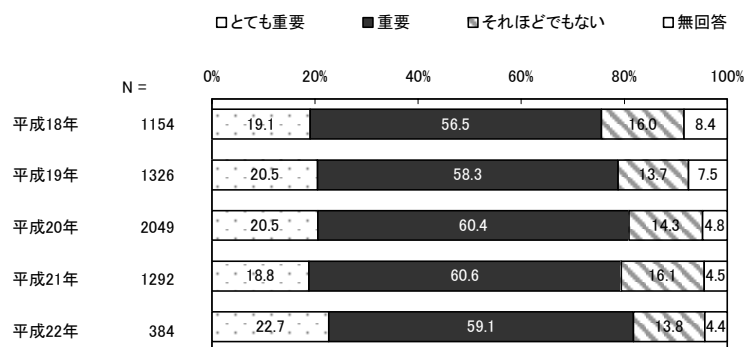


(35) 市民と行政の協働によるまちづくり

【満足度】

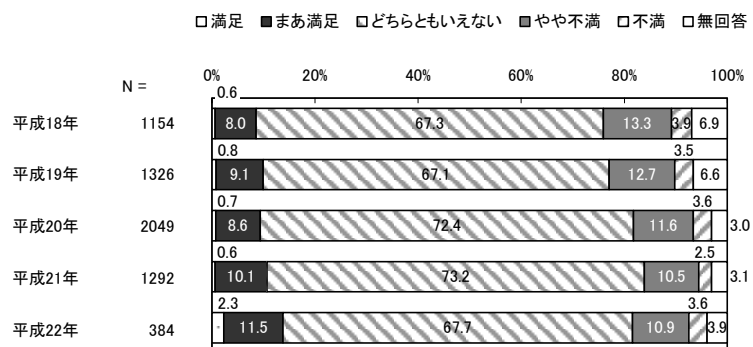


【重要度】

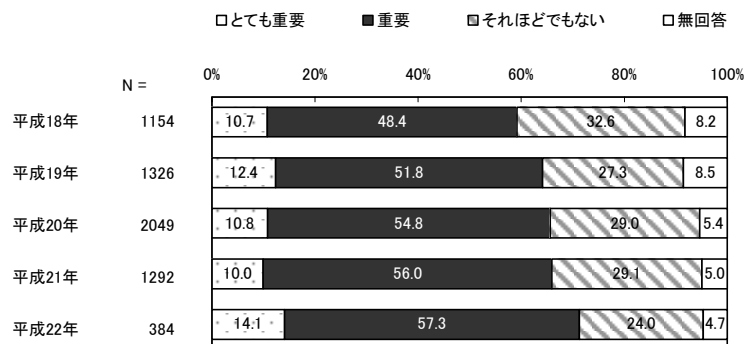


(36) 男女共同参画社会

【満足度】

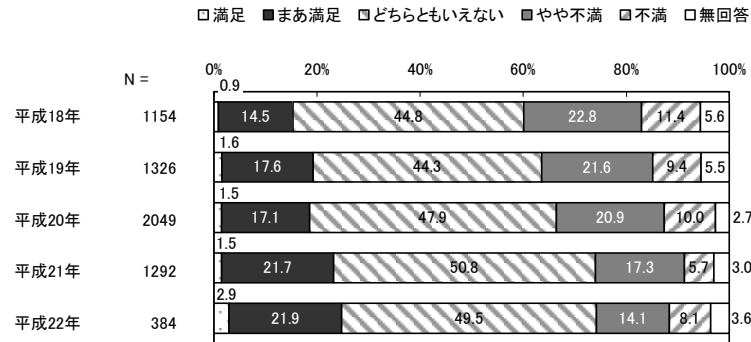


【重要度】

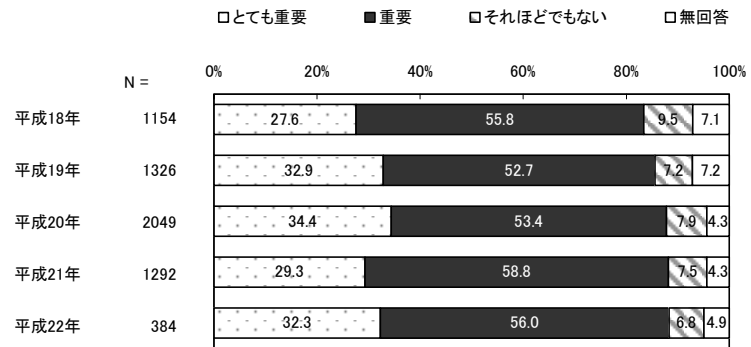


(37) 市民のための行政サービス

【満足度】

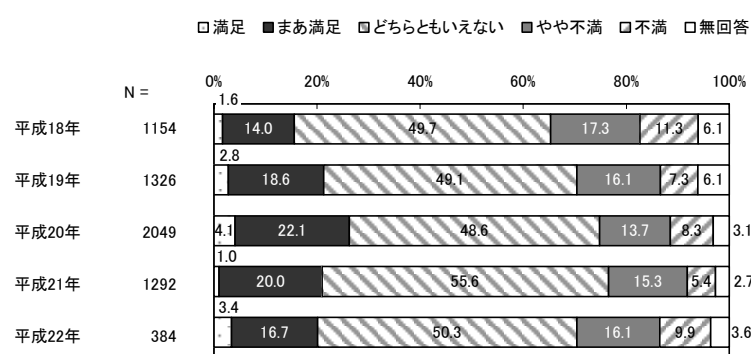


【重要度】

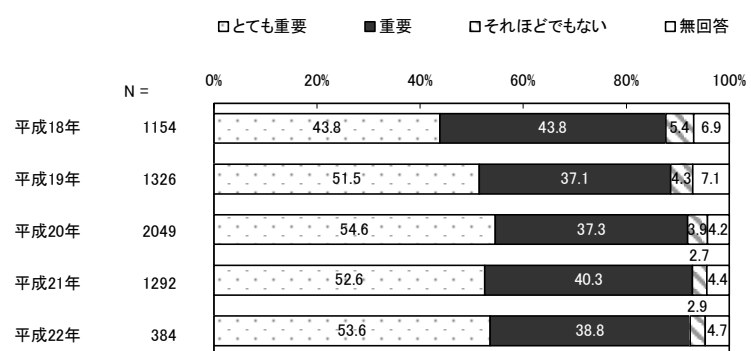


(38) 健全な財政運営

【満足度】



【重要度】



まちづくりにあなただの声を！

裾野市市民意識調査ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より裾野市政に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

裾野市では現在、将来の都市像「すの・ふれあい・健康文化都市」の実現に向けて各種の施策を進めております。

このたび、市民のみなさまの意見を広く取り入れ、市民と行政が一体となったまちづくりをめざして、「裾野市市民意識調査」を実施することといたしました。この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出した1,000人の方に回答をお願いしています。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、みなさまの率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

ご記入後は同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、9月21日（火）までにご投函くださいますようお願いいたします。

平成22年9月

裾野市長 大橋 俊二

調査票 記入上の注意

- 宛名のご本人がご回答ください。
- ご記入は、えんぴつまたは黒のボールペンをお使いください。
- ご回答は、指示の数だけ選んで、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他（ ）」の場合には、番号に○をつけ、（ ）の中に具体的に記入してください。
- 調査票の最後にある記入式回答の□には、直接ご記入ください。
- 返信用封筒には、この調査票を三つ折にして封入し、ご投函ください。

※このアンケートについて、不明な点などがありまして、下記までお問い合わせください。
裾野市企画部企画政策室 電話 995-1804

～ 調査票 ～

はじめに、現在のお住まいについてお聞きします。

問1 あなたは今の住まいにいつ頃から住んでいらっしゃいますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|----------------------|---|-----------------------|
| 1 | 昭和19年（1944年）以前 | 2 | 昭和20～29年（1945～1954年） |
| 3 | 昭和30～39年（1955～1964年） | 4 | 昭和40～49年（1965～1974年） |
| 5 | 昭和50～59年（1975～1984年） | 6 | 昭和60～平成6年（1985～1994年） |
| 7 | 平成7～11年（1995～1999年） | 8 | 平成12～16年（2000～2004年） |
| 9 | 平成17年（2005年）以降 | | |

問2 これからも、現在の場所に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---|--------------|---|--------------|
| 1 | 現在の場所に住み続けたい | 2 | 市内の他の場所に移りたい |
| 3 | 市外に移りたい | 4 | わからない |

現在の、裾野の取組みについてお聞きします。

問3 市では次のような取り組みを行っています。それぞれの項目について、あなたはどの程度満足していますか。また、その取り組みは重要であると思いますか。
（満足度については番号に、重要度についてはアルファベットに、それぞれ○は1つずつ）

記入例	満足度	満足	まあ満足	やや不満	不満	重要度	
						とても重要	重要でないほうで
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	1	2	3	4	5	A	(B) C
××××××××××××××××××	1	(2)	3	4	5	(A)	B C
1 心身ともに健康で充実した生活を送る	1	2	3	4	5	A	B C
2 必要な時に適切な医療が受けられる	1	2	3	4	5	A	B C
3 スポーツを習慣にした生活を送る	1	2	3	4	5	A	B C
4 高齢者が自立して元気に生き生き暮らす	1	2	3	4	5	A	B C
5 障害のある人の社会参加と自立	1	2	3	4	5	A	B C
6 地域住民が共に支えあって暮らす	1	2	3	4	5	A	B C
7 安心して子育てと就労が両立できる	1	2	3	4	5	A	B C
8 人間性豊かな子どもを育てる教育	1	2	3	4	5	A	B C
9 生涯学習や文化活動の機会や場所	1	2	3	4	5	A	B C
10 次世代を担う健全な青少年を育てる	1	2	3	4	5	A	B C

	満足度			重要度	
	満足	まあ満足	いささか足りない	やや不満	不満
11 地域コミュニティ活動の活性化	1	2	3	4	5
12 恵まれた自然景観の活用	1	2	3	4	5
13 ごみ不法投棄や公害への対策	1	2	3	4	5
14 リサイクル活動	1	2	3	4	5
15 身近な緑の環境	1	2	3	4	5
16 きれいな川を守り、水に頼む	1	2	3	4	5
17 山や川の災害を防ぐ	1	2	3	4	5
18 上・下水道事業	1	2	3	4	5
19 裾野の顔となる拠点市街地の整備	1	2	3	4	5
20 誰もが住みやすい住環境の整備	1	2	3	4	5
21 適切な土地利用がされている	1	2	3	4	5
22 道路網の便利さ、快適さ	1	2	3	4	5
23 鉄道・バスの便利さ	1	2	3	4	5
24 地震災害対策	1	2	3	4	5
25 消防・救急体制	1	2	3	4	5
26 犯罪からまちを守る	1	2	3	4	5
27 交通安全対策	1	2	3	4	5
28 安全で豊かな消費生活	1	2	3	4	5
29 農林業の活性化	1	2	3	4	5
30 先進企業を核とした地場産業の活性化	1	2	3	4	5
31 にぎわいのある商業地づくり	1	2	3	4	5
32 新たな観光地づくり	1	2	3	4	5
33 裾野市の全国に向けたアピール	1	2	3	4	5
34 時代に対応した情報の発信	1	2	3	4	5
35 市民と行政の協働によるまちづくり	1	2	3	4	5
36 男女共同参画社会	1	2	3	4	5
37 市民のための行政サービス	1	2	3	4	5
38 健全な財政運営	1	2	3	4	5

問4 市の政策全体について、どの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 まあ満足している
3 どちらともいえない	4 やや不満である
5 不満である	

問5 市の取り組みのうち、今後さらに充実すべきものは何だと思われますか。次の中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

記入 人 例	△△△△△△△△△△△△△△ □□□□□□□□□□□□□□	○を記入	記入 人 例	×××××××××××××××× ▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽	○を記入
1	心身ともに健康で充実した生活を送る		20	誰もが住みやすい住環境の整備	
2	必要な時に適切な医療が受けられる		21	適切な土地利用がされている	
3	スポーツを習慣にした生活を送る		22	道路網の便利さ、快適さ	
4	高齢者が自立して元気に生き生き暮らす		23	鉄道・バスの便利さ	
5	障害のある人の社会参加と自立		24	地震災害対策	
6	地域住民が共に支えあって暮らす		25	消防・救急体制	
7	安心して子育てと就労が両立できる		26	犯罪からまちを守る	
8	人間性豊かな子どもを育てる教育		27	交通安全対策	
9	生涯学習や文化活動の機会や場所		28	安全で豊かな消費生活	
10	次世代を担う健全な青少年を育てる		29	農林業の活性化	
11	地域コミュニティ活動の活性化		30	先進企業を核とした地場産業の活性化	
12	恵まれた自然景観の活用		31	にぎわいのある商業地づくり	
13	ごみ不法投棄や公害への対策		32	新たな観光地づくり	
14	リサイクル活動		33	裾野市の全国に向けたアピール	
15	身近な緑の環境		34	時代に対応した情報の発信	
16	きれいな川を守り、水に頼む		35	市民と行政の協働によるまちづくり	
17	山や川の災害を防ぐ		36	男女共同参画社会	
18	上・下水道事業		37	市民のための行政サービス	
19	裾野の顔となる拠点市街地の整備		38	健全な財政運営	

新しい総合計画の策定のための質問です。

問6 市では現在、今後10年間の方向性を定める「第4次裾野市総合計画」を策定しております。この、計画策定の参考とするための質問です。次の市の行政サービスや業務に満足していますか、それとも不満ですか。(○は1つ)

	質 問 項 目	満 足	まあ満足	どちらでもない	まあ不満	不 満
【健康・福祉分野】	市が行う「健康づくりプログラム」 ^{※1} の充実度。	1	2	3	4	5
	市が行う「高齢者に対する施策」 ^{※2} の充実度。	1	2	3	4	5
【教育分野】	小中学校の「学力の育成」や「人間の育成」についての取組。	1	2	3	4	5
	市が行う「生涯学習プログラム」 ^{※3} の充実度。	1	2	3	4	5
【市民生活分野】	音楽・伝統文化・史跡や旧跡などの、文化に触れる機会の多さ。	1	2	3	4	5
	日常生活や職場での、「性別にかかわらず平等な環境」。	1	2	3	4	5
	あなたの住んでいる環境の、「空気のきれいさ」。	1	2	3	4	5
	「川や水路などの水のきれいさ」。	1	2	3	4	5
	あなたの住んでいる環境の、「悪臭の無さ」、「散乱ごみの少なさ」。	1	2	3	4	5
	身近に住んでいる外国人とのトラブルの少なさ。	1	2	3	4	5
【基礎整備分野】	家の前の道の広さなど、快適な住環境の整備状況。	1	2	3	4	5
	「近くで買い物が出来る」、「家の周りが静かである」など、まちの環境の快適度。	1	2	3	4	5
	公園や広場などの整備状況。	1	2	3	4	5
	河川や水路の整備状況。	1	2	3	4	5
【行政運営分野】	道路や歩道の整備状況。	1	2	3	4	5
	まちなみや自然の景観の美しさ。	1	2	3	4	5
	市が行う広報(広報紙・広報無線・新聞報道など)の「わかり易さ」や「情報の多さ」。	1	2	3	4	5
	市の「予算の使い方」や「対応の速さ」など、行政運営の効率性。	1	2	3	4	5

- ※1 裾野市では、「健康づくりプログラム」として、市民の健康増進を進めるため、「運動」、「食生活・栄養」、「生活の規範」、「休養・こころの健康づくり」などを中心としたテーマで健康づくりプログラムを提供しています。
- ※2 裾野市では、高齢者の住みやすいまちづくりや老人シニアは活動支援、若年層向けサービス支援などを進めるほか、裾野市独自の取組として、高齢者の高齢者に対する防犯活動などを行っています。
- ※3 裾野市では、「生涯学習プログラム」として、文化・スポーツなどの多様な分野のプログラムを開発しております。

住宅用火災警報器の設置についてお聞きします

消防法が改正され、平成21年6月1日からご家庭に住宅用火災警報器等の設置が義務付けられました。

問7 あなたがお住まいの住宅は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1 一戸建て・長屋建て	2 共同住宅 (マンション、アパートなど)
3 その他 ()	

問8 あなたがお住まいの住宅が建てられたのはいつですか。(○は1つ)

1 平成18年5月以前	2 平成18年6月以降
3 わからない	

問9 平成21年6月1日から、住宅の次の場所に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

・ 寝室	・ 階段 (寝室が2階以上の間にある場合)
------	-----------------------

あなたが住まいの住宅には、上の場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。(○は1つ)

1 設置している	}	問9-1へお進みください
2 一部設置している		
3 設置していない		問9-2へお進みください

問9-1 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つ以上設置している方にお聞きします。どのような経緯で設置にいたしましたか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 自ら設置した (設置する作業自体は他の人に頼んだ場合を含む) |
| 2 新築購入時に設置されていた |
| 3 家主が設置した |
| 4 管理者 (管理組合・管理会社) が設置した |
| 5 わからない (入居時、既に設置してあった) |
| 6 その他 () |

問9-2 お住まいの住宅に住宅用火災警報器を1つも設置していない方にお聞きします。今のところ設置していない理由は何ですか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 設置が義務化されていることを知らなかった |
| 2 設置費用負担が大きい |
| 3 自分で設置することは難しい |
| 4 購入方法がわからない |
| 5 借家のため自分で設置してよいのかわからない (管理者が付けてくれない) |
| 6 設置することにより、どれくらい効果があるのかわからない |
| 7 その他 () |

スポーツ活動についてお聞きします。

市民の皆さまの健康やスポーツ活動についての現状をお聞きします。

問10 あなたは、ご自分の健康についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 大いに健康	2 まあまあ健康
3 あまり健康ではない	4 わからない

問11 あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 自信がある	2 普通である
3 不安がある	4 わからない

問12 あなたは、この1年間でスポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で行いましたか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日(週に6～7回)	2 週に4～5回
3 週に2～3回	4 週に1回
5 月に1回以上	6 年に1回以上
7 ほとんどスポーツや運動をしていない	8 問13へお進みください

問12-1 あなたがスポーツや運動を行う目的は何ですか。(○はいくつでも)

1 健康・体力づくり	2 楽しみ・気晴らし
3 運動不足解消	4 自分の記録や能力の向上
5 友人や仲間との交流	6 家族とのふれあい
7 美容・ダイエット	8 その他()

問12-2 ふだん利用するスポーツ施設は次のどれにあってはまりますか。(○はいくつでも)

1 市内の公共スポーツ施設	2 市内小・中等学校の体育館・グラウンド
3 市内の民間スポーツ施設	4 市外のスポーツ施設
5 その他()	6 スポーツ施設は利用していない

問12-2-① どのようなスポーツや運動をしますか。(主なもの4つまで)
() () () () () ()

問13 スポーツや運動を行わなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 仕事などで忙しく時間がない	2 病気、高齢など身体的な理由
3 場所や施設が近くにない	4 施設や教室の利用時間が合わない
5 一緒にする仲間がない	6 指導者がいない
7 お金がかかる	8 はじめるきっかけがない
9 スポーツに関する情報がない	10 苦手、嫌い、興味がでない
11 その他()	12 特に理由はない

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお聞きします。

F1 あなたの性別は。(○は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

F2 あなたの年齢は。(○は1つ)

1 20～24歳	2 25～29歳	3 30～34歳	4 35～39歳
5 40～44歳	6 45～49歳	7 50～54歳	8 55～59歳
9 60～64歳	10 65～69歳	11 70歳以上	

F3 現在、あなたは誰かと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた様き所で、同居している方をすべてお答えください。(○はいくつでも)

1	ひとり暮らし	
2	妻または夫	→ F3-1へお進みください
3	子	→ F3-2へお進みください
4	親	
5	祖父母	6 孫
7	兄弟姉妹	
8	その他()	

F3-1 妻または夫と同居されている方にお聞きします。あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

1 している	2 していない
--------	---------

F3-2 子と同居されている方にお聞きします。お子さんは、次のどれにあってはまりますか。(○は1つ)

1 一番上の子が小学校入学前	2 一番上の子が小学校在学中
3 一番上の子が中学校・高校在学中	4 一番上の子が大学・大学院・各種学校在学中
5 一番上の子が学校を卒業	

F4 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

1 会社員(民間)	2 公務員・団体職員	3 農林業等の自営業
4 商工・サービス業等の自営業	5 自由業(開業医、弁護士、芸術家等)	
6 パート・アルバイト	7 専業主婦(主夫)	8 学生
		9 無職

F5 あなたの居住地区は次のどれですか。(○は1つ)

1 須山	2 富岡	3 深良	4 東
5 西	6 千福が丘	7 企業団地	

F6 あなたのお住まいの住宅は次のどれですか。(○は1つ)

1 一戸建て持ち家(家族名義を含む)	2 分譲マンション(家族名義を含む)	
3 一戸建て借家	4 賃貸マンション	5 木造アパート
6 県営・市営住宅	7 公団・公社の賃貸住宅	8 社宅・公務員住宅・社員寮
9 間借り・住み込み	10 その他()	

その他、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

アンケートは以上で終わります。ご協力ありがとうございました。

裾野市市民意識調査
報 告 書

平成 23 年 1 月 発行

裾野市 企画部 企画政策室
〒410-1192
静岡県裾野市佐野 1059 番地
T E L 055-995-1804
F A X 055-995-1861